

二、出品の概評

電気測定器は主として本邦著名製作所の出品に係るものであるから概して優良品が多く、受賞されなかつたものも二、三を除いては何れも相當價值のあるものであつて、近年國産品の品質が著しく向上して進歩の跡の歴然たるものゝあるは吾人の頗る意を強うする所である。然るに醫療器械に至つては其の歴史日尙淺く、従つて其の製造技術も漸く近時發達の域に入りつゝある狀況であるから、管球類以外特に優良と稱すべき出品を見なかつたのは甚だ遺憾とする所である。

今各種の出品に就いて少しく細説すれば左の如くである。

指示電気計器 指示電気計器は可動線輪型、可動鐵片型、電流力計型、熱起電力型に亘り携帯用及配電盤用電壓計、電流計、電力計、力率計等出品數相當多數に上つて、此等計器は何れも品位優秀で外國品と比較するも毫も遜色を認めない。今日の狀態に於ては指示計器は特殊のものを除いては殆ど外國品を仰ぐ必要を認めない程度に迄進歩發達したものと云ふべきである。

積算電気計器、積算電気計器としては誘導型二種及水銀電動機型二種の出品があつた。後者は直流用で主として艦船用に供せられ、前者と幾分其の趣を異にする。而して其の品位に於て前者は遞信省の型式承認を經、後者は本邦の特許を得たものであつて、共に外國品に匹敵し得べきものである。

交流積算電力計は近年其の價格の點より獨逸製品の壓倒的流入を餘儀なくされて各國製品共に一時悲境に陥つたが、本邦製造者の不斷の努力は能く其の品位を低下することなく價格を獨逸製品に近付かしめて、國産品の體面を維持して居る。然し乍ら積算電気計器の市場は外國品に依つて左右されつゝある現状であつて、此の現状を打破するには本邦需要者の現在の態度に對して猛省を促かさざるを得ない。

若し夫れ需要者の國産品愛護と相俟つて製造者に尙一段の努力あらんか外國品驅逐の日も蓋し遠きに非ざるべしと信ずる。

精密測定器具、精密測定器具として六エレメント、オツシログラフ、直流電位差計、交流電位差計、檢流計、磁束計、蓄電器、誘導器、真空管發振器等の出品があつた。何れも製品として未だ日が淺いけれども外國品と比較して何等の遜色を認めない。就中六エレメント、オツシログラフの如きは特に推賞に價すべきものである。

電気抵抗測定器、電気抵抗測定器としてはホキートストンブリツヂ、ダブルブリツヂ、メツカー等少數の出品を見たのみであつて、其の製作に於て一段の進歩を認めるが尙改良を要すべき點が尠くなく、優良品と認むべき出品を缺きたのは甚だ遺憾とする所である。

電気溫度計、電気溫度計としては電気抵抗式寒暖計、熱電對式指示高溫度計及記錄高溫度計等の出品があつた。計器は概して優良品と認めるものが多かつたが其の主要部分たる熱電對は何れも外國材料を使用して、全く國産品と稱するを得なかつたのは甚だ遺憾とする所である。

レントゲン装置及管球、レントゲン器械としてはポルスター號レントゲン装置及ギバ管球、クーリツヂ管球等が出

品されたけれども、レントゲン装置は未だ外國品を凌駕するの域に達せず、其の材料に於ても二、三の外國品を含んで今後の研究改良に俟つべき點が尠くない。併し年々其の品位が向上しつゝあるのは今次の博覽會出品に徴するも明かな所であつて、我醫界の爲めに慶賀すべき現象と云ふべきである。

翻つてレントゲン管球を見るに醫界に於て既に定評のある極めて優秀な國産品であつて、今日に於ては殆ど外國品を仰ぐの要を見ない。

紫外線發光灯、紫外線發光灯としてはギバ太陽灯、高山人工太陽灯、クロマイエル氏水銀石英灯等が出品されて、何れも優良品で本邦醫界に貢獻する所が尠くはない。

以上の外電流制限器、スフェアギャップ、ネオンランプ檢電器、水冷式スライド抵抗器、電位差計式自動溫度調節装置、任意溫度閉閉器、感應コイル、エレクテラ、オゾン發生器、デアテルミー、ヴァイヴレーター等の出品があつたが、此内ネオンランプ檢電器及電位差計式自動溫度調節装置は優良品に近いものと認められるが、其の他は何れも尙一段の研究努力を要すべきものと認める。

三、出品の改善又は向上に關する意見並に外國品の輸入防遏に關する批判

以上に依つて明かなるが如く電氣測定器類は特殊のものを除いては殆ど外國品を仰ぐの必要なく、國産品を以て充分各方面の需要に應じ得るに至つたのは各製作者の研究努力の結晶であつて、國産振興上洵に慶賀に堪へない次第である。されど此等測定器の材料の一部は今日尙之を海外に仰ぎつゝある狀況であつて、例へば電氣計器の制禦螺旋彈

條、成層用薄鐵板、耐久磁石、特殊合金、寶石軸承の如き又溫度の熱電對材料の如き多くは海外品を用いて、本邦製品を使用するものは其の特性及耐久度に於て多少の遜色がある。即ち此等材料の優秀なものを自給し得るのでなければ眞に國産として誇るべきでない。今次の優秀な出品を見るに及んで益々此の感を深くする所であつて、更に此の方面に關して一段の研究努力を希望して已まない。

次に醫療用器械に關してはX線装置、管球及太陽灯の如き何れも優秀な國産品であつて特に外國品の供給を仰ぐの必要を見ないが、其の他の醫療器械に至つては多くは海外品の亞流であつて、此の程度を以ては到底満足すべきものでない。元來醫療器械の如きは器械製作の技術と醫療上の効果と相俟つて始めて完成を期し得べきものであつて、充分な醫學上の智識のないものが之を製作して誇大な廣告を爲しても、醫療上何等の効果がなく却て屢々有害なものさへあるのである。故に醫療器械の製作者は其の器械のあらゆる特性を研究して、醫學者は之を治療に應用して醫療上の効果を研究し、兩者の協力研究を俟つて改良を計り或は進んで新規の治療に適應する新器械の製作に及び、次で人類の幸福に寄與する所の大なることを希望するものである。

四、參考品に對する概評

本類に屬する參考品としては陸軍省出品の島津製作所製野戰用X線装置、東京電氣株式會社出品の標準電池、光學高溫度計、ギバ太陽灯、クーリツヂ管球、ネオンランプ檢電器及檢漏器、横河電氣製作所出品のカソードレーオツシログラフ、山下式積算電流計、兒玉電氣研究所出品のデアテルミー、オゾン發生器、オゾン紫光線併用器、菊水電熱

器商會出品の大塚式醫療用消毒器。北辰電氣製作所出品の熱電對、白金抵抗端等があつて参考に資す可きものが少くない。就中横河電機製作所出品のカソードレーオツシログラフは特に瞬時過度現象研究用として用ひられるデュフオア型であつて、本型のオツシログラフを本邦に於て製作したのは同所を以て嚆矢とする。製品として未だ完成の域に達しないのを遺憾とするが、本品の製作に對しては商工省の補助があつて、近く完成の曉には我電氣學術上に多大の貢獻をなすべきものと思料する。尙同所出品の山下式積算電流計は専ら蓄電池の充電用に供せられるものであつて、容易に蓄電池の管理を行はしめ、艦船用計器として貢獻する所が尠くない。又東京電氣株式會社出品のギバ太陽灯及クーリツチ管球は何れも醫界に於て定評のあるものであることは既に述べた如く、ネオンランプ檢電器及檢漏器はネオンランプの最近の應用の一方面であつて同社が卒先之が實現に努めたものである。

第七四類 電線、電纜及電線路用材料及其器具

主任 前原助市
報告員 工學博士 宮別貞俊

一、出品の狀況

本類に屬する出品物の主なものは電信電話用各種絶縁電線、局内電纜、電話用鉛被電纜、電力用絶縁電纜、特別高

壓地中電纜送電線用裸電線、特別高壓用碍子及管、低壓碍子、線路閉閉器、街燈用電柱、送電線用鐵塔等である。而して其の出品人員は一八名、二三七點であつて授賞は左表に示す如く優良國產賞七、有功賞一である。

第七四類 府縣別出品人員、出品點數及授賞統計表

府縣名	出品人員		出品點數		授賞者		授賞者數
	審査品出品人員	参考品の出品人員	審査品點數	参考品點數	優良國產賞者數	有功賞授賞者數	
東京	一三	〇	一六九	三	四	一	五
京都	一	〇	三二	〇	一	〇	一、〇〇
大阪	二	〇	二八	〇	二	〇	一、〇〇
岐阜	一	〇	四	〇	〇	〇	〇、〇〇
福島	一	〇	一	〇	〇	〇	〇、〇〇
合計	一八	〇	二三四	三	七	一	〇、四四

二、出品の概評

設計、材料の適否、製作等に關し概して穩健着實な進歩の道程を辿つて居ることが明かに見られる。電話用鉛被電纜が外國品に對して少しも遜色のないことは悦ぶべきことであつて、又特別高壓地中電纜も當業者の

努力に依つて外國品と同等以上のものが出来るのは大に吾人の意を強うする。今回出品してあつた六萬六千ヴォルト用地中電纜のケーブルヘッドは最近熱海に實施して好成績を擧げて居るものである。鋼心アルミニウム線は將來益々應用が廣くなると思はれるが、當業者が世界的の風潮に遅れずに完璧の製品を市場に出して居ることは大に推賞に値する。殊に米國に於ける市場關係で米國より地金を輸入してこれに加工し、約八百哩の鋼心アルミニウム線を米國に輸出したことなどは我國の産業界に於て大に氣を吐くものである。

特別高壓用碍子及碍管は極めて優良であつて外國品に比べて遜色がない。

電信電話用各種絶縁電線、出品者は日本電線株式会社、藤倉電線株式会社、沖電氣株式会社、古河電氣工業株式会社、株式會社住友電線製造所、澁谷一郎、北川彌三である。技術上特に困難はないが輸入を完全に防遏して居る。

局内電纜、出品者は日本電線株式会社、古河電氣工業株式会社、沖電氣株式会社であつて、技術上大なる困難はないが完全に輸入を防遏して居る。

電話用鉛被電纜、出品者は藤倉電線株式会社、古河電氣工業株式会社である。殊に古河電氣工業株式會社の出品した電信電話電纜は邦人の技術で苦心研究の結果完成したものであつて、外國の一流製品と比較して少しも遜色がなく外國品の輸入を完全に防遏して居る。

特別高壓地中電纜、出品者は藤倉電線株式会社、古河電氣工業株式会社、株式會社住友電線製造所である。住友電線製造所の六萬六千ヴォルト用電纜は今春以來熱海に實施して好成績を擧げて居る中空式電纜であつて、歐米の傾向

と期せずして一致して居る。又古河電氣工業株式會社の十五萬四千ヴォルト用電纜は矢張り中空式のH式電纜であつて斯界の先驅をなすものである。

要するに特別高壓用電纜は歐米の技術に遅れることなく堅實な發達をなして、見本品として少額の輸入を見るのみで實用上完全に輸入を防遏して居る。

電力用絶縁電線、出品者は日本電線株式会社、藤倉電線株式会社、古河電氣工業株式会社、株式會社住友電線製造所である。本品は現今に於ては技術上大なる困難はないが輸入を完全に防遏して居る。

自動車用絶縁電線、出品者は北野隆春、金澤榮治の兩名である。絶縁電線に簡単な加工を施して各種の自動車に使用するのに便利な様にしたものに過ぎない。

送電線用裸電線、出品者は古河電氣工業株式會社及株式會社住友電線製造所である。前者は獨特の方案になる各種の接續器を出品し、後者は簡單優良な鋼心アルミニウム線の接續器を出品して居る。殊に後者が先年約八百哩の鋼心アルミニウム線を米國に輸出したことは大に吾人の意を強くする所である。これ等に関しては全然外國品の輸入を仰ぐ必要がない。

裸電線、株式會社日立製作所、古河電氣工業株式會社、株式會社住友電線製造所が各種の裸電線を出品して居るが、何れも技術上は絶縁電線、電纜に比較すれば簡單なものである。

特別高壓用碍子及碍管、出品者は松風工業株式會社、大阪陶業株式會社及岩淵電氣工業株式會社である。元來本邦

は昔から陶磁器の製造を開始して居たが、特別高壓碍子に關しては以前は歐米に比すれば幾分の遜色があつたが、幸ひ當業者の努力に依つて現今では優秀なものが製作出来る様になつて輸入を全く防遏して了つた。

低壓碍子、出品者は峰岸喜三郎、岩淵電氣工業株式會社、吉川源三郎である。普通品或は普通品に若干の變更を加へたものであつて、工業的價値は左程大きくない。

線路用開閉器、出品者は松風工業株式會社、岩淵電氣工業株式會社、龜山廣一である。岩淵電氣工業株式會社出品の所謂ライン・スキッチは面白い考案である、又龜山廣一の出品して居る碍子型開閉器は普通のタルマ・スキッチに變更を加へたもので特に工業的價値を認めない。

街燈用電柱、落合嘉一郎の出品に係るものであつて普通の鑄鐵製である。其の意匠圖案に於ても特に見るべきものがない。

送電線用鐵塔、岩淵電氣工業株式會社の出品に係るものであるが特に注意すべき點を認めない。

線路用材料、福本傳太の出品に係るゴム引テープ及地中線接着用タールド・クロースは何れも普通品であつて特に注意すべき點を認めない。

三、出品の改善、向上に關する意見

特別高壓地中電纜は都市に於ける電力需要の増加、郊外に於ける住宅地の發展と相俟つて將來益々其の電壓を高くする必要が起るものと思はれる。外國の例に徴しても本邦より遙かに高い電壓が用ひられて居るから、本邦に於ても

當業者の努力に依つて、現に出品されて居る様なH型或は中空型を益々發展さして、電氣供給事業界の要望に添ふことを望む。

特別高壓碍子の優良均一な製品はどうしてもトンネル竈で焼成しなければならないが、我國では未だ其れが使用されて居ないのは遺憾である。然し乍ら市場の關係もあるから將來は海外に販路を開拓して、全部トンネル竈を使用するやうに努力しなければならない。

四、輸入防遏に關する意見

原料品は別として、製品に關しては全部外國品に代用することが出来る。最近の輸入額も全く見本或は参考品たるの程度に止つて居る。

第七五類 電氣鐵道用機械器具及材料

主任

增

永

元

也

報告員 男爵

飯

田

精

太

郎

一、出品の概況

七五類に屬する電氣鐵道用機械器具及材料の製作は近時電氣鐵道事業の發展に伴つて急速な進歩をなし、最初は多

く外國品を輸入使用したのも近頃では殆ど輸入品を駆逐して居る様な状態に達して居る。従つて今回の博覽會に對しても澤山の國産品が出品せらるゝことゝ豫想して居たが實際は財界不況の影響か又は重量品で出品陳列に不便な爲めか頗る出品数が少く甚だ寂寥の感がある。

出品物は全部池の端第二會場機械館内の電気館に陳列されて居る。出品人員は九名、出品點數三三、内參考出品が一〇點あつて其の出品範圍は全部東京府の出品であつた。審査の結果授賞されたものは左表に示す如く優良國産賞六、有功賞二である。

第七五類 府縣別出品人員、出品點數及授賞統計表

府縣名	出品人員		出品點數		授賞者		授賞者百分率
	審査品出品人員	參考品のみの出品人員	審査品點數	參考品點數	優良國産賞有功賞授賞者數	授賞者合計	
東京	九	〇	二三	一〇	六	二	八
合計	九	〇	二三	一〇	六	二	〇、八九

二、審査概評

會場の都合其の他の關係上止むを得ないことゝは思ふが出品物が一般に新規に發明された試作品様のものが多く、現に大量に生産され國産品として立派に外國品を駆逐して居る衆知のものが出品されて居ないのは國産全般の状態を

觀察する上より甚だ遺憾に思はれた。

今回出品物を概観するに從來電気鐵道用品は多く外國品の模造に過ぎなかつたが次第に獨創的の考案が加へらるゝ傾向を示して來たことは悦しい現象である。使用材料には未だ可なり外國製品が使用されて居る様であるが、之も諸種の材料製造の發達に依つて次第に國産の材料を使用することゝなることゝ思ふ。尙一層の努力に依つて將來我國の特殊な氣候風俗に適する純日本式の製品の完成を希望する。

廻轉變流機、廻轉變流機と同上用自動起動盤とは明電舎の出品である。同社は此迄七五〇キロ以下の變流機を各方面に供給して相當の成績を擧げて居るが、今回一躍して二、〇〇〇キロユニットのものを試作して出品したことは他の出品物が甚だ寂寥であるのに比べて一偉觀であると同時に其の大なる犠牲と努力とに對して敬意を表する次第である。製品としては設計製作上種々の獨創的考案はある様であるが、未だ充分な試験を経て居ないので其の性能を知ることが出來なかつたのは遺憾である。然し從來の成績から見て同社の熱心は必ず優良な製品を完成することゝ信ずる。

電車用電動機、日立製作所は三五馬力のを明電舎は一〇五馬力のを出品して居る。日立製の電動機は多年熱心な研究と幾多の経験とに依つて漸次改善されて品質性能等殆ど外國品に匹適し、而も價格低廉で生甚高も多く輸入を防遏しつゝあるのは衆知のことである。明電舎に於ても近年異常な努力に依つて相當大なる容量のものも製作して居るが、一〇〇馬力以上のものに就いては未だ多くの経験がないけれども、一〇〇馬力未満のものは品質及價格に

於て之と競争し得る域に達しつゝあると一般に認められる様になつて來た。更に一層努力して其の聲價を擧げられむことを望む。

高速度自動遮斷器、高速度自動遮斷器は芝浦製作所の出品である。本來同器はG、E、社の遮斷器に種々改善を加へて之を我國の需要に適する様設計製作したもので、其の構造動作及機械強度共に甚だ優秀なものであつて、殊に直流負荷の短絡時に於ける選別性を大分に有して居るから、廻轉變流用として又電用として最も適當なものである。我國に於ては昭和元年頃迄は全部外國に之を求めて居たが、兩三年來芝浦及日立製作所に於て製作し得る様になつて、其の成績も良好な結果現在では殆ど輸入を防止して居る。近來高速度電氣鐵道の發達に伴つて將來變電所、電氣機關車、電車等の直流機の保安装置として益々其の用途を擴張するものと思ふ。

電氣鐵道用信號機類、鐵道信號株式會社は四點、大同電機株式會社は四點を出品して居る。信號機類は他の電鐵用品と比べると從來は其の製作が幼稚であつて、多くは外國品を輸入使用して居たが、近年高速度鐵道の發達に因つて之か使用が益々擴大して、各社の研究努力の結果次第に外國品に代用し得るものを製作し得る様になつた。今回出品の緩動繼電器、二元三位軌道繼電器、A型電氣信號機、限時解錠器等は特に優秀なものであつて、外國品に比して遜色のなきものである。尙兩社共各繼電器及信號機を實施使用して其の動作を一目して識別し得る様模型を出品したことは一般觀衆のみならず技術者に於ても亦益する所大であつたらうと思ふ。

架線材料、電車線は古河電氣工業株式會社の「カドミウム」銅線、藤倉電線株式會社の「カドミウム」銅及硬銅電車線が出品されて居る。從來電車線は古河、住友、藤倉等の優良な國產品に依つて殆ど國內の需要を滿して居る。殊に近年古河其他で「カドミウム」銅線の製作を始め、其の進歩改善に著しいものゝあるは欣快とする所である。架線器具としては古河電氣工業株式會社の「イヤール・ハンガー・クラムプ」石渡電機の三、四點の出品があつたのみで「イヤール・クラムプ」以外には特筆すべきものゝなかつたことは遺憾である。

鐵塔は櫻田機械製作の「チャンネル・ポール」が出品されたのみである。本品は二つのU鐵から各支持片を壓出して之を組合せたものであるから、材質に多少無理を生ずる憾はあるが、材料使用上一つの卓越した考案である。従つて工作も簡單で體裁もよいから、價格さへ廉く出來れば相當廣く使用せらるゝに至るであらう。

三、出品の改善又は向上に關する意見

從來電氣鐵道機械器具は輸入品又は之が模造品が多くて、従つて英、米、獨等の各國の種々雜多の型式のものが雜然と使用されて居た。然るに近時我國に於ける製造業の發達は暫時此等各國の長を採つて之に獨創的考案を加へ、純國産的製品の出現する機運に向ふて來た。此の機會に於て官民協力して規格の統一を促進して國産品の標準を確定し、大量生産の基礎を作ることが最も必要と思ふ。殊に信號保安に關する機械、器具の統一は其の性質上最も急務である。架線材料に對しても今日の雜然たる状態を整理して何等かの標準型式を定め、之に依つて大量安價に生産すると同時に保守上にも便することが必要と思ふ。

四、外國品の輸入を防遏し若は將來之を防遏し又は之に代用し得べき價值に關する批評

今日電氣鐵道機械器具に於ては殆ど輸入を防遏して國産品を以て充當せらるゝ様になつて居るが前述の通り規格の統一が出来、大量生産の實を擧げて價格の低廉を計つたならば將來輸入を絶滅して更に進んでは支那印度其他への輸出も可能と思ふ、製造家の一層の努力を希望する。

第六部 一般製作工業

第六部 一般製作工業

總 說

審査部長 工學博士 關 口 八 重 吉

本部に屬する出品は一般製作工業の各種類を包括せるを以て、其の種別多岐に亘り、第七六類より第九二類に至る一七類であつて、特に各類中出品の種別に差別の多いものは更に之を數項に分割したものである。而して其の出品の分布も亦頗る廣く南洋廳を除くの外全國を網羅し、出品人員三、〇五三名其の點數二六、四六四を算して、審査の結果授賞者は優良國產賞二七六名、有功賞八五一一名、合計一、一二七名に達した。出品は代表的のものゝ多くなかつた憾があつたが概して製作の技術考案等の進歩が顯著で、且つ輸出及輸入防遏に關して努力の跡の大に見るべきものがあつた。然し乍ら尙舊來の慣習を守つて手工業の域を脱しないものも多々あつた。故に將來に於ては獨創的機械を使用して多量優良品の產出に努め、以て國產の發展を期するを要する。

本部の審査は左記の項目に依つて之を施行した。

- 一、材質、耐久力、設計、考案、研究、製作、
- 二、價格、設備及年產額、

合 沖鹿宮熊佐大福高愛香德和山廣岡島富石

兒 歌

計 繩島崎本賀分岡知媛川島山口島山根取山川

三、〇五三 一六五七三二五 五四九〇〇 一三五五 一八七六 二五七三 一七九九

二六、四六四 一六三〇七 三八七 四一四〇 一三五二 一〇九 三九二 六〇〇 三五五 二〇六 三二八

二七八 〇〇〇〇〇一五二〇二〇〇〇七三〇〇〇〇

八四九 四七三一〇一 二七六二七 一九一七一 一〇五七 二二六

一、一二七 四七三一〇二 三二八二九 一九一四四 一〇五七 二二六

三六七〇三三〇〇 四五三七〇〇〇 四三七三三 一四一八 一三八八 二二三

福秋山青岩福宮長岐滋山靜愛三奈栃茨千群埼新長

井田形森手島城野阜賀梨岡知重良木城葉馬玉湯崎

二五二 一六六 九三四 一八八 八八二 二二五 二四三 二五〇 一三二 三三五 八三三

二六六 一七五 五五六 二〇七 一四五 一九三 二四六 一六一 八六一 二八一 二四三 一八二 三二七 一八八 四三六 一四〇 九六六 四一六 一〇一三

〇〇四七〇一一二六一〇三一〇一一〇一一〇一〇六五

一五〇 一六七 八八二 二二二 二六 一四 一五 七三 三〇 八六 三三一

一五四 二二七 九九 二二二 三六 四 五 六 七 四 四〇 九 六 九 八

三二五 三三八 〇六 三五 二三八 三三四 二九四 二二 二二 三三五 二二 三〇 七 六 五 五

第七六類の(一) 金屬製品の中室内戶外装置器

主任 岡部 忠敏
報告員 島田 佳矣

本類に屬する出品は總點數一、三一一、人員二二九人であつて、三府一六縣の品々である。之が品種は實用的及裝飾的
金屬製品で其の材料の種類は貴金屬製品、銅器、鐵器、錫器、アンチモニー製品等である。
本類に屬する府縣別出品人員出品點數及授賞表左の如し。

第七六類(其一) 出品及授賞表

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東京	五〇	七二八	一九	八	二七	五四
京都	四	八一	〇	四	一四	一〇〇
大阪	二	三四	〇	一	四	五〇
新潟	九	二〇	〇	〇	〇	四四
茨城	一	三	〇	〇	〇	〇
栃木	一	七	〇	〇	〇	〇

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
三重	一	九	〇	〇	〇	〇
愛知	一	六	〇	〇	〇	〇
静岡	一	四	〇	〇	〇	〇
岩手	五	八五	〇	一	一	一〇〇
山形	二	五一	〇	七	四	二六
秋田	一	二七	〇	二	七	二九
石川	一	五九	〇	九	二	六〇
富山	四	五〇	〇	〇	一	二二七
鳥取	一	一〇	〇	一	一	一〇〇
島根	二	一三	〇	一	一	五〇
福岡	二	三〇	〇	〇	一	五〇
宮崎	一	一四	〇	〇	〇	〇
鹿児島	七	八〇	〇	四	四	五七
合計	二二九	一、三一	一九	六七	八六	三八

此等製品の需要は重に内地であるが、國外に輸出さるゝものも多く、又將來輸出の見込みあるものも少なくない。産出額は
大體逐年増加しつゝあつて、製作技工も漸次進歩しつゝあつて、著しく改善されたものゝあるは喜ぶべきことである。
併し意匠、圖案の點に、技術的製作の方面に、又取材の工藝的選擇に於て大に研究改良すべき點の尠少なからざるは

勿論のことである。

今此等各種製品を概評せんに、銀器は一、二の府縣出品に係る少數を除いては、他は全部東京府の出品であつて、大體より觀れば其の技工優良なるものであるが、部分的には缺點を認めるのであつて、即ち取り付け、組立て等に不精巧な所がある。出品中殊に優良なものを舉げれば山崎商店、天野時計寶飾品株式會社のものであつて、前者は「カフェーセット」「トロヒー」等に材料の美、及形狀と模様との統一美の調和をなしてをるもの、又後者は「コンバクト」「シガラットケース」に「エンングレーピンク」の機械的效果を現したものである。從來は一般に工藝的價値を専ら手工的勞働價値にのみ要求した感があつたが、以上の製品に依つて現代工藝の一方の針路を指示した感のあるは斯業の爲め賀すべきことであると同時に、製作家は將來大に此の點に注意を拂ふべきである。貴金屬製品の單調を破つて、目先の斬新を求めんが爲め異種の材料を適用したもの、例へば「トロヒー」の耳飾りに「モザイク」を應用したるもの、或は「カフエーポット」の摘みに寶石を用ひた如きは好適の意匠である。併し其の附着細工の不良なものと形狀の悪きとを遺憾に思つたものもあつた。又之に反し異種材料適用の誤つたものを舉げれば、煙草セット器具の外部を更紗の裂地で張りつけ裝飾的に模様としたもの等は破損し易く、不適當の意匠であつて失敗のものである。要するに異種材料を適當に應用して、其の品趣、風致を目新らしくする工夫は必要なことと思ふ。

「アンチモニー」製品は東京の特産品で、大に海外に輸出されたが、一時其の需要の激減したことを遺憾に思つた。併し從來「アンチモニー」製品は濱物と稱し、一種の俗味を感じしめたものが多數であつたが、今回の出品には其の意匠形狀、繪模様、着色等に新味があり、改善されたものが尠くない。輸出品として適當なのみならず、内地の需要嗜好にも適應する様工夫された意匠、色合等の製品を視得たことは斯業の一進歩であり、殊に近來輸出も遂次増額の機運に向ひつゝあることは喜ぶべきことであつて、之は同業組合の指導、製品の統一を謀つた結果である。尙一層材料に適應した用途の製品産出を研究努力されんことを望むものである。

貴金屬製品の地方出品は石川縣の金銀象嵌品、銀銅の鍍金品等で、古來同縣は加賀象嵌で有名であり、其の遺法によつて現今も貴金屬品の産出が多く、従つて技工手法精巧で視るべきものが尠くないが、其の意匠、形狀、繪模様等には斬新なものが少く、此の點に改善の必要を認めるものである。

鑄銅製品は量に於て富山縣が第一位である。由來同縣は銅器の多量産地として有名であつて、當局や當事者は改良に勉め研究されて居るので、漸次進境にある。従つて良好なものは山下、八尾など數氏の出品があつて視るべきものも少くなかつたが、尙一層大に發達改善を謀ることが必要である。其の意匠を斬新になし、狀形の整美、繪模様の新しい工夫をなし、又置物の形體の如きも其の題材を新しくして、良好な彫刻を選ぶ等改めることが急務である。

銅の鍍起製品の出品の多いのは新潟縣であつて、近來其の作品の形狀整美して、溫雅な着色、又鍍目は能く形狀と調和する等佳良のものが玉川、横山等に依つて出品されてをる。併し唐獅子の彫法良好なのに拘らず、眼に金象嵌を施した等は品位を缺く拙事である。總て製作は微細の點にも注意すべきものである。同縣にあつて實用品として其の名を知られた燕町や、一種の趣味を持つ鑄銅品産出の佐渡等の出品の僅少であつたのは遺憾とする所である。

出品は少數であつたが、優雅な作品を出したのは京都府であつた。大橋重助出品の襖引手、釘隠等其の意匠と着色に良好のものがあつた。鐵器の主なるものは鐵瓶であつて、其の他茶の湯釜、風爐、火鉢、花瓶等で、出品の多いのは岩手、山形の兩縣を以て首位とし、京都、秋田等が之に次ぐものである。岩手縣の出品は南部鐵瓶の名聲空しからず、漸次進歩の跡が見え、今回の作品の如きも其の形状の整美繪模様配置等賞すべきものが尠くない。之一に當時者の研究努力に因るものである。併し茶の湯釜等單獨の形状は良いが、其の風爐との釣合の取れないもの等のあつたのは改むべきことであつて、尙一層意匠の斬新、圖案の改善等に不斷の研究を怠らないやう心掛くべきである。

山形縣の出品は鐵瓶、火鉢等苦心の跡の見えたものが尠くない。其の形状、模様の新味を出したものがあつて、進歩を認め得るのである。併し尙圖案者に於て改良を要するものが尠くない。殊に銅器製品にあつては一層其の必要を感じるのである。例へば銅火鉢の如き従來と何等變る所がなく、進歩の見えないのは遺憾である。

京都出品の鐵瓶は其の作風に於て別に改良の點、新味の個所を見出すことが出来ないものである。秋田縣出品の鐵瓶は従來の作品に比し稍進歩を認め得るも、形状、模様等大に改善を要するのであつて、特に銅器の如き一層其の必要を感じるのである。

錫器の出品は鹿兒島、福岡、大阪、宮崎の一府三縣であつて、鹿兒島縣は古來錫器の特産地として有名であり、従つて多量の産出があり、且つ其の作風にあつても製作技術巧緻で、又模様の構成も従來に比し改善されたのを視る。併し尙意匠の斬新と形状、繪模様等を研究して開發を計ることが肝要である。

福岡及宮崎の兩縣出品は鹿兒島の亞流であつて、別に特色もなく、二、三の佳作を視たのみである。大阪府の中村半兵衛出品は量よりも其の作風に特色があり、意匠雅趣に富み、錫器中良適の製品が多いが、意匠等の活氣に乏しいのは一新するの要あるを感じる。

本類中最も進歩發達の著しいものは「日本メタリコン工業所出品の「メタリコン」加工品であつて、従來は其の製造方法、技術等研究時代であつたが、現今は大に改良進歩の域に達して、應用の時代に入り、其の範圍も漸次廣く建築裝飾材料に或は器具調度に適用され、其の材質の何たるを選ばず、各種の金屬化することの出来るので一層適用の製品と應用物とを工夫案出すれば用途の擴張さるゝことは容易である。

此の他電鑄製品の出品等があつたが所謂搖籃時代であつて、今後の研究を要するのである。

金庫出品は大正十二年震災以後著しい進歩發展をなし、殊に輕量金庫に製出されるに至つたのは従來見ない所であつて、又之まで兎角等閑視された形状、塗、色合等外見の所謂見榮なども改善されて、其の品位外來品と對抗することの出来る様になつたのを認める。就中竹内金庫店は工場設備整頓に於て優れ、佐倉金庫會社は輕量金庫の製造特に充填物の研究に於て苦心の跡を認める。該品の將來に就いては一層工作上實用的方面の改良を計ると同時に裝飾的方面即ち外形の整美及塗色の美觀等美的に研究することが急務であると思ふ。

以上は本類出品に對する概觀總評であつて、大體に於ては進歩改良されたものが尠くないのを認め得るが、要するに今後一層機械應用の進展、物質材料の改良を研究することの必要なのは論を待ないが、同時に美的方面即ち意匠と圖

案の研究をなし、其の形状の整美、裝飾模様の新、色彩の調和等に工夫を凝さなければ時代の需要に適合することは困難である。

第七六類(二)及(三) 金屬製品の中飲食器及庖厨用器具

主任 高島宗三
報告員 宮武義次郎

本類の出品區域は二府一二縣に亘り、出品人員五五、出品點數八七九を算する。

本類に屬する府縣別出品人員出品點數及授賞表左の如し。

第七六類(其二、三)出品及授賞表

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東京	二九	五二六	六	九	一五	五二
大阪	三	一五八	三	〇	三	〇
神奈川	一	五	〇	〇	〇	〇
新潟	二	七七	二	〇	二	〇

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
埼玉	三	一	〇	〇	〇	〇
茨城	一	二	〇	〇	〇	〇
愛知	一	三	〇	〇	〇	〇
岐阜	四	四	〇	一	一	二五
長野	一	二	〇	〇	〇	〇
岩手	二	二六	〇	一	一	五〇
山形	一	三	〇	〇	〇	〇
秋田	五	八	〇	〇	〇	〇
富山	一	二	〇	〇	〇	〇
大分	一	二	〇	〇	〇	〇
合計	五五	八七九	一一	一四	二五	四五

飲食器は東京府、新潟縣、岐阜縣、大阪府、神奈川縣等より出品され、其の主なるものは「洋食ナイフ」「フォーク」「スプーン」の類及洋盆の如き洋食器であるが、其の他にも一〇數點を數へて居る。

洋食器は其の品質、製作、意匠等に於て進歩改善され輸入防遏に貢献する所が少くない。殊に支那、印度、南洋方面への販路も追々擴張の氣運にあるは欣ぶべき事である。

新潟縣は技術の練達と産額及價格の低廉に於て依然として覇者の位置を占めて居るが、意匠の精巧と綜合的出來榮え

の優秀な點に於ては東京府を推さねばならぬ。岐阜縣も面目を一新しつゝあるから優秀なものを産出するのも遠くないことと信ずる。

近來「ステインレス、スチール」が此の方面特に「洋食ナイフ」類に盛んに用ひられるに至つたことは此の金屬の特性上自然の趨勢であるが、之が經濟的加工法に於て尙一層の研鑽を重ね外國品を凌駕するの域に達せんことを望む。尙「ステインレス、スチール」を用ひた「フォーク」、「スプーン」類は比較的加工困難な關係上勢ひ形狀が簡單となり、且つ此の金屬に現はれる「クロム」の色澤は近來時計側其他に於て宣傳されつゝあるが、食器としては銀或は「ニッケル」の色澤に優るとは言ひ難く、東京特殊鋼器製作所の出品に係る「フィンガー、ボール」、「ミルクピッチャー」の如き比較的單純なものに對しては其の製作宜しきを得て低廉に供給するを得るならば、相當需要のあるものと考へられる。元來食器は食物に對する心理作用を微妙に支配するものであるから、岐阜縣の製品に見るが如き洋食器の柄に着色を施したるものは、果して適當なるや疑問なきを得ない。

現今洋食器は日本の一般家庭に於ける必需品でないから、之が大量生産の設備をなすことは採算上容易でないが、現在比較的設備の整頓した岐阜縣の關刃物株式會社（商工省より壓延機貸與）東京府の柴田六次郎（商工省より研磨機貸與）及東洋金屬食器株式會社の如き、將來海外の販路擴張に資すべく統一的設備と技術に於て尙一段の努力を惜まざらんことを望む。

庖厨用器具は東京、大阪、埼玉、岩手、秋田、山形、茨城、長野、岐阜、愛知、大分の諸府縣より出品され、其主な

ものは「アルミニウム」製品であつて、銅或は鑄鐵製の鍋、釜、竈の類が之に亞ぎ、鐵板製の「バケツ」洗桶の類は少數である。

「アルミニウム」製の庖厨用具及食器は産額著しく増加し、輸出額も亦相當の額に達して來た。即ち大正元年頃には「アルミニウム」の輸入が僅か五百噸前後であつたが現今では七千五百噸前後に激増し、而かも其の大部分が此の方面に使用される日本の現状としては内地需要に於ては銅器、琺瑯鐵器、鑄鐵製品を壓倒して一般家庭に普及し、輸出（支那、關東州、香港、蘭領印度、海峽殖民地等）に於ては大正十三年の七十萬圓に對し、大正十四年には百四十萬圓に増加し、大正十五年以降は支那の内亂と輸出先に於ける獨逸製品の壓迫とに因つて、稍減退したが而かも昭和二年上十ヶ月に於て既に百萬圓近くに達したのは當業者努力の賜物であつて、之を出品物に就いて見るも製品の改良、意匠、考案等に其の努力の跡が看取され、斯業の前途の爲め慶すべきことと思ふ。

本器に屬する「アルミニウム」製品の大部分は東京、大阪の兩府より産出され、當業者の主なものは東京府では那須、橋本、東京、大阪府では大阪、池田、日本、日東、松尾及鑄造専門の丸十等を挙げ得るが、何れも其の産額及設備に於ても重要な地位を占めて居る。東京の主な當業者は全部震災の厄に罹つたが、何れも復興して那須アルミニウム會社の如きは震災前よりも擴張せられ、既に整頓の域に達して居る。大阪府は産額に於ても亦當業者の數に於ても遙に東京市を凌いで居るに拘らず、大阪アルミニウム會社等の出品を見なかつたのは寂しい感がある。

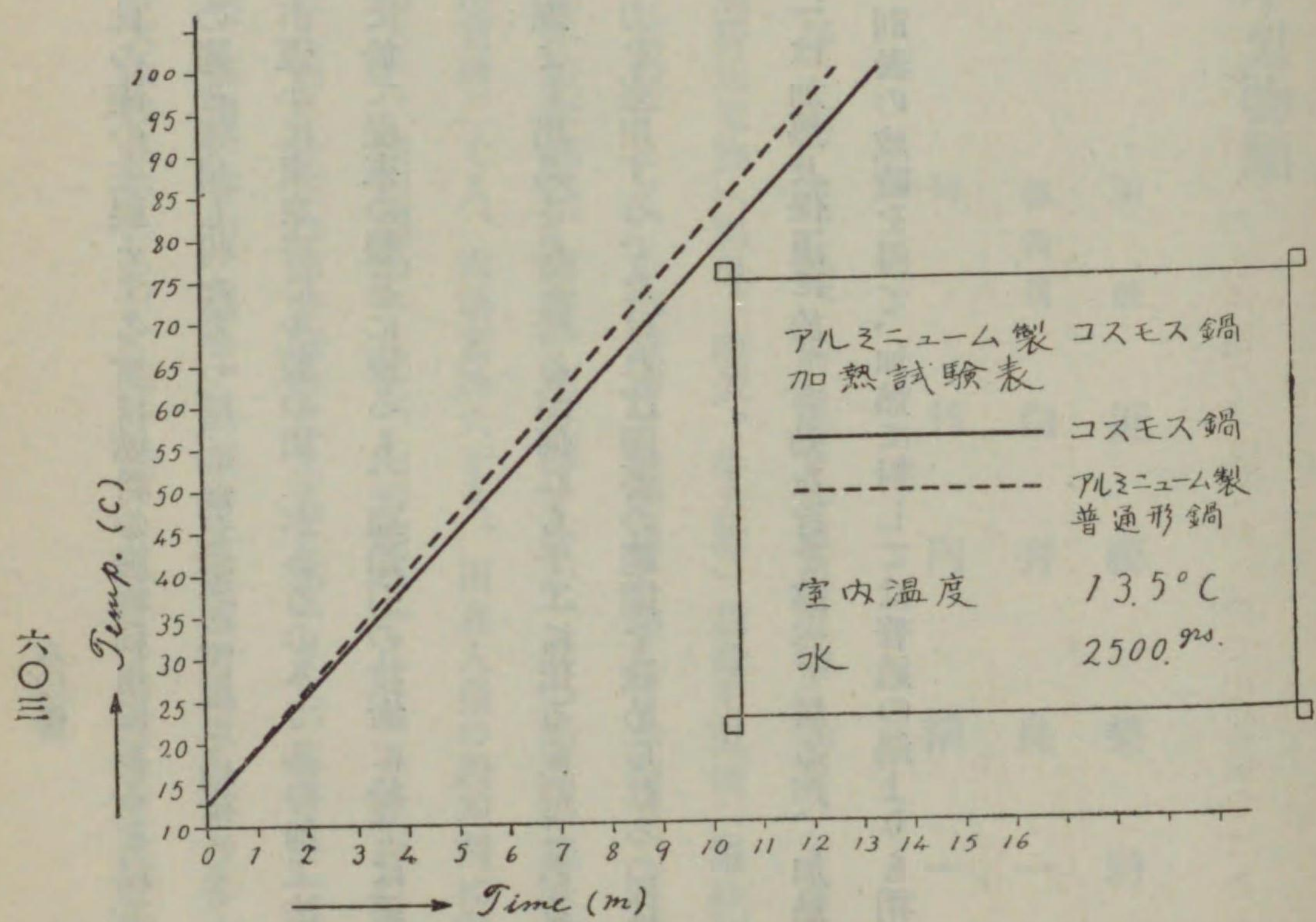
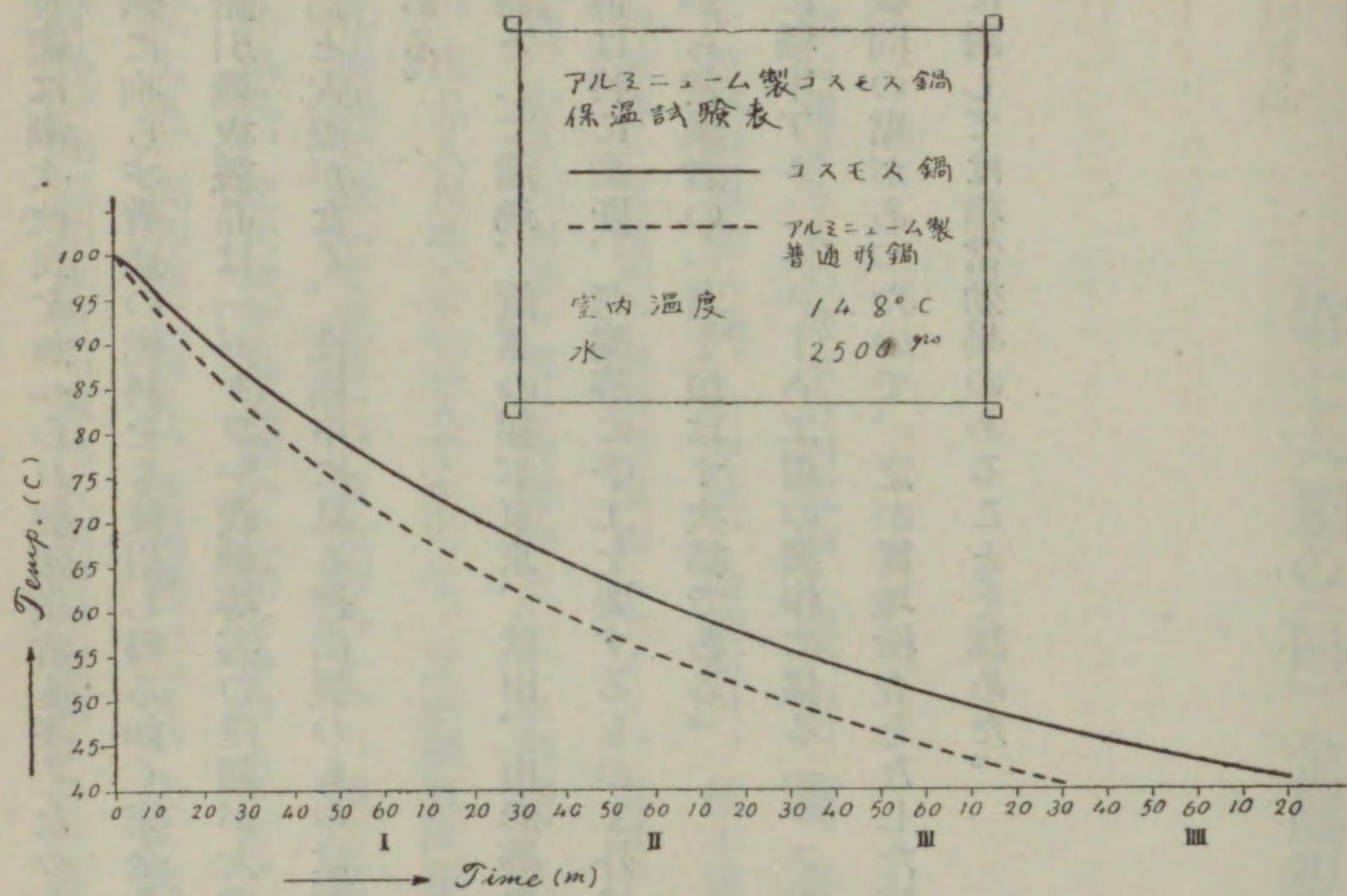
「アルミニウム」製品が殆ど内地に普及したのと、輸出の不振及當業者の増加等に基因する競争の結果、部分的には

粗製品と認むべきものが無いでもないが多くの優良品の製作に努力し、之を既往の博覽會に比するに改善の跡顯著にして意匠、考案等も時代の推移に伴ひ、新鮮味を加へたことが認められる。總じて大阪府は實用向きに、東京府は意匠、考案に優れ、大阪の池田、東京の那須の如きは之を代表して居る。

片切模様が盆或は水差の類に多く施されて居るが、之は一部の趣向に投ずることは事實としても、此の種金屬の性質又は用途の上から言つても幾何學的の形模様、毛彫、洋風の「エンダグレイヴィング」等が適當の如く思はれる。又考案に囚れたものもあるが、日常の庖厨具の如きは簡にして要を得ることが必要である。尙生活改善の聲を聞くこと久しい折から、庖厨器具として目新しい出品を多く見なかつたのは遺憾であつて、東京瓦斯株式會社出品の各種瓦斯器具、重寶臺、炊事臺等は此の方面に貢献する所が少くない。鈴木商行の炊事臺に於ける金屬部分は多少改良され、濡物用「パイプ」製棚の如き木製に優るが尙改良の餘地がある。臺所用器具及附屬品として金屬製品を要求するものは多々あると信ずる。此の方面にも當業者の省察を望む。

「アルミニウム」鑄造品の主なもの鍋、釜であつて、鑄造の技術及仕上共に進歩を認め、埼玉縣の産出に係る出品は概ね良好である。「アルミニウム」の鑄造品は其の配合金屬に依つて生産費を左右するものであるから競争の結果品質を低下するが如きことなきを望む。

鑄鐵製鍋、釜は近來「アルミニウム」製品に壓迫されるも、耐久力と價格の低廉な點に於て相當需要はあるが、改良進歩等の認むべきものはない。



靱焚竈は漸次改良を加へられ製造業者も多くなつたが、此の竈の主眼とする所は燃料の廢物利用にあるを以て、廢物の有無に拘らず普通の燃料をも使用し得る如く完全な兩用の竈を案出し得たならば、一層農家の需要を増すことと思ふ。亞鉛引鐵板製品は「バケツ」洗桶等其の産額が大であるが僅かに東京府に少數の出があるのみで其の加工法も従來の製品と大差がなく、洗桶中に見る搾出製ものは耐久力に於て従來の製品に優るも、亞鉛引の技術に於ては研究の餘地がある。

銅器として湯沸、飯蒸の類が東京、秋田、山形等の諸府縣より出品されて居るが何れも手工に依るものである。此等の製品は特に意匠、考案等に手工を要するものゝ外は機械力を應用するでなければ需要の範圍を狭められるのは當然であるから當業者の一考を煩はす次第である。

因に橋本アルミニウム工場の製作に係る「コスモス鍋」は加熱及保温に於て有効な旨を述べて居るが、加熱に就いては疑問の點があつたので、之が實地検査をなした結果、別表の成績を得て、加熱に對しては普通の鍋よりも稍劣り、保温に對しては相當効果のあることを認めた。

第七六類の(四) 金屬製品中双物類

主任	近藤榮助
報告員	白井良一
同	竹内精一

本類に屬するものは木竹用双物(鉋、鋸、鑿、錘、鎚、斧、鉈、鉞、銑、鳶口等)金屬用双物(切箸、エグリ、ペンチ等)農藝用双物(鎌、剪定鋏、桑切庖刀、植木鋏等)庖厨用双物(出双、庖刀、牛刀等)裁縫用双物(羅紗切鋏、洋鋏、和鋏等)事務用、携帯用双物(ナイフ、海軍ナイフ、萬能ナイフ、小形鋏等)理髮用双物(日本剃刀、西洋剃刀、髮刈器、安全剃刀等)等で尙雜物として氷削機、爪切、萬年筆修理器、研臺、革砥等を含む。其の出品の總點數二、一五九、出品人員は二二二人であつて、之が擬賞は優良國産賞牌二七人、有功賞牌六七人、出品人員の約四割に當る。出品を各府縣に就いて見るに、東京府の一、一四〇點を筆頭とし、新潟縣の一八七、山形縣の一八一、大阪府の九四、岐阜縣の八八、之に次ぎ鳥取縣の二點を最少とする。又出員人員に於ては山形縣の五九人を第一とし、東京府二九人、長野縣二七人、高知縣二四人、新潟縣二二人、之に次ぎ千葉、福岡、香川、福井、神奈川、宮城、鳥取各縣の各一人を最少とする。出品中木竹用双物及庖厨用双物は各府縣を通し大低出品があるが、其の他のものは各府縣の産業状態に因つ

て各特色を顯してゐる。例へば東京、大阪、名古屋、岐阜の如き大都市若くは大都市に近い都市居住者の出品は、都市居住者の需要を目的とするものが多く、山形、新潟の如きは農工用双物を主とし、長野は農業用双物、高知及北海道は林業用双物を主とせるが如きである。

本類に屬する府縣別出品人員、出品點數及授賞表左の如し。

第七六類(其四)出品及授賞表

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
北海道	二	九	〇	〇	二	〇
東京	二九	一、一四〇	一七	〇	二九	七九
大阪	二	九四	〇	〇	二	〇
神奈川	一	七八	〇	〇	一	〇
新潟	二二	一八七	一	一	二四	〇
群馬	二	二五	〇	〇	二	〇
千葉	一	一五	〇	〇	一	〇
知床	二	七二	〇	〇	二	〇
岐阜	一八	八八	二	二	二〇	〇
長岐	二七	三五	〇	一	二八	四〇

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
宮城	一	六	〇	〇	一	〇〇
青森	二〇	三八	〇	一八	二五	二五
山形	五九	一八一	四	一	二二	三七
秋田	四	二二	〇	一	一	二五
福島	一	四九	〇	一	一	〇〇
鳥取	一	二	〇	〇	一	〇〇
島根	二	一四	〇	〇	二	〇〇
広島	二	一五	一	〇	一	五〇
香川	一	一五	〇	〇	一	五〇
高知	二四	五六	〇	一八	一八	三三
福岡	一	二一	〇	〇	一	五〇
合計	二二二	二、一五九	二七	六七	九四	四二

今出品に係る双物類を見るに輸出入に關係を有するものが甚だ寡く、双物として首位を占める工匠用双物の如きは我國と歐米諸國と其の使用法が全然異なるから輸出入には交渉が寡く、輸出入に關係あるものは唯僅に「ナイフ」、「レザー」安全剃刀、「バリカン」、鋏等あるに過ぎない。従つて優良國產賞は甚だ少く、有功賞の約三分の一に過ぎない。次に各府縣に就いて批評を試みやう。

東京府

出品点数一、二四〇、出品人員二九人で、出品の主なもの出刃、庖刀、牛刀、鋏、バリカン、安全剃刀、レーザー、ナイフ、切箸、ペンチ、鉋、鋸、鑿、錐、鑪等都市居住者の需要を目的とするものが多く、従つて輸出入のものと輸入防遏を目的とするものが多い。而して出品の外形は他府縣に比して概して垢抜けし、ナイフ、レーザー、庖刀、鋏、バリカン等に於て特に顯著なやうに思はれる。柴田六次郎出品の「ステンレス」鋼製の刀物、内野隆介出品の「レーザー」等は進歩の跡の見るべきものがあり、價格も亦高くない。其等の工場は相當の設備を有するが尙幾多の改良すべき點がある。益々奮勵努力、各種機械の發明改良、設備の改善等を行つて、能率増進を計つたなら一層精巧な製品を製作することを得且つ價格も低減することを得やう。正久刃物製造會社の斷截庖刀、煙草截斷庖刀は輸入防遏を目的とするものと認める。同社は此の種刃物の製造者としては我國に於て最も古い歴史を有し、製品の價値に就いては已に世の認むる所である。福島幸太郎出品の斷截庖刀は良好な品位を有するが、外國品に比しては、尙研究の餘地あるもの、やうに思はれるが價格の安いのは之を償ふことが出来やう。又東京鋸業組合江東部出品の絲鋸は製作良好で進歩の跡見るべきものがある。

新潟縣

出品点数一八七、出品人員二二人で出品の主なものは鋸、鑿、鉋、雙鑪、鑪等である。而して輸入防遏に關係ありと認むべきものは僅に久保田重松出品の鑪あるに過ぎない。内地需要品としては燕鑪製造同業組合出品の雙鑪、與板鍛工

組合出品の鋸、鉋、脇野町鍛工組合出品の鋸等がある。本縣特に三條及其の附近は我國に於ける刀物の産地として有名な地方なるは遍く人の知る所であるが、出品に就いて其の製造技術を見るに其の名聲に恥じないものが多く、一般に進歩の跡のあるは認めるが特筆すべき點は無し。

山形縣

出品点数一八一、出品人員五九人であつて、出品の主なものは鋸、鎌、剪定鋏等である。鎌は板金より打出して製作したものも多く、一般に製作技術は近年著しく進歩して製品佳良なものが多い。然し手工的のもの多い、爲めに、不揃なのを遺憾とする。又米澤市打刃物組合出品の南洋向厚鎌、佐藤利吉出品の南洋向甘蔗刈取鎌等多少でも輸出されるもの、あるは斯業の爲め欣ばしい事である。而して同組合出品の鎌類は製造機械及材質の改良と相俟つて、近來特に著しい進歩の跡がある。

岐阜縣

出品点数八八、出品人員は一八人、其の主なものは鋏、ナイフ、庖刀等である。關町は本邦有數な刃物の産地であるが一般に進歩の跡が少い。然し乍ら依然品質が良く殊に「ステンレス」鋼製刃物に於て佳良なものが多い。

長野縣

出品点数三五、出品人員二七人、出品は少數の鋸を除く外殆ど鎌に限られてゐる。之本縣は鎌の産地として有數の地であるから當然であらう。而して製作技術の少しく進歩したのは認め得られるが緊禪一番大に奮勵努力を要する。

高知縣

出品點數五六、出品人員は二四人で、主な出品は斧、鉞、鋸等林業用刃物である。中にも斧鉞は其の数が最も多、相當見るべきものもあるが特記すべき點はない。鋸には製作上努力の跡を認め得る。

福井縣

越前打刃物組合の出品に係るもので、庖刀、鋏、羅紗切鋏、鎌、剪定鋏を主なものとする。製品には特に記するに足る點はない。又柄には其の附根に特殊の考案を施したのものもあるが、一般に其の製作が粗末であつて、製品の價值を減殺することが多い。

青森縣

出品點數三八、出員人員二〇人で、出品の主なものは庖刀、漁業用庖刀、鎌、鉞、剪定鋏等なるが特記すべき點はなく産額も亦少ない。

秋田縣

出品點數二二、出品人員四人、其の主な出品は庖刀、鉋、斧、鋸、鎌等であるが特に擧ぐべきものはない。

群馬縣

出品點數二五、出品人員二人にて、主な出品は日本製鋸合資會社製の丸鋸、兩手挽鋸、堅鋸、丸庖刀等であつて、他に鋸の出品があるが記すべき點がない。

島根縣

出品點數一四、出品人員二人、主な出品は斧、鉞、根切等で普通の出來榮えである。

福岡縣

總て兼重工業株式會社出品の鋸で、出品點數二一、材質、耐久力に於て優れ、年産額相當に多い。

廣島縣

出品點數一七、出品人員二人で、出品は越智抽一の鑑及日本研磨研究所の研臺である。鑑は品質優良なものと認める研臺は實用新案登録を受けたものであつて、家庭用としては便であらうが、工匠用具としては價值が少く、尙研究の餘地を存する。

宮城縣

出品點數六、總て東洋刃物株式會社の出品に係る。同社は設立後日尙浅いから研究が未だ充分でない、製品も外國品に比して稍劣る觀がある。然れども日尙浅いのに拘らず相當の製品を出し得るに至つた努力は認め得る。今後尙一層の研究を望まざるを得ない。

愛知縣

出品點數七二、出品人員二人、剪定鋏、庖刀、バリカン、剃刀等を主なものとする。一般に製作技術に於て稍劣る。唯價值の廉なのを長とすれば、更に成品の上に一段の努力を要する。

其の他鳥取縣出品點數に（剪枝鋏）出品人員一人、神奈川縣出品點數七八、出品人員一人、大阪府出品點數九四、出品人員二人及北海道の鉞、鉞、鑷等があつたが特に記すべきものはない。而して大阪の一名及神奈川縣一名の出品は東京府に於て出品した井上竹次郎の支店より出品したもので、重要なものは皆東京の部と同一である。次に主な出品について記さう。

鎌 製作技師は山形及長野に於て進歩の跡を見るが、就中山形縣米澤地方製造のものが特に著しい。

鉋、鋸、鑿 此等の出品に付いては別に認むべき點がない。鋸には不良なものが少くない。又鑿には不必要と思はれる工作を加へ、鉋には鉋の有する使命と何等關係ない彫刻を施して美術化したものがある。當業者の注意を望む。

丸鋸 製作技術は進歩したが外國品に比すれば稍遜色がある。尙大に研究を要する。

煙草截斷庖刀 外國品に比し殆ど遜色なく且つ價格も稍低廉である。従つて殆ど輸入を防遏し大藏省煙草專賣局に於ても殆ど外國品を使用せざるに至つた。元來煙草截斷庖刀は双身の巾大で双の長さが短いから双物としては最も製作が困難である。而して庖刀には細刻み用と巻煙草刻み用とがある。細刻み用双物は全體双の長さ四吋、巾五吋、厚さ八分の一吋位で「ケースハードニング」したものが多く、巻煙草刻用双物は全體双の長さ十四吋巾十七吋、厚さ四分の一吋位で、鋼を熔接したものが多く、厚みの大なるものは焼入が非常に困難で、從來本邦製のものはこの點に於て劣つたが、正久双物製造株式會社は研究の結果外國品に比し些の遜色ないものを産出するに至つた。

斷截庖刀は煙草刻み庖刀に比すれば双の長さが大で、巾が狭いから其の製作は甚だ容易である。従つて優良な製品を比較的容易に出し得るが、現今巻紙使用の増加したのに依つて、丸「ナイフ」の爲に其の用途を侵蝕され、其の需要は漸次減少しつゝある。

切箸、エグリ、ベンチ 何等見るべき點がない。

剪定鋏 剪定鋏は今回の双物出品中數の多い部に屬し、其の製作技術の進歩も亦顯著であつて、價も低減した。従つて國産品の需要が盛んで殆ど輸入されるものはない。製品は東京を第一とし山形、新潟が之に次ぐ。

羅紗切鋏 製作技術は進歩の跡を認め得るが双の反り過ぎたものがある。双の反りの大なる時は双の摺擦が烈しいから双を損ずることが甚だしい。注意を要する。

レザー 輸入品に比し遜色のないものもあるが一般的には未だ及ばないものが多い。其の價格も少しく高く、従つて未だ輸入を全く防遏するの域に達せず、其の産額は輸入品と伯仲の間にある。材質、焼入、双身の形状等に一段の改良を必要とする。

バリカン 殆ど輸入を防遏し反て支那、南洋方面に輸出するに至つた。製作技術に於ても進歩の跡が顯著で外國品に比して遜色がない。

安全剃刀 輸入品に比して遙かに劣り且つ其の價格も比較的高いのは遺憾に堪えない。今後一層努力を望む。

庖刀、ナイフ 「ステンレス」鋼製品の著しく増加したのは注目すべき事項である。之從來「ステンレス」鋼は切味の悪い爲め鋭利な双物に使用することが出来なかつたが、現今は大いに改良されて相當の切味を有するに至つた爲めであ

る。然れども元來「ステンレス」鋼は其の性質上鋭利で堅牢を主とする双物には不適當であるから單に素人向双物として使用されるに止まるであらう。

要するに双物の製造技術に於ては一般に大なる進歩を認めないが個々に就いては相當優良な成績を示したものが寡くない。特に「ステンレス」鋼製双物、レザーの如きは最も長足の進歩を示して殆ど輸入を防遏した。尙各出品を通覽するに双身に就いては相當研究の跡があるが柄台等に付いては意を用ふるものが少ない。双物も一種の商品であるから全體に亘つて意を用ひて需要者をして一見好感を持たしめることが最も必要である。此の點に付いて切に當業者の注意を求めらる。又製品の整齊、價格の低減の爲めに勉めて機械作業を應用されんことを切望する。双物は大部分一般民衆の需要品であるが故に價格の騰高は最も忌むべきことである。尙輸出品に就いては輸出先の風土、氣候に應じて材質を選び、歴史、習慣、智力を調べて形狀構造の精簡を定め、且つ適當な意匠商標を施して躰格に應じて大さを定める等、輸出先に適するやうに製作することが最も必要である。殊に一樣な物品を送ることは物品の聲價を維持し販路を擴張する要件である。新潟縣の大矢氏は此の點に就いて多年學理的研究を爲しつゝあつて、漸次効果を收めつゝあるのは大に欣ぶべきあつて、一般製作工業者に於ても特に研究を望む所である。

第七六類の(五) 金屬製品の中家具及建築用金物類

主任 前田 松韻
報告者 竹内 精一

本類本項に屬するものは金屬製家具及建築用金物等であつて、出品人員三九名、點數三一六點に及ぶも其の大部分は東京府よりの出品であつて、他府縣のものは數點を見るに過ぎない。

本類に屬する府縣別出品人員、出品點數及授賞表左の如し。

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東京	三三	二九〇	八	八	一六	四八
大阪	二	七		二	二	〇〇
新潟	一	一〇		一	一	〇〇
三重	一	五				
廣島	二	四				
合計	三九	三一六	八	一一	一九	四九

其の中特に進歩發達の跡の見えるのは「スチール、サツシ」及「ドア」であつて、殆ど輸入品を防退し得る状況にある。其他錠、戸の引手、蝶番等の製作も漸次機械的大量生産に向ひつゝあるが、歐米の産業状態の回復と共に幾分輸出量の減少しつゝあるは遺憾である。

以下細目に亘つて述べるゝ次の如くである。

一、「スチール、サツシ」「ドア」及「シャッター」

此の種の出品は何れも相當の出來榮えであつて、而かも製作上、構造上に關する獨特の考案になるもの多いのは誠に喜ぶべき現象である。例へば三機工業株式會社出品の鋼鐵窓の製作及簡單な防雨、防風装置、中外建材製作所、及「サツシ」製造株式會社出品の鋼鐵窓及戸の防雨、建込みより考へた骨材の形狀及製作、大野製作所の「シャッター」に於ける戸飯の連続及閉閉装置、汎建製作所の取扱最も輕快な手働「シャッター」の「バランス」装置等であつて、何れも優良な効果を擧げるものである。此の種の製作は性質上種々に變形を要する場合が多いが、若し協定の上或る「スタンダード」を定める事が出来るならば、更に製作を機械化すると共に人力を省き、生産額を増し得るやに考へられる。

二、金屬製家具

大東工業株式會社の鋼製家具、中外建材製作所の圖書棚等が主なものであつて、何れも外國品を模倣して作つたものであるが、構造堅牢、仕上、塗り共に佳良と認める。併し細部の仕上、意匠等に向つては一段の努力を望む。

三、建築用材

金屬天井、「リプラス」、「サツシバー」屋根飯、金網等であつて、此等の中前二種は外國品を使用したものであるが、近時此等の事業勃興と共に漸次輸入を減少しつゝあるは喜ぶべき事である。出品中見るべきものは、各種打出し模様の技巧に進歩した田村商會の金屬天井、形狀及防滴装置に工夫を加へた日本亞鉛株式會社及大阪分銅株式會社の屋根飯等である。東洋鐵網株式會社の鐵網は製品佳良であつて其の産額も多い。其他東京鋼鐵製作所の「サツシ、バー」及三共貿易株式會社の「ダイヤモンド、リプラス」は何れも製作優良であつて、輸入を防退する爲めには極力奨励すべきものと認める。

四、錠及蝶番

錠及蝶番は歐米産業界回復と共に稍委微し、高級なものは殆ど「エール」に押されるやうな傾向があるが、内地の製品も機械力に依つて整一なものが製作され、且つ構造堅牢で仕上、意匠も巧みに、價も安くなつたから努めて内國品を使用すると共に東洋方面の輸出に向つて助力を必要がある。唯蝶番の仕上と發條の製作に向つては今一段の努力を要する。

出品中湯淺七左工門商店の南京錠は工場設備も良く、幾多の犠牲を拂つて經營されただけに製品も調ひ、形狀も良く満鐵、鐵道省に採用されてゐるのみならず、支那、印度方面に迄輸出されてゐる。森勘六出品の羽根印南京錠は特殊の考案になるのみならず、形狀、製作共に優秀で外國品にも劣らないやうに見えるが、未だ生産額の他に及ばないのが遺憾である。其他渡邊久吉の彫込錠の仕上及考案等見るべきものがある。

五、「ゴム」車

上條幸助及木村九兵工の出品があるが特に上條幸助の「ゴム」車は製作、仕上共に優秀であつて滑動亦良く、支那方面迄輸出されてゐる。

六、其の他の建築金具

川島庄之助出品の襖引手、春名誠一郎の電鑄金具は圖案工作共に優良なものである。

第七六類 金屬製品の中(六)釘及針類(七)工匠具及農具

主任 津田 五一
報告員 蘆葉 清三郎
同 廣部 達三

本類中(六)に屬する出品は京都府及高知縣を主とし、出品人員一三名、點數五六點、(七)に屬する出品中工匠具にあつては群馬縣より唯一名の出品者のあつた外は皆東京市内在住者で、出品人員七名、點數一二二點、農具にあつては長野縣を最多とし、出品人員二〇名、點數八二點である。

今地方別に出品人員點數並に授賞者數を示せば次の如くである。

第七六類(其六)出品人員及授賞數

府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東 京	二	二五	一	一	一	五〇、〇
長 崎	一	一			一	三三、三
山 形	一	一			一	三三、三
石 川	二	九			一	一〇〇、〇
廣 島	一	一	一		一	三三、三
高 知	三	三	一	一	四	三〇、八
合 計	一三	五六	三	一	四	

第七六類(其七)出品人員及授賞數

府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
關 東	一	二			一	四四、五
東 京	九	一二九	三	一	四	

外に相當の輸出をなすに至つた事は大に喜ぶべき事である。

中耕除草機は其の出品が比較的多い。特に考案を施した點は少いが、次第に實用に適應すべく改善されてあるを認め、即ち指扨爪の配列及大さ等地方の農事に法つて夫々苦心した跡がある。

蠶業用器具類の出品は尠ないけれども、繰糸鍋には改良した考案のものも見受けられた。

第七七類 煖房冷蔵及衛生工業品

主任 星野三郎

報告員 吉見 義明

一、出品の概況

本類の出品は煖房用放熱器及汽罐、煖爐、冷蔵装置、通風器、風呂釜、衛生便器、汚水浄化装置、塵芥焼却器、衛生工用金具で人員三三名、點數一五七點、東京、埼玉、愛知、福岡、北海道、朝鮮に亘り、東京府が最も多數を占めて人員で八割、點數で八割七分に及んで居る。大阪府の出品が無かつた事は遺憾である。

煖房用放熱器は本邦に於ける有數な三會社即ち齋藤製作所、前田鐵工所及高砂鐵工株式會社が競つて出品し、汽罐は齋藤製作所、前田鐵工所及び三機工業株式會社より出品して居る。放熱器は材質製作共に優秀で確實に輸入を防遏して居

る。最近に間接放熱器用として米國に現はれた鍔付管の一種である「エロヒン、ヒーター」管は高砂鐵工株式會社から出品されて居る。最初高砂煖房工事會社で其の見本を取り寄せ試作した結果、我市場に現はれたもので目下相當の聲價を擧げ、今日温氣煖房用として至る所に使用されて居る。汽罐は放熱器に較べて大に劣つて居るのは遺憾である。

煖爐は東京瓦斯株式會社の瓦斯「ストーブ」宮崎吉太郎の「ベチカ」、福祿商店の福祿「ストーブ」其の他伊藤仙太郎の愼六「ストーブ」渡邊源二の「ネーション、ストーブ」津田源右衛門の津田式完全「ストーブ」等で何れも外品の輸入模造の時代を脱して我居室に適應せしめやうと努力して居る。就中東京瓦斯株式會社瓦斯「ストーブ」宮崎式、「ベチカ」福祿「ストーブ」は優秀なものである。

冷蔵装置は東京瓦斯株式會社の「ボラー」冷蔵装置、株式會社坂本商會の「アムモニア」壓縮式冷蔵装置が主要なもので、其の他帝國冷蔵株式會社及岩谷冷蔵株式會社の冷蔵函が出品されて居る。近時冷蔵函から自動冷蔵函に移りつゝある現状では「ボラー」冷蔵装置の如きは蓋し適切なものである。

通風器は三機工業株式會社の三機式通風器、宮島康夫の宮島式排氣頭の二種であるが、設計、材質、製作等未だ完全なものとは云ふことが出来ない。

風呂釜は香取利兵衛の金時風呂、服部福太郎の福風呂、釜七商店の長壽風呂、伊藤仙太郎の愼六風呂、田中和三郎の長生風呂等九點である。

金時風呂と福風呂とは何れも優秀品と認められる。燃焼熱の利用を計つて居る點で其の苦心の跡を認める事が出来る

釜七の長壽風呂は原始的の域を脱するものと云ふことが出来ないが我民俗に適應して經濟な點で優秀品と認めることが出来る。

衛生便器は平野鶴齡堂の室内便器と外山繁太郎の「ロール」衛生便器及三勺洗滌便器の三種であるが單純な考案で國産として特記することが出来ない。

汚水淨化装置は三機工業株式會社及香取利兵衛の出品であるが、何れも模型であつて現今の淨化装置と通有性のもの

で別に特有性を認めることが出来ないのは遺憾である。
塵芥焼却器は昭和企業株式會社の出品である。汚物の完全焼却に對しては多大な經驗を要するものであるが此等苦心の跡を認めることが出来る。

衛生工専用金具は西原脩三の出品のみで洗面器用各種水栓、撒水栓、水吞器、「フラッシュバルブ」「ポールタップ」
其他各種の「トラップ」類が陳列されて居る。設計、材質、製作何れも優秀で外品に對して何等の遜色を認めない

二、出品人員點數及授賞表

府 縣 名	出品點數	出品人員	授 賞		出品人員に對する百分比
			優良國產賞牌	有功賞牌	
北 朝	三	三	一	一	一〇〇
海 鮮	三	一	一	一	一〇〇
道	三	一	一	一	一〇〇

東 京	埼 玉	愛 知	福 岡	宮 城	合 計	授 賞		出品人員に對する百分比
						優良國產賞牌	有功賞牌	
一四七	三	三	一	一	一六八	七	五	四二
二八	三	一	一	一	三六	九	六	〇
一五	一	一	一	一	一五	一	一	〇
四二	〇	〇	〇	〇	四一	〇	〇	〇

三、出品の概括的批評

本類の出品は國民の文化生活から見て極めて貴重なもので暖房、換氣、衛生設備を網羅して居る。而して又出品の多くは嘗て外國品の輸入に仰いだものであるが今日では國産品で外國品に劣らないものが出来るのは誠に喜ばしい次第である。就中暖房用放熱器は其の主要なるものである。型式に於ては未だ我國獨創のものを見ることが出来ないが、材質製作の點では何等の遜色がない。年産額百五十萬圓に及び殊に近時日本標準型の出現されたのを見ても將來益々進歩の道程にあることが首肯される。

最近間接放熱器用として米國に現はれた「エロヒン、ヒーター」管の如きは高砂暖房工事會社が見本から試作したものであるが遽かに我市場に聲價を擧げるに至つた。此等は輸入防遏の意義に最も適合して居る。暖房用汽罐は放熱器に較べて非常に懸隔があるのは甚だ遺憾である。暖爐は元來居室用のものであるから美觀と實用と學理と製作と凡て調和を

保ち従て此が型式は建築に適應する必要があるので、徒に外品の輸入模倣を企つる時代を經過し、既に獨創の時代となつた事が宮崎式「ペチカ」、福祿「ストーブ」、瓦斯「ストーブ」等の出品で推知することが出来る。尙石油「ストーブ」の出品もあるが輸入防遏の目的を達する爲めには更に一段の努力を要する。冷蔵装置は近時自動冷蔵函が輸入されるのに對して東京瓦斯株式會社及坂本商會の國産品を見るに過ぎないのは誠に遺憾である。

通風器は需要日に多きを加ふるも尙外品の輸入あるの現状に對して三機式通風器と宮島式排氣頭の二に過ぎないのは誠に遺憾である。

風呂釜は釜の考案として多數の出品がある。大別すれば炭用と瓦斯用の二種となる。炭用としては主として温水槽に燃焼熱を利用した苦心を認めることが出来る。瓦斯用としては主として瓦斯の完全燃焼と其の調節法に重きを置いて居る。

衛生便器及汚水淨化装置は出品の概況に於て述べだ如く特筆するに値するものが無いのは遺憾である。

塵芥焼却器は昭和企業株式會社が出品して居る。塵芥焼却の問題は都市衛生思想の發達と共に勃興したもので、歐米の各國は何れも大規模な焼却設備をして此が焼却と共に其の發生熱の利用を企圖しつつあるのである。本出品の如きは極めて小規模のものではあるが、發達の道程にある本邦の都市に於ては蓋し必要のものと認められる。

衛生工用具は都市衛生設備の發達と共に其の需要益々多からんとするの趨勢にあつて、従て此が製造者も頻出したのである。今回の出品は一人に止まるも其の製品は甚だ優秀なものである。

四、出品の細目に亘る批評

暖房用放熱器は齋藤製作所、前田鐵工所、高砂鐵工株式會社から出品され、何れも材質、製作共に優秀であつて、外品に劣らない。殊に高砂鐵工株式會社出品の細柱式のもの良好である。又同社出品の「エロヒン、ヒーター」管の如きは最近の製作であるとは雖も、推賞すべきものである。暖房用汽罐は齋藤製作所の「モナーク」型、「ラヂオ」型、前田鐵工所の新型、三機工業株式會社の「ラヂオ」型等である。「モナーク」型と「ラヂオ」型は輸入品の模造に過ぎない。唯前田鐵工所の新型は第一圖に示すが如く前面に燃焼室を具へ、其の下方に爐格を設け、後方に熱氣と水との相挾在して居る通路を形成した温水罐で、燃焼室の内壁中其の左右及後方の壁に前端鐵截を有し、且つ稍傾下した鐵板を出し、前面は水室を形成する壁を置き、該壁の中部に於て前板と閉合し其の上方又は下方から通氣する構造である。其の目的とする所は下向通風に於て通風を豊富にして粉炭を使用するも、之を妨げることなく、上下の通風率を加減し、燃焼を完全ならしめるにあつて、實地使用の日が浅いから其の成績は不明であるが極めて良好な設計である。

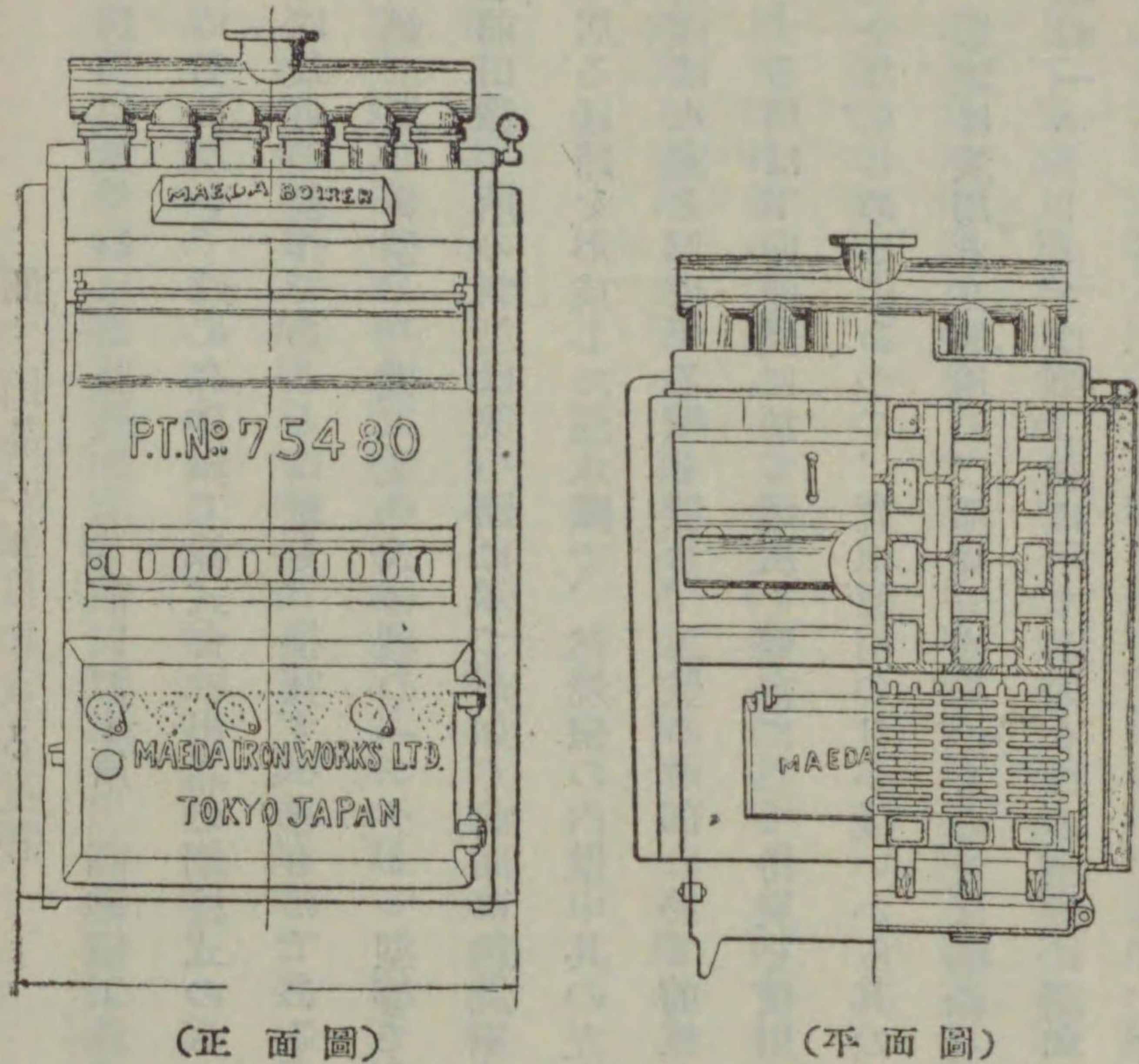
暖爐は炭用と瓦斯用の二種類で炭用のものでは福祿「ストーブ」、「ネーションストーブ」、宮崎式「ペチカ」等がある。福祿「ストーブ」は第二圖に示すが如く日本座敷に調和し、而かも放熱板を豊富にした良好のものである。

宮崎式「ペチカ」は在來品に改良を加へ、吸熱面を増大したもので、置「ペチカ」の如きは獨創的のものである。

瓦斯「ストーブ」は第三圖に示すやうに極めて感じの好い外觀を備へ、而かも其の中には日本室と調和させようと思ふ製造會社の努力が現はれて居る。

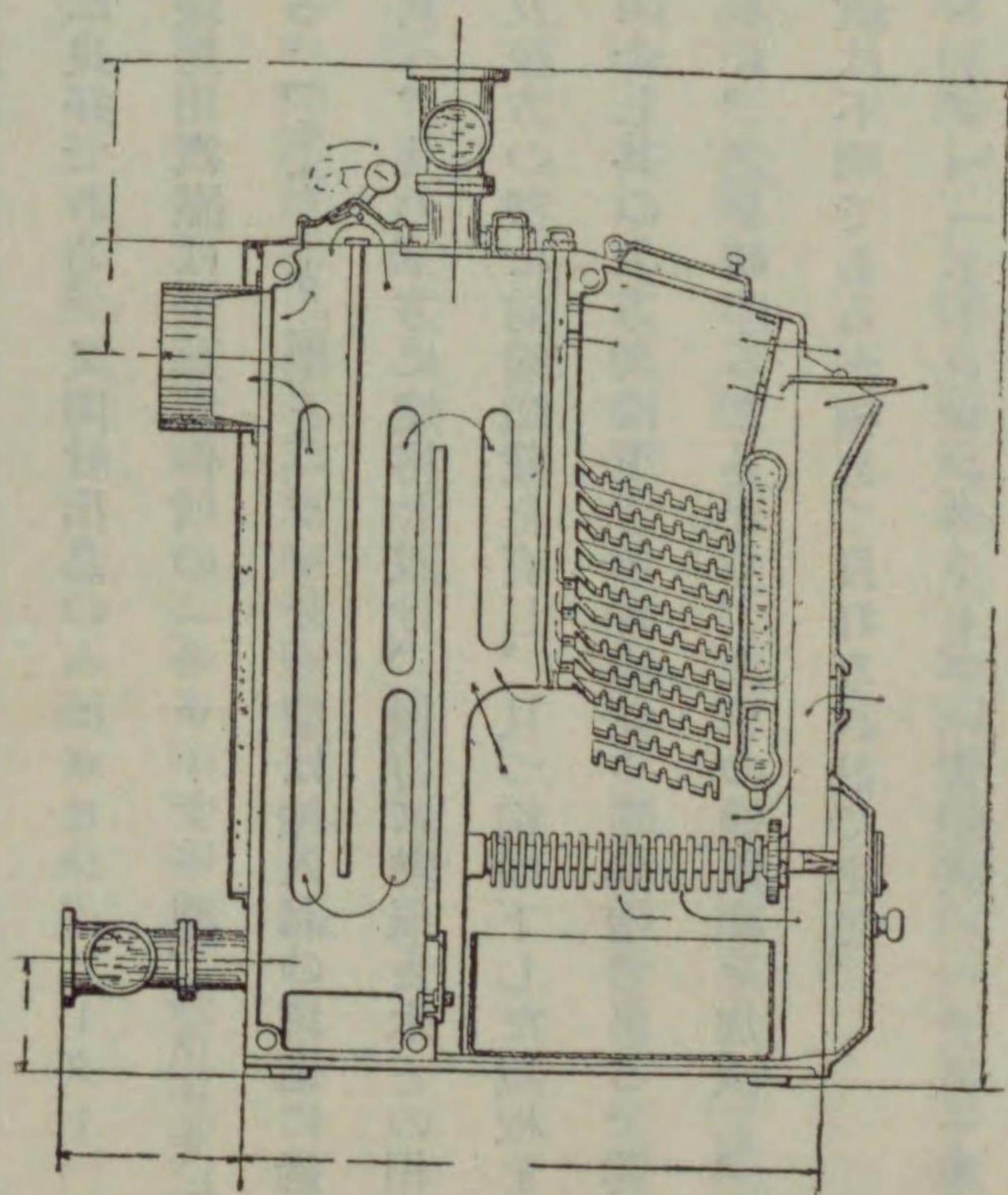
前田(中型)溫水罐

(第一圖)



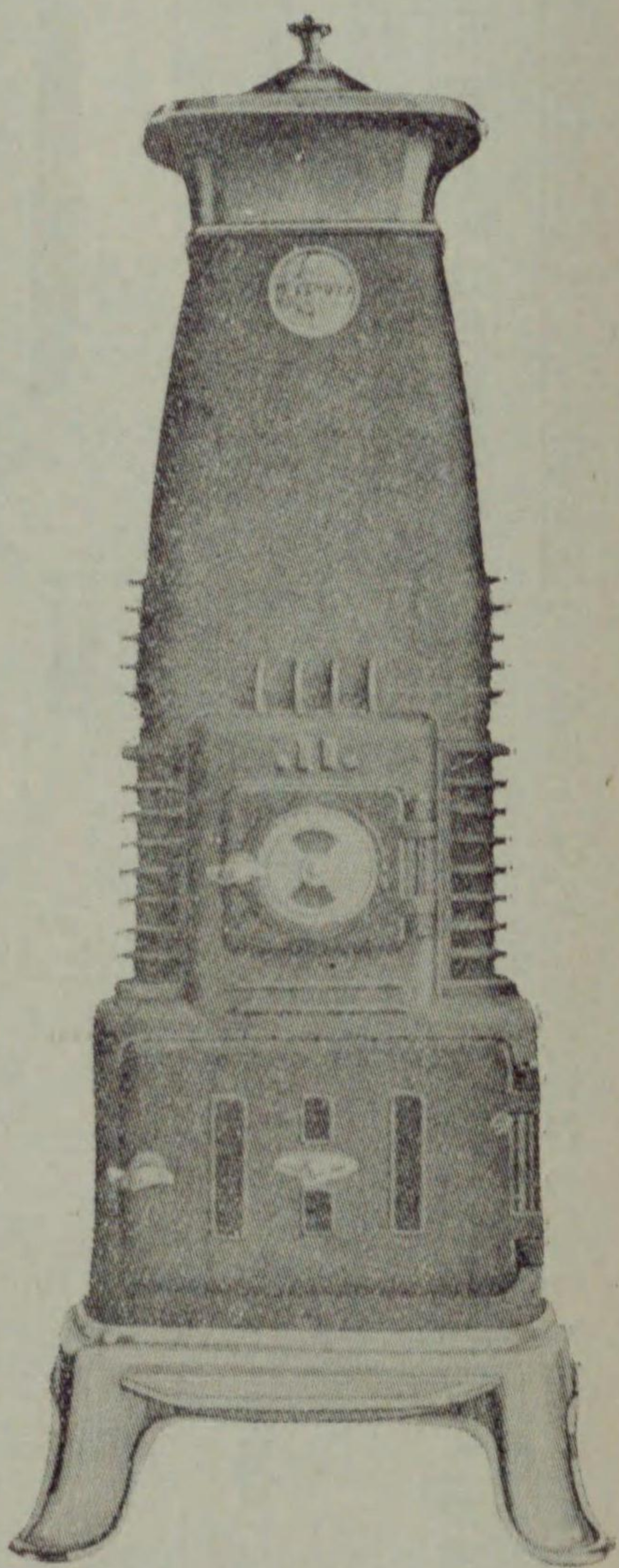
(正面圖)

(平面圖)



(側面圖)

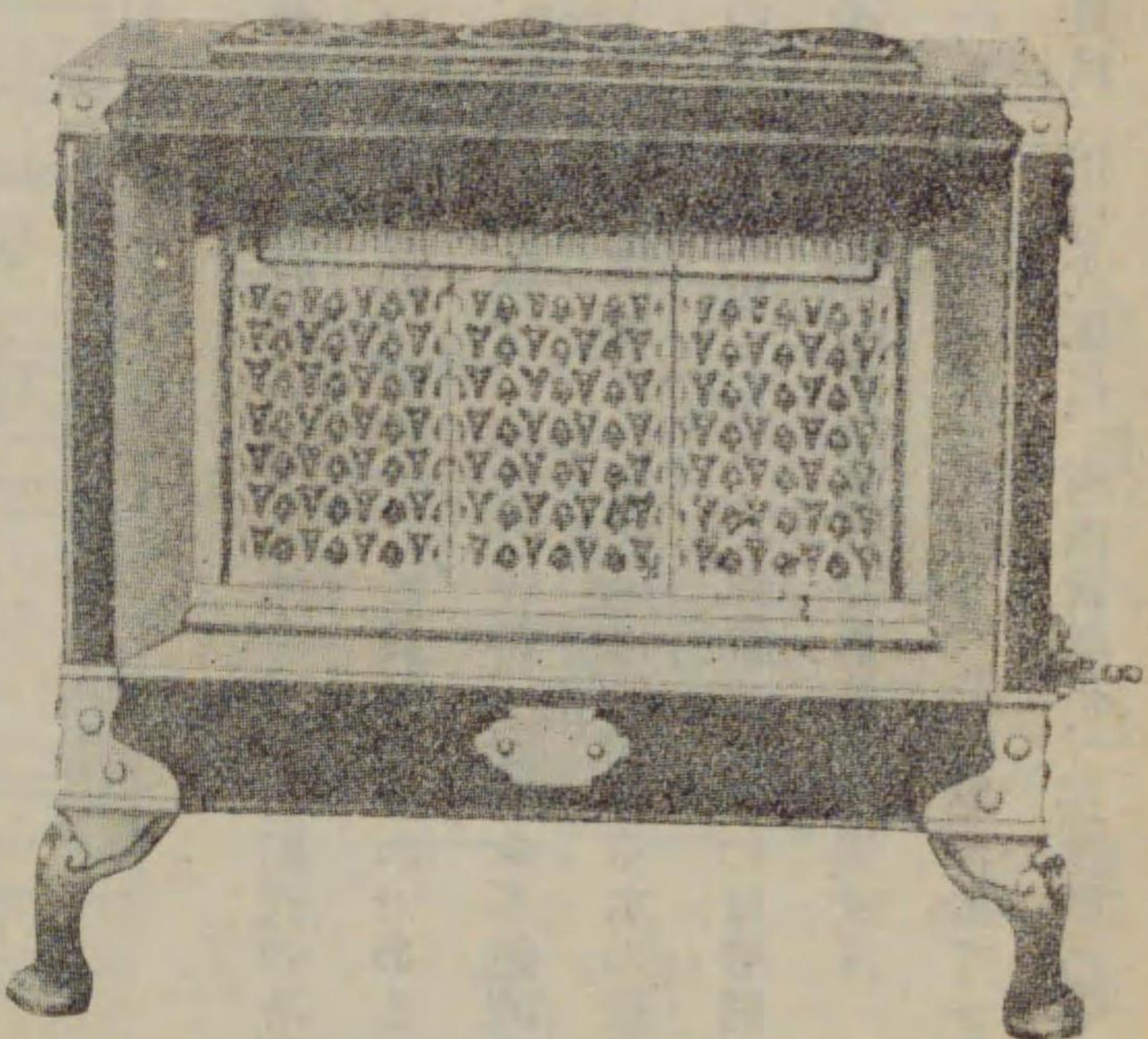
第二圖



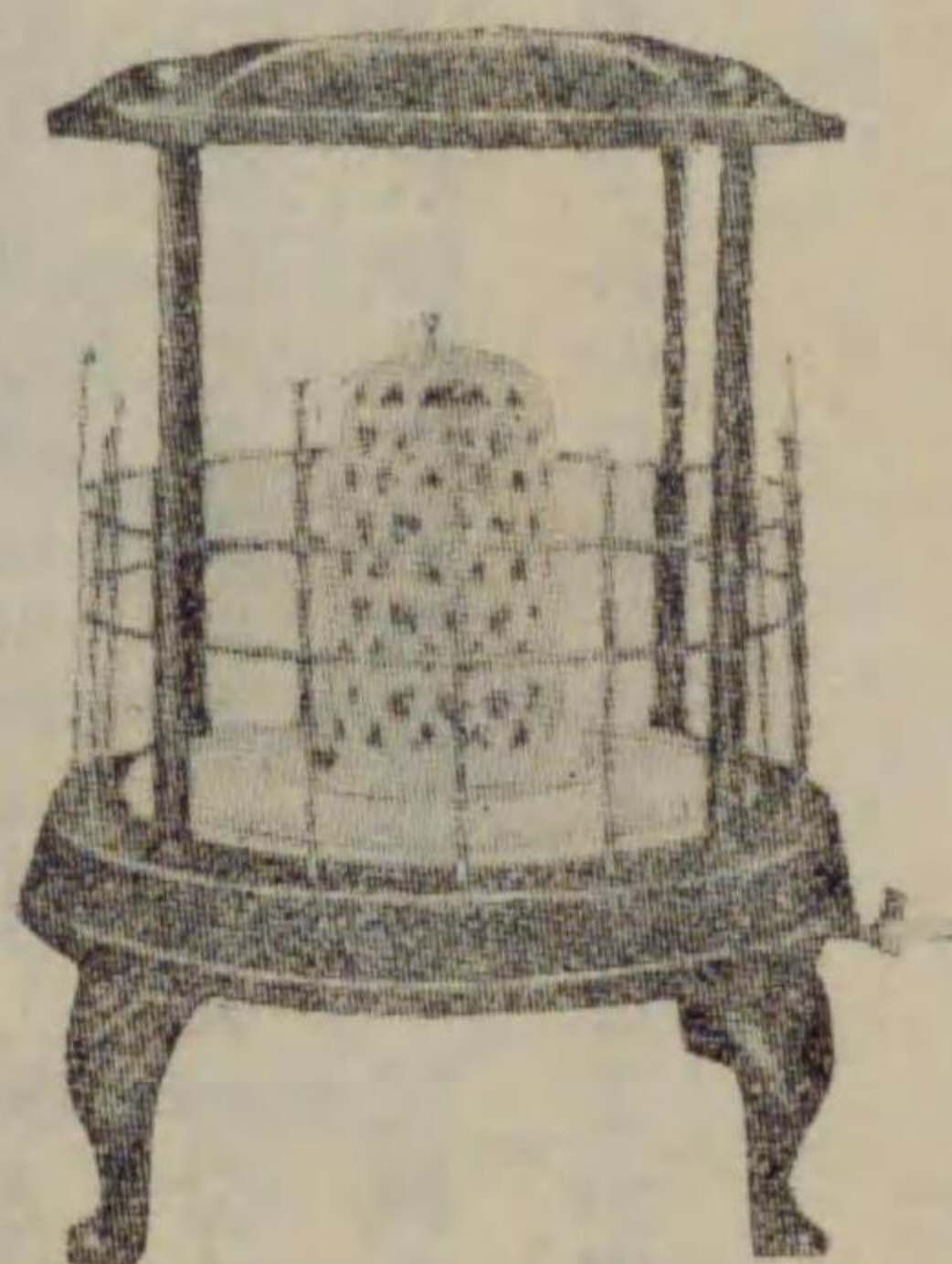
冷蔵装置は冷蔵函並に吸収式と「アムモニア」壓縮式の冷蔵装置が出品されて居る。冷蔵函は別に進歩したとは云へないが、吸収式のものには自動冷蔵函として良好なものである。第四圖に示す如く二個の發生兼吸收器、二個の分水器、凝縮器、受液器、膨脹弁膨脹管、補助吸收器、安全弁逆流自動閉閉弁、瓦斯及冷却水通路自動轉換裝置、二個の加熱用瓦斯「バーナー」等から構成され冷蔵函に使用する水の経費の約四分の一の瓦斯料で其の目的を達することが出来て甚だ経済的のものである。「アムモニア」壓縮式のものには普通の構造のものである。

通風器は三機式通風器と宮島式排氣頭である。三機式は「ロバートソン」式通風器に類似したもので、使用材料が銅材であることは「ロバートソン式」に劣る。此の點に於て一層の研究を要する。風呂釜は金時風呂、福風呂、長生風呂、愼六風呂、荻島風呂、川尻式風呂、西園式風呂、長壽風呂等である。金時風呂と荻島風呂は共に直立した煙管を備へ、

第三圖(其ノ一)

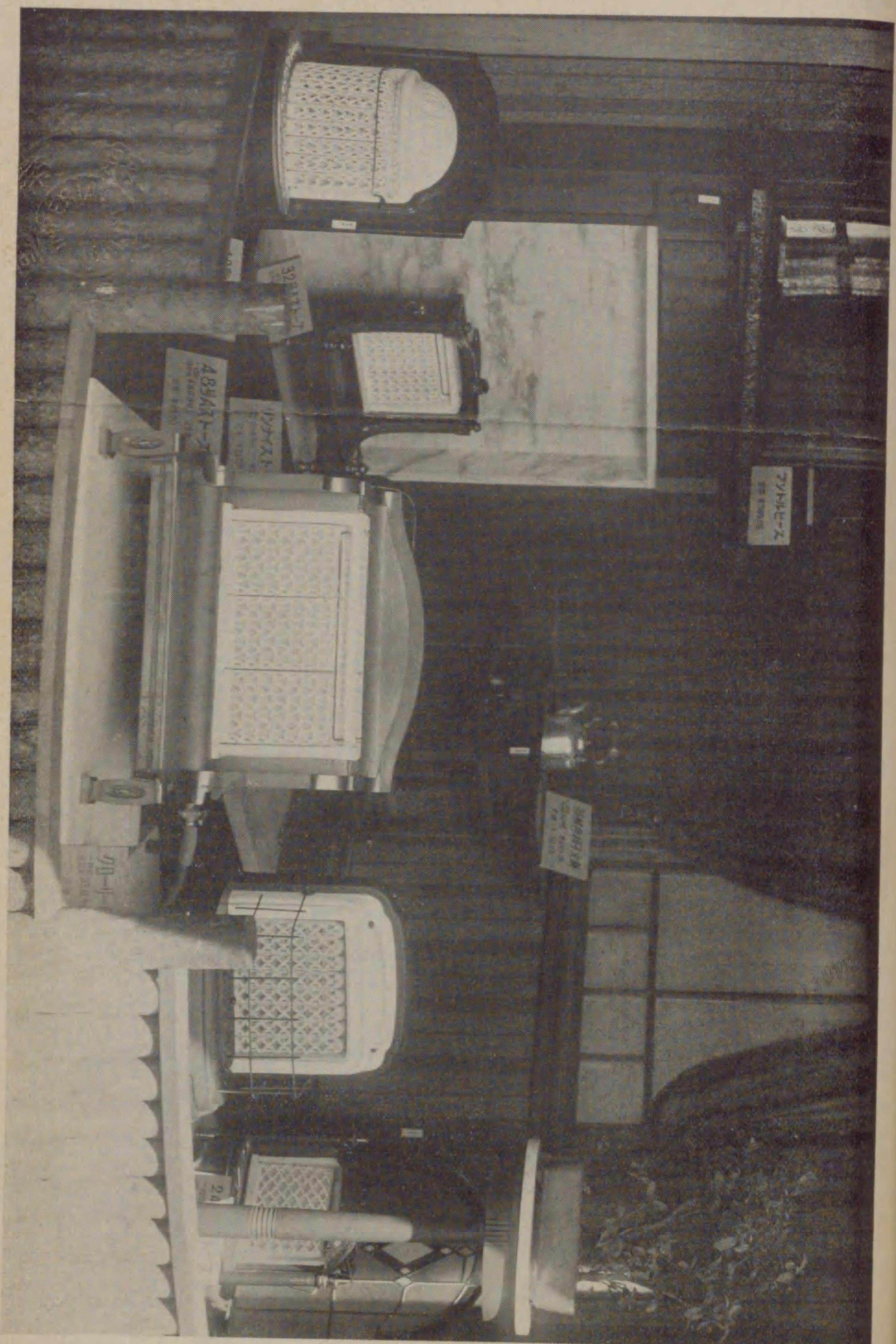


第三圖(其ノ二)

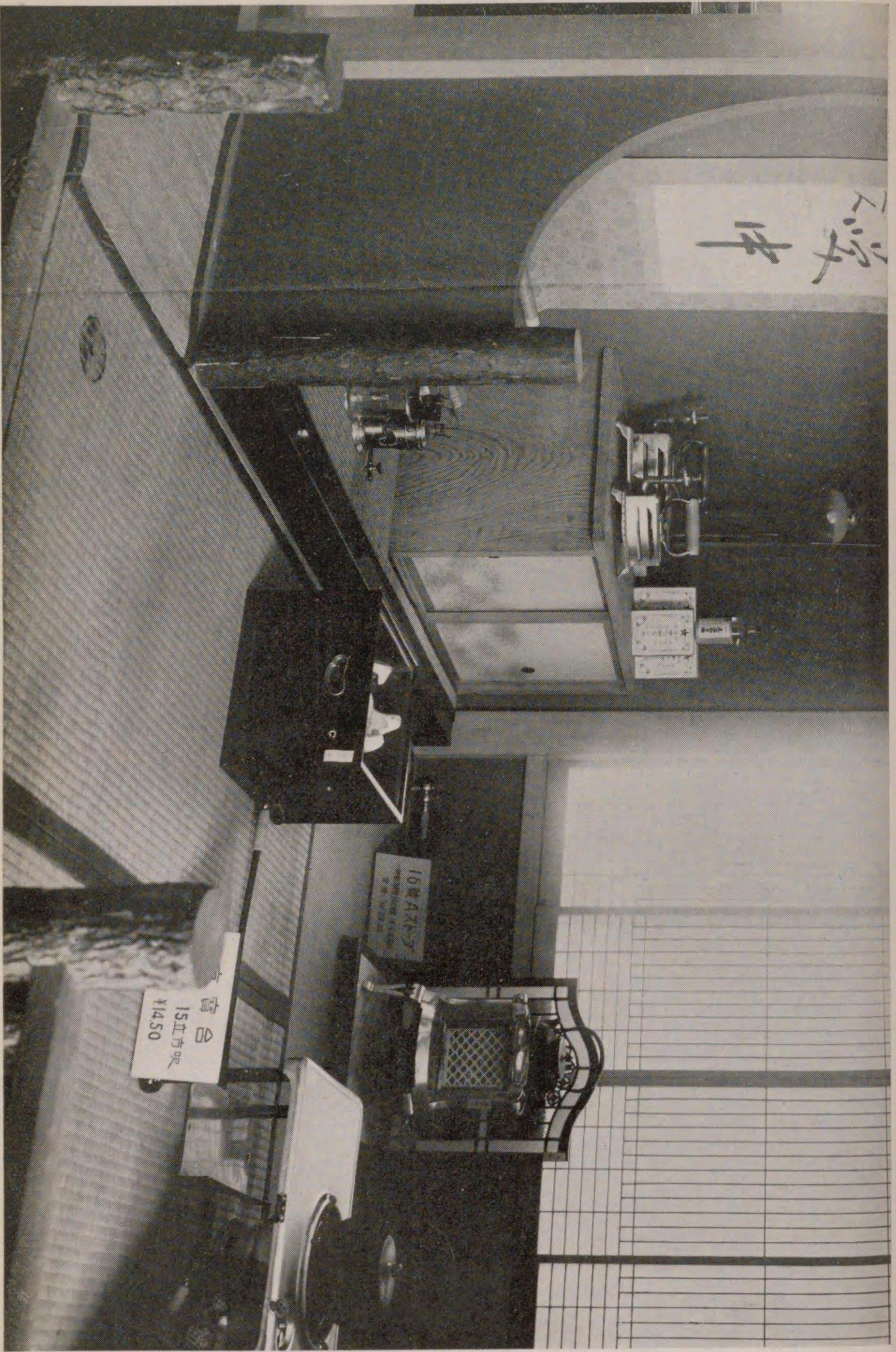


金時風呂には更に第五圖に示すが如く其の上方煙突を圍んで圓筒狀の溫水室を設けて居る。福風呂は屈曲した煙道を備へ傳熱面を増大せしめる構造である。

長生風呂、愼六風呂、長壽風呂は所謂五右衛門風呂の型式であるが、長生風呂と愼六風呂は二重槽とした點に於て其の本來の目的を没却して居ると思考される。長壽風呂は、煙道に改良を施し燃料の節約に留意して居る。川尻式は瓦斯

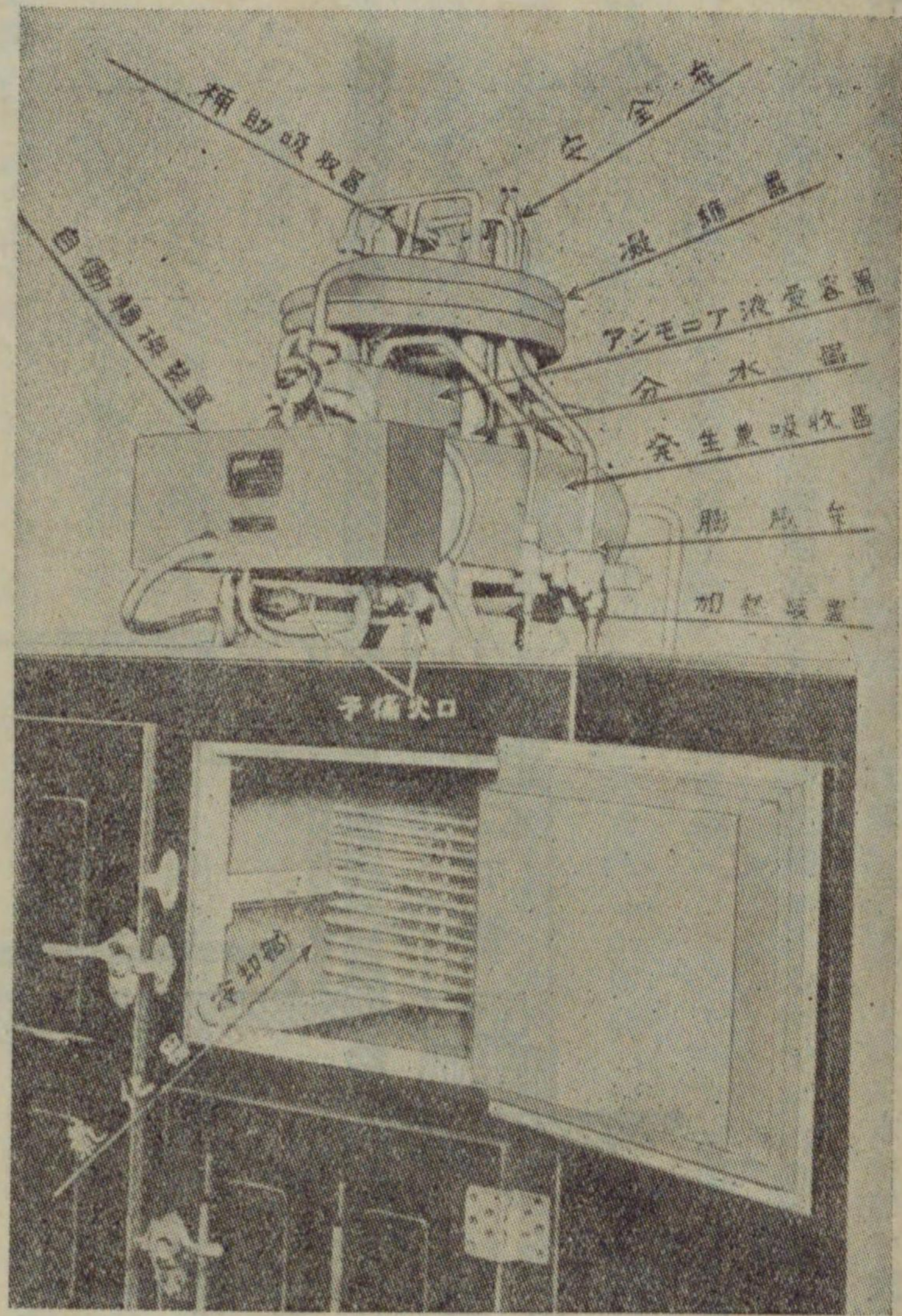


三の共圖三第



四の共圖三第

第 四 圖

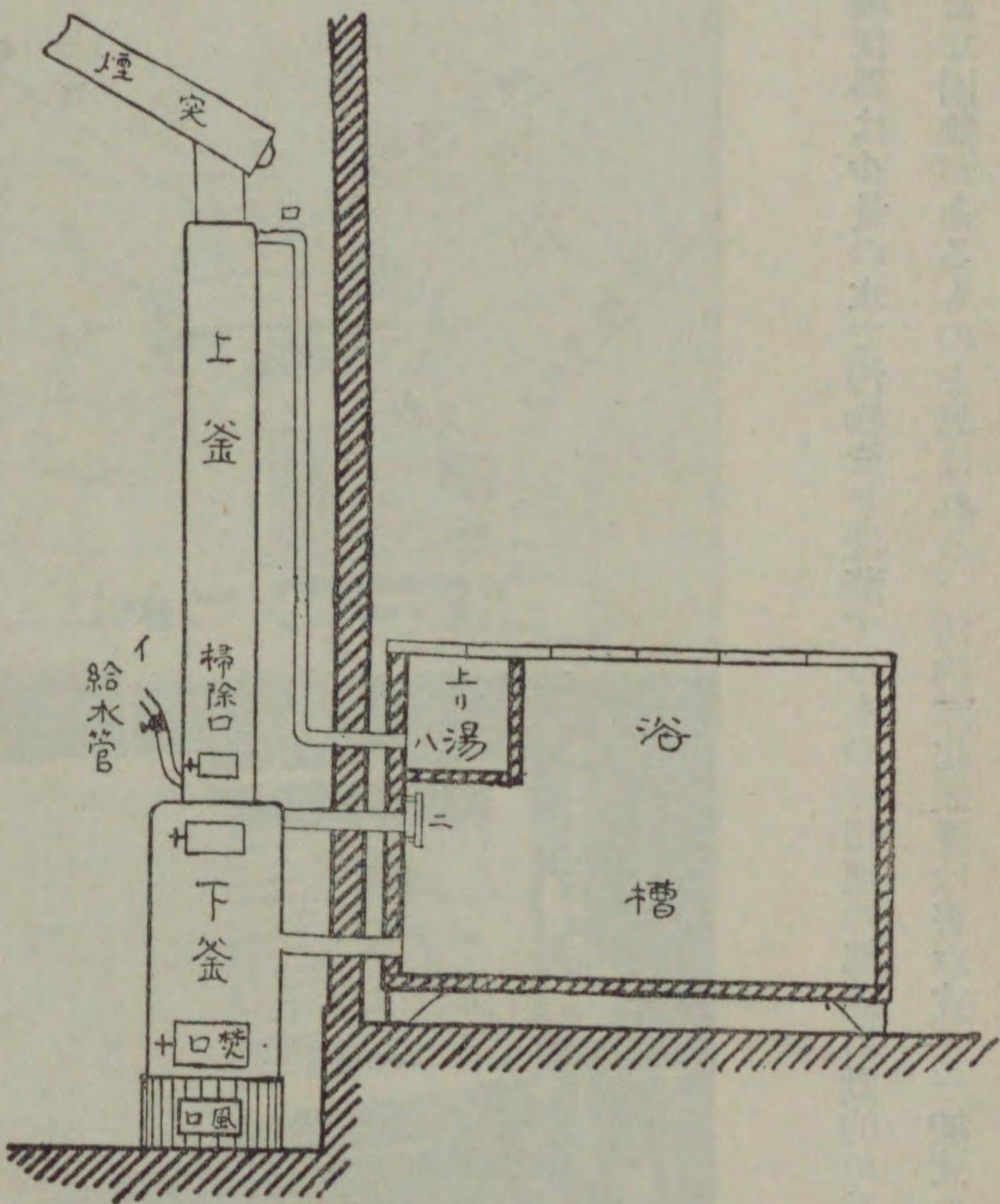


「バーナー」の調節を主眼とし、西園式は傳熱面を鋸齒状とした點を特徴として居るが、何れも將來改良の餘地を認める。

衛生便器は鞍型式室内便器、「ロール」衛生便器、三勺洗滌便器等で鞍型式室内便器は漆塗箱型の内部に抽出形汚物收容器を備へて居る。「ロール」衛生便器は「ロール」紙を汚物受となし、用便の都度之を自動的に送り出して汚物を受け常に清潔に爲すの考案である。三

勺洗滌便器は少量の水で汚物受を洗滌するもので用便の都度自動的に貯水槽を開閉する装置を備へて居る。何れも實用上相當な困難があるものと思はれる。汚物淨化装置は香取式と三機式の二である。出品の概況に於て述べたが如く特筆すべき事項がない。

第五圖



塵芥焼却器は二重壁直立型で下部に火床を備へ、内部中央煙突下に四個の柱を備へた構造で、塵芥は上部から投入するのである。投入された塵芥は四個の柱と内壁の間に積まれ燃焼瓦斯を四個の柱間と塵芥の間隙を巧に上昇せしめ、塵芥の燃焼を完全ならしめるものである。相等の経験を以て設計された良品である。

衛生工用金具は洗面器用「クイック」立水栓、同四ツ手水栓、同陶器製四ツ手立水栓、同胴長四ツ手横水柱、同「クイック」胴長水栓、自在水栓、並形横水栓、撒水栓、衛生水栓、水吞器、「フラッシュ、ヴァルブ」模型「ボール、タップ」、「床排水トラップ」、洗面「トラップ」D型、タオル掛「ロータンク」内部金物、流し排水金物、肘水栓冷温混合、理髪用水栓、鑄鐵製水吞器、自動閉止衛生水栓等で設計材質、製作何れも優秀なものである。

五、出品の改善又は向上に關する意見

- 本類の出品を通じて改善若は向上を促すべき點は多々あるが、其の主要な事項のみを挙げれば大體左の通りである。
- 一、煖房用汽罐は日本炭使用を主眼とし或は重油「バーナー」を使用する國産的のものを製作する必要があること。
 - 二、煖爐及風呂釜は燃焼方法の研究が未だ充分でないから此の點に於て改善の必要があること。
 - 三、冷蔵装置は機械設備の方面に於て外品に匹敵し得べき良好なものを製作する必要があること。
 - 四、通風器は構造及材質の研究が必要であること。
 - 五、今回の出品中に冷房装置、換氣装置用送風機、空氣洗滌器、放熱器用「トラップ」等の重要な衛生工業品を欠いたのは遺憾である。

六、外國品の輸入を防遏し若は將來之を防遏し又は之に代用し得べき價値に關する批評

本類の出品中最も有力に外國品の輸入を防遏したものは煖房用放熱器である。其の他のものと雖も凡て相當な努力を拂ひ且つ學理的に研究を爲すに於ては輸入を防遏し得るばかりでなく、世界の市場に向つて雄飛することが出來ると信ずる。

第七八類 木製家具飲食器及庖厨用具

主任 木 檜 恕 一
報告員 加 納 四 十 二

本類に屬する出品人員は一八四名、出品點數六四〇點で、東京府の人員六四名、點數二四八點を最多數とし、岐阜縣の一名二點を最少數とする。即ち次に出品人員、出品點數及授賞を示さん。

第七八類出品及授賞表

府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
北 海 道	二	四	〇	〇	二	〇
東 京 府	六	二四八	〇	二六	二八	四四
神 奈 川 縣	一	五	〇	一	二	〇
新 潟 縣	一	七	〇	〇	七	三
兵 庫 縣	四	二	〇	〇	二	〇
津 和 野 縣	一	一	〇	〇	一	〇
新 潟 縣	三	一	〇	〇	四	二
計	一八	六四〇	〇	二七	二六七	一四

埼 群 栃 奈 靜 滋 岐 長 宮 福 岩 山 秋 富 島 島 岡 廣

玉 馬 木 良 岡 賀 阜 野 城 島 手 形 田 山 取 根 山 島

八 七 三 一 五 二 一 六 五 一 六 六 一 六 六 一 六 六 一 〇 三 一

八 四 三 三 二 一 六 六 二 六 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇

〇 〇

五 二 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇

五 二 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇

三 六 二 九 〇

第六部 一般製作工業

六三五

山	徳	香	鹿	合
口	島	川	島	計
二	五	一	一	一八四
九	二	三	三	六三一
〇	〇	〇	〇	三
〇	二	〇	〇	六三
〇	〇	〇	〇	六六
〇	四	〇	〇	三六
六三六				

今之等を評論するに當り便宜上本類の出品を、箆筒、唐木細工、洋家具、指物（火鉢、鏡臺、座卓子、茶棚等）小工藝品、及飲食器、庖厨具の七種類に大別する。

一、箆筒

東京府は所謂東京箆筒の本場であるから、其の出品人員並に其の點數共に最も多く、其の意匠と技術は優秀で、殊に其の仕上の一般的技工に至つては極めて獨特なものがある。而して今回の出品中注目すべき點は洋服箆筒殊に吊洋服箆筒に桐材を應用し、或は和服箆筒と組合せて和風室内に於ける調和を計らんとすることは従來の硬木を用ひて、ラック塗仕上となしたものが和風室内に如何にも不調和なことを覺醒して來たのに外ならぬ。又桑材を其の表面に貼付けとなして之を摺漆仕上としたことも亦之と同じ意味に於て注意すべき作品である。但し桐製の洋服箆筒が將來漸次發展すべき洋風室内と果して調和し得べきや否やは問題である。即ち洋風室内には従來の硬木製ラック塗仕上の洋服箆筒が調和するものとすれば、桐製洋服箆筒は現在の如き生活様式の過渡期に於けるもので、今後獎勵すべき程の價値のないもの

の如くであるが、現在我國に於ける洋風室内なるものも亦其の裝飾的方面より之を見れば同じく亦一つの過渡期にあるものと考へ得るから、我國の古い習慣と傳統とに依つて精練された一般大衆の日本風審美的感情は到底之を一朝にして拭ひ去られ得るものでないことは明かである。されば今後生活様式が進歩して椅子式室内に改まつた時に一般大衆の其の室内に對する審美的感情は従來の座式室内の審美的感情の延長であると見做すことが出來得るものであるから、日本風の審美的價値を有する桐製洋服箆筒の發達に何等矛盾あるものでなく、將來眞の日本風椅子式室内の必需品として大いに獎勵すべく、又今後の改良進歩を期して待つべきものがあることを信じて疑はぬ。

更に今回出品中に家屋に造り付け式箆筒を見たことは亦一つの新傾向とも認むべきで、従來の多くの箆筒は概ね室内に配置するものであるから自然室内の壁廻りに凹凸を生じ、外見上或は日常の取扱上から見て不便の少なからざるものであつたが、之に對し今回の出品は全然家屋の一部に造り付けとしたもので、室内壁廻りの凹凸を免かれ、従て室内の不便を除去する結果となつて、至極良い傾向であると考へる。

更に細かい點に就いては一般に抽斗の深さを従來のものより浅くして、其の抽斗の數を増加したことも亦改善された著しい點である。

抽斗の數を増す事は其の工費に於て増額するも、之は極めて小數であり、而已ならず抽斗を浅くしたことに依つて受ける日常使用上の便利と衣服保存上の利益は多大なものであることを疑はない。又抽斗は従來の如く單に桐製の抽斗盆に過ぎずして體裁並に取扱上不便の點があつたが、今回の出品中比較的高級なものに對し亂箱の體裁となしたものを

用ひたことは之を引き出した儘座敷に置いて尙體裁宜しく且つ取扱ひも亦便利である。

更に桐材の使用法に就いては從來概ね一定の方法に依つたが、今回出品中抽斗の前板を特に縦に用ひて其の木理の美を巧に利用したのは將來の桐材使用上に一つの新しい刺戟を與へるに違ひない。

金具は夫々苦心し、之を數年前に比すれば相當に進歩の跡を認めるが、就中鏡縁の金具に輕快なものを用ひたもの、蝶番の取附に使用する木捻に裏金具を彫り込みとしたもの、ネクタイ掛にネクタイ留の金具を附したものは特に從來の金具に比較して著しく進歩した點である。唯一般に扉の裏錠が他の表面に附した金具に比較して頗る粗雑で錠前其の物の機能は充分であるとしても尙一般の裝飾的効果に留意すべきであると考へる。尙表面金具の意匠にも相當改良すべき點のあるは否定し得ない。

埼玉縣の箆筒は其の産額に於て關東隨一で、東京に於て販賣する普通品は殆ど其の素地を埼玉縣より供給し居るものと稱しても過言でない状態であつて、其の製作技術に於ては頗る熟達したものがあつた。此の縣の如く既に多數生産の域に達した所では寧ろ進んで製作方法に凡ゆる科學的方法を採用すべきは當然の事で、既に其の材料の製板法、乾燥法、組立法等に機械力を適用せんとして埼玉縣當局は勿論當業者に於ても此の點に向て絶えず研究し、且つ努力しつゝあることは最も喜ぶべきことなるも、未だ充分に其の完璧を見るに至らないのは遺憾である。

山形縣の箆筒は専ら東京風に倣つて製作せんとする苦心は大いに見るに足るものがあつて、殊に其の價格の廉なことは特に注意すべき點である。更に此の縣特有の棹前板の木地呂塗箆筒は堅牢な點に於て桐箆筒に比較して一長を有する

其の設計意匠に適當改良を加へたら益々販路を擴張し得べきものと認められる。

栃木縣は之を他地方に比較して一般の研究を要すべきものがある。

新潟縣は從來東北地方、北海道方面に其の販路を求めて益々斯業の發達を助長せしめることに銳意しつゝあつたことは之を産業上の見地よりすれば大いに推賞すべきである。而して今回の出品に於ても其の意匠技術共に進歩の認むべきものがある。將來更に範を東京府又は埼玉縣等に求めて益々研究されんことを切に望んで已まぬ。

北海道の出品に係る箆筒は他府縣の衣裳箆筒とは全然趣を異にし所謂、事務用書類整理箆筒であつて、楯材を用ひ、ラック塗仕上のもので使用に便且つ價格の廉なるは認むべきであるが、其の製作技術に於て粗雑の感なきにあらず。大に當業者の一考を要する所である。

群馬縣の箆筒は近來非常な勢を以て發達を見たが、今回の出品に於ても明かに此の苦心を認むべきものがあり、地方箆筒としては大いに賞するに足る。然し之を東京箆筒に比較する時は尙今後一層努力して改良を施す餘地のあることに注意すべきである。

前橋箆筒に於て價格の稍不廉なるは特に研究する必要がある。

山口縣の箆筒は組立分解式のもので單に移轉の際に於ける便利を考慮したもので、其れ以外の點に於ては特に良好と認めることの出来ないのは遺憾である。

以上述べた桐製衣裳箆筒の外、用箆筒の小型箆筒類の出品もあつたが、此等は在來の所謂用箆筒の域を越えず、進歩

の跡の殆ど認むべきものゝ無いのを遺憾とする。此等小型箆等の如きは寧ろ用途を更に擴張して現代及將來の生活に適合するものを研究し製作すれば、其の需要の増加は必ず期して待つべきである。

二、唐木細工

東京府の出品に係るものが最も大多數を占め、新潟縣、京都府が之に次ぐも、其の其の數量の尠いのは遺憾である。此等の細工品は多年の歴史と當業者の努力とに依つて其の生産額も相當に多く、其の技術も亦見るべきものがあるが、出品の多くは概ね舊來の風習にのみ把はれて斬新なものゝ殆ど見當らないのを遺憾とする。假令現在に於て相當の需要を有するとするも將來の進歩に對して此の儘に放棄せば、果して將來に於て成果を得らるべきや頗る疑問とする所である。若し夫れ唐木細工に於ける優秀な技工を今後益々發展すべき新しい家具工藝品の上に善用すれば嘗に東京の唐木細工の上に一新面目を改めるのみならず、延いては其の製品をして海外の市場に輸出せしむることも強ち不可能のことではあるまいと思はれる。

三、洋家具

東京府、神奈川縣、静岡縣、鳥取縣、山口縣、北海道、滋賀縣等であるが、全體を通じて其の點數の至て乏しいのを憾む。

東京府の出品は曲木家具で、此等の工場は何れも其の創業古く、曩に良く輸入を防遏し更に進んで輸出を見るに至り内地の需要も近來頗る増加して實用的椅子式家具として其の冠たるものである。今回の出品に就いて見るも、其の技術の改良に對して苦心の跡歴然たるものがある。更に今後一層の研究と努力を望むで已まない。

神奈川縣出品の輸向彫刻家具は既往に於て輸出品として活躍したことは椅子式家具中唯一のものである。其の後一時衰運に傾いたが近時之に改良を加へて輸出に對して大に努力しつゝあることは誠に喜ぶべきである。

静岡縣の出品に係るものは一つに實用本位のものであつて、多量生産も亦可能があるから將來一層の研究を必要とする。

鳥取縣、滋賀縣より出品した曲木家具は創業日尙淺く技術も亦東京府の其れに及ばないが、將來益々研究を積めば之に匹敵することが出來やう。今後の奮闘を切に望むで已まない。

四、指物（火鉢、鏡臺、座卓子、茶棚等）

山形縣と島根縣の出品は其の技巧に於ては最も優秀なものがあるが、唯意匠の古いことを大なる缺點とする。東京府岩手縣、長野縣等が之に次ぎ、徳島縣と滋賀縣の出品に係る鏡臺は何れも静岡縣と比較して更に獨特の方法に依つて製作された點に於て見るべきものがある。今後其の意匠と技術に改善を加ふれば、廣く販路を求めることも蓋し難事ではなからう。

五、小工藝品

比較的多數の府縣から出品され、其の技術に於ては實に優秀なものがあつて、以て範とするに足るものもあつたが、其の品物が如何にも在來のもの其の儘を基調としたもので、之を現代生活の上から見るとは甚しく距つたものである。

若し夫れ時代に覺醒して其の意匠考案の宜しきを得るならば其處に現代的工藝品を生産し得ることは明かなことである

六、飲 食 器

木箸の出品を見たのみであるが就中奈良縣出品の消毒箸の如きは確に在來の箸に比較して數等優秀なものである。長野縣の箸も亦其の生産方法に於て組織的の改善を加へ近來品質の優秀なものを廉價に供給し得るに至つたことは喜ばしき事である、將來の發展は期して待つべきものがある。

七、庖 厨 具

庖厨具は東京府の出品に係り、臺所設備改良の益々高調される今日、極めて適切な改良と云ふべきである。今後益々此の方面の需要を増進すべきは誠に明かな事實で、今後一層の改良研究、特に一般家庭に推舉し得べき經濟的改良の必要を切望して已まぬ次第である。

第七九類 漆 器

主任 六角 注 多 良
報告員 松 田 權 六

第七九類出品及授賞表

府 縣 名	出 品 人 員	出 品 點 數	優 良 國 産 賞 牌	有 功 賞 牌	計	出 品 人 員 に 對 する 百 分 比
東 京	四 四	三 九 四	○	一 五	一 五	三 八
神 奈 川	三 七	五 五	○	○	三	四 三
兵 庫	一 一	一 一	○	○	○	六 七
長 崎	一 一	一 一	○	○	○	一 〇
新 潟	一 六	四 一	○	七	一 七	一 〇
群 馬	三 三	八	○	一 一	一 一	三 三
茨 城	二 二	二 〇	○	一 一	一 一	五 〇
栃 木	七 七	三 七	○	二	二	二 九
奈 良	二 二	一 八	○	一 一	一 一	五 〇
三 重	七 七	一 六	○	一 一	一 一	一 四
愛 知	四 四	一 三	○	一 一	一 一	二 五
靜 岡	一 六	七 六	○	五	五	三 一
滋 賀	二 二	一 五	○	○	○	○
阜 永	二 二	一 一	○	二	二	○
野 田	一 一	二	○	○	○	一 〇
計						
計						

第六部 一般製作工業

六四三

合	沖	宮	熊	大	福	香	和	廣	島	島	富	石	秋	山	青	岩	福	宮
計	繩	崎	本	分	岡	川	山	島	根	取	山	川	田	形	森	手	島	城
三一一	五	一	二	一	二	七	九	三	七	六	三七	五三	八〇	二〇	五	一	二〇	六
一、四八一	一一	二〇	九	一七	四七	五九	三八	四	一〇一	二六	五六	一七八	二二三	四九	一一	四	五九	四三
四〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇
一一三	三	一	一	一	二	五	五	〇	五	二	九	一五	二	八	三	〇	八	四
一一七	三	一	一	一	二	五	五	〇	五	二	九	一五	二	八	三	〇	九	四
三八	六〇	一〇〇	五〇	一〇〇	一〇〇	七一	五六	〇	七一	三三	二四	二八	二五	四〇	六〇	〇	四五	六七

出品の概況と其概括的批評

右表の如く出品人員總數三二一名、其の點數一、四八一點、今之に概括的批評を試みれば次のやうである。

一、品位程度に就いて

拔群の優良、有功に價すると思はれる程のものは見當らないが、將來を豫想して何とか適當に改良、改善すれば大に望みのあるものは相當あると思はれる。

二、販路に就いて(用途)

少數を除く外殆んど出品の總てが輸出向製品ではなく、日常國內の需要を充たすべき種類のものが多いが、將來は此の販路に就いて周到な計劃を樹て、用途等も充分調査考究するならば、必らず我國特産漆器として數千年間傳統的に蓄積された手法併に技巧の卓越なものを世界に發揮することが出来るに相違ないと信ずる。

三、出品物の實質的堅牢度に就いて

作品の實質が素地併に下地の堅牢度に於て實用上何の程度まで耐へるか云ふことになる、甚だ遺憾に思はれるものが尠くない有様である。之は從來共漆工藝品の聲價を兎角裏切らした原因の最も重大なものであつたが、今以て此の根本問題の解決が不十分であることは甚だ遺憾至極なことで、此の状態が將來に及ぶ場合は海外は勿論、國內の需要販路すら杞憂されるものゝあるは當然のことと思ふ。故に一般世人は今日既に漆器の堅牢でない實例を経験して、遂に素地及其の下地の不正不當な罪を問ふことを忘れ、直に漆其のものゝ實質力を省ることなく、漆器全體の實用的價値を否

定して終ふのも當然のことと思ふ。斯くして世界に誇るべき産業の一つも此の根本的に改良さるべき實質的堅牢問題が未解決である爲め嘗ては輸出額相當なものも今は寂寥な有様と化したのである。そして逆に漆の工藝併に其の家具の如きものが世界に特殊の發達を誇つた我國に向つて堂々と輸入を試みられる有様に一變しているのである。古い發達の歴史を持つ我國特殊な漆の工業は今度の博覽會に各府縣が出品した様なものを將來も作り續けている様な無能振りでは先祖に對しても亦將來の國民に對しても申譯のない次第である。此の博覽會場の隣りにある美術館内に丁度今開催してゐる佛國美術展覽會内の漆製品は如何にも皮肉な對照である。之を想ふと我國斯道の發達が寧ろ逆歩してゐる如くに思はれてならない。勿論理由の右の外一、二に止まらないことは明白だが先づ實質堅牢問題に向つて素地併に下地の改良を經濟的に而かも漆の眞價を發揮する様工夫改良することは單に當業者にのみ望むべきでなく、關係者は因より國家的にも何等か公に施設しない限り此の有望な産業をして産業たらしめることが出來まい。

四、用途に就いて

國內の需要すら其の用途は時と共に變遷するは當然である。然るに今日餘り使用しないものを作るに全美を盡したのもや、又輸出製品としての目的らしいもので、其の實際上は用途を餘り調査研究せず製作了かの如きものもある。輸出品に就いては此の用途は充分調査してかゝる必要があると思ふ。

五、價格に就いて

元來漆器は同一品の大量製産は至難なものだが普通日用品で經濟的價值の高過ぎたものや又反對に安過ぎたものと思

はれるものに非常に優秀なものがあり、一見美術品としての材料及工賃を要するものなどあるは大量製産の場合損失を見ること明らかであつて、今相當價格の平均を見るときは製作者としての利益甚だ少いものゝ多い様に思はるゝ。之畢竟、機械力其の他の設備に新時代的工夫を加へずに、單に傳習を踏むの結果かと思ふ。將來宜敷く長短の取捨選擇を鋭敏ならしむることは緊要とする所である。

六、特徴に就いて

漆器の産地は古來各地其の特徴あるを以て誇とし、又産業的生命も其處に自から生ずる所以であつて特徴あればこそ其の土地の産業は發展し永續するものである。即ち産業の發展といふことは其の特徴を更に一層工夫して益々特徴たらしめることである。然るに今回の各地特産漆器の状態を一瞥すると從來の歴史ある長所を忘れて、其の長所を一層發展させる爲め的手段かも知れないが結果に於て他の長所と混合類似の傾向あるものが尠くない。此の傾向は長所を特徴たらしめるものでなくて却て長所を平凡ならしめるものである。將來産業を永續發展せしめるものでなくて、不振沈滞せしめる傾向である。高岡漆器が輪嶋物と類似した傾向を見せない處に長があり、能代春慶を眞似ない所に飛彈の産業が起るのである。琉球も奈良も皆其の特長とする處に將來の脈がある筈で、當業者は勿論のこと之れが指導の任に當るものも亦心得なければならぬと思ふ。特徴の發揮發展と其の土地産業の改良進歩發達の意義を混同することなきを切に望む次第である。

七、品目の着眼と之れに供ふ改良に就いて

普通其の土地の産業状態では製作上の品目、品種は大概一定してゐて盃を作る土地は何時も盃のみを作り、箸を作る土地は何時も箸以外のものには手を染めぬといふ様な習慣を踏み勝ちなものであるが、今回のものを見ると、或る土地の産業には従來の小規模な而かも小品のみ作つて居たものが其の同一の様式特長を具へたものを大家具で需要も亦大なるものへ巧に應用することに着眼して成功した青森津輕塗の如きは其の傾向の良いばかりでなく品目用途に應ずる製作上の改良を計つて、其の特長ある髹技を面白く用ふることなどは一つの傾向として注意すべきものなるのみならず、斯かる傾向を大ならしめることの徹底が即ち輸出産業の實を結ぶ素質可能性のあるものであつて、斯かる傾向の持久的奨励は心すべきものである。尙籃胎漆器の如きも其の長を遺憾なく發揮し乍ら品目の着眼と之に供ふ製作上の改良其の宜しきを得たものあるは賞すべき傾向の一つである。

八、材質に就いて

既に大略述べた如く材質の可否如何は其の堅牢度に於ても實用上の壽命に大なる關係があるから將來販路の内外如何を問はず、之が専心研究改良に没頭すべきであるが、今回各地の出品を見るに何等此の種材質を特に研究したものゝあるを見出さないのは甚だ遺憾とするところである。

九、意匠圖案に就いて

近來著しく泰西の様式を取り入れて其の長を採り短を補ふの精神が益々盛んであつて、用途も亦多方面に亘り而も輸出産業の如き餘り事情に通じない生活様式にも出来るだけ適合する様に工夫を要するものなどもあり、一々其等に應ずる如く形を造り、色彩を施し、模様を配置する等は實に容易ならぬものであるが、今回の出品を見るに輪嶋の如き形を工夫することは誠に賞すべきものと思ふ。尙漆個有の性質を利用して各種の色彩的配合を器物の上に盛ることに苦心の跡の顯著なるものあるは喜ぶべき現象である。其の他相當に見るべき意匠并に圖案の効果を收めたものもある。唯色彩の取合せを失し稍下品の傾きのあるものゝ尠くないが之は往々滔り易い弊であつて特に注意を要すべき點である。又輸出を目的のものに圖案様式に全くの西洋模様其のまゝを以てしたのもあるが、之は寧ろ却て東洋の傳統的様式の精華を以てする方が良い様に思はれる。尙既に述べた如く意匠圖案の改良進歩を計ることを一步誤ると各地の特色を失して独自の産業たらしめることを無にする様なことにもなるから充分理解ある計劃を爲すべきである。中には漆を以て陶器や金屬器が有する特殊な味を眞似ようとするが如き苦心もあるが、此等は眞の意匠圖案の意義に反するものである。漆は漆特有の味合を發揮させて行くのでなければ眞の改良發達とはなるまいと思ふ。

次に各府縣の出品に就いて概評すれば次の如くである。

東 京 府

蒔繪及髹法の中央權威たる東京府としては其の出品の數量並に質に於て他府縣に比し甚だ貧弱なのは誠に遺憾である。當業者は斯道の標範を示す意味に於ても實質の優秀な作品を出陳し或は産業の發展に貢献すべく何等かの實證を提出して然るべきかと思ふ。然るに今回の如き有様では殆ど格別な特色もなければ強いて工夫の跡を見るに足るものも一として無いのは意外とする所である。

京都府

出品者一名で特に評すべきものもない。唯箱形鏡臺は新考案であつて髹法も亦佳良である。

神奈川県

化粧道具に髹法蒔繪を應用したのは輸出品として着眼宜しく、將來斯くの如き研究工夫は有望で大切なことであると思ふ。意匠を支那風に試みた卓は歐洲に於ける東洋趣味旺盛な今日に適合した考へと思ふ。漆工藝上用途を斯くの如く進めることは産業化す上に必要なことであるが、唯器物の用途をもつと切實な需要者の生活様式に適合せしめる様になければならないと思ふ。

兵庫縣

出品點數一點で特に評することがない。

長崎縣

出品者僅に一名である。薄貝を線狀模様として之に彩漆、金、銀粉を配して研出したことが特色で、主として外人の嗜好に合する如く工夫したのは賞すべきである。唯圖様の簡潔瀟洒な気持ちに出來てゐないのと稍高價なる憾があるものと認める。

新潟縣

竹塗と磯草塗とは主として新潟縣の特産の一つであるが、今日では漸く衰退して世の注意を惹く程のものでなくなら

うとするの有様であるが何等か時代の要求を今少しく考慮することに着眼して、どしどし新意匠を加へて傳統の技術を生かすことに努めねばならぬと思はれる。柏崎の漆器は圖案と其の作風に於て聊か新興の氣を示すものが尠くない。又長岡高田の出品は少數であるが村上の木彫、堆朱等は改良を計らば今後輸出漆器として必ず外人の嗜好に適する餘地が充分存する有望なものと思ふ。尙素地破損が一次點であるから此の點を改良することが急務である。

群馬縣

高崎市の出品は批評する程のものではない。又、前橋市の赤城塗籃胎漆器は久留米に比して遜色がある。

茨城縣

水戸の春慶は著名であるが、概ね形狀が單純で髹法も亦進歩の跡を窺ひ難いのは遺憾に思ふ。之に反して高山と能代の春慶は其の塗の技術上の價値に相違を見出すのみならず、當業者自身が絶へず何等か工夫して止まざる所の差を表してゐる。

栃木縣

日光の錦堆朱は他の類似品の單色に比して色彩に變化のあることを特徴としてゐるから外人の嗜好に適するのである併し乍ら今回の出品は何れも小品で最近の傾向を見るに不便だが、唯將來改良の宜しきを得たならば勿論輸出漆器たるの價値は充分だらうと思ふ。

奈良縣

奈良の漆器は熟練な技巧を以て螺鈿を各種の裝飾に用ひ形状と模様は傳統的に古典を摸したものが多く、従つて特徴も此の點に存するものであらうが、今後の一步を進めて現代に適する如く多少の新匠を施して形状を工夫し、又用途を適切ならしめるならば奈良の地は外來の遊客の多い地であるから國內の販路は元より海外に對しても漸次輸出を増加することであらうと思う。就いては實質の堅牢は特に考慮すべきものと思ふ。

三 重 縣

山田の春慶漆器は實用品として相當なものであるが、從來と何等異なる所の進歩發達の跡を見ないのは物足りない。

愛 知 縣

一閑張の文庫數點に過ぎず。唯實用品としての用途を認められたものとしては高價に過ぎるの嫌がある。

靜 岡 縣

大部分は輸出漆器を目標の日用品で、一種の様式と色調を具へて一見之が判別し易い特徴を有してゐるものである。然れども此等は一般に外觀の美を事とし、動もすれば實質の堅牢度を無視した弊のあることは昔日の世評と同一でないまでも小異の感ありと云ふべきである。此の弊が今日の漆器の輸出界をして全く不況ならしめた根本問題である。今日其の輸出に對する汚名を挽回し、進んで將來の發展を期すべく望むなら、此の弊風を一掃すべく、當業者自身が猛省して根本的な改良を爲すに非ずんば無効である。故に静岡の輸出向漆器に對する批評は其の形状や模様其の他の意匠的美感の批評よりも先づ實用品である以上は其の耐久的堅牢の程度を大に改良工夫するのが第一義であると思ふ。既に今日

は當業者中にも覺醒したるものがありて對策を講じつゝある様に洩れ聞くが此の實行と効果の一日も速かならんことを希望する次第である。

滋 賀 縣

出品者一名、點數二點の少數で又評すべきものもない。

岐 阜 縣

概して飛彈春慶は名實共に誇るに足るべき優良な實質を有してゐる。其の清楚な形状と艶麗な塗裝とは誠に賞すべき價値がある。其の品格の茶道の雅致趣向に良く配合することが多く賞用する故もあるが、唯實用的堅牢度に至つては一段と工夫を要する所である。而して此の漆器は形状と素地の構造に適切な改良を加へるならば必ず將來の輸出漆器としての聲價を高めるものに相違ないと思はれる。岐阜市の出品は普通漆器に對して何等著しい差違特色あるを認められな

長 野 縣

出品者一名にして宗和膳や會席膳の出品があつたが特に評するものがない。

宮 城 縣

樺材のすり漆盆や飯器等を多數出品し、形状其他に從來の特色を表したが其の技巧並に意匠に何等研究された新味の跡がなく平凡なものである。唯價格の普通なものと、實用的堅牢度を有するの長がある。又堆朱漆器は塗色鮮明を欠き

尙素地其ものゝ改良を要するものがあるが、將來此の實質上の堅牢を期するならば輸出の望なきに非ずと信ぜられる。

福島縣

蒔繪品に優良なるものがある。之を一品製作に終らず、廣く一般に應用して品位ある日用品を作る方が良いと思ふ。平極蒔繪の進歩と花塗技術の優れたるとは既に定評あることで今後輸出向金地製品は素地の堅牢を主眼に置いて改良することが緊要である。福島如きは輸出に歴史を有して其の設備も相當で、生産力を有する地であるが故に、將來此の産業方面に努めらるゝことを切に望む次第である。

岩手縣

出品者一名であつて秀衡塗數點の出陳である。此種のものには秀衡塗の名品ある外に大内塗の名品を参考に將來研究工夫するならば面白い實用的器具又は裝飾を完成することであらうと思ふ。

青森縣

實質の堅牢を以て誇とする津輕塗を大家具に應用して技巧の優秀と色調の良しきを得たのは從來の津輕塗の用途方面に活路を拓かんとする傾向苦心の程度が伺はれて注目し價すると共に誠に結構な企てであると思ふ。

山形縣

山形市の出品は紫檀塗を特色とし技巧も佳良である。今後價格を低廉ならしめたならば需要を大ならしめる事が出來やう。鶴岡の竹塗は外人の嗜好に適するが安價に製作すべきである。輸出漆器として將來望みあるものと思ふ。酒田の

彫抜き盆は至極實用に適する。

秋田縣

川連漆器は澁地ものとして其の堅牢を誇り尙改良に努力しつゝあるが今日其の進歩の跡の尠いのを甚だ遺憾に思ふ。當業者諸氏の大奮發を切に希望する次第である。

石川縣

金澤と輪嶋の出品は實質堅牢で實用に耐ゆるの特色を有し、就中輪嶋は從來實質の長を以て誇とする所である。最近殊に形狀模様其他意匠に工夫して向上を計るものあるは誠に賀すべき點である。此の地産業組織と設備とは全國稀に見るの理想的な所であるから將來輪嶋の進路をして國外に向はしめること適當なるに於ては此の地程輸出産業の理想を實現し易い所は尠ないかと思ふ。之に反し金澤は一品製作的美術品の長があるが價が高く大量的産業方面に適しない。山中は挽物に於て流石長する所があるが惜むらくは漆器としての素地よりも寧ろ下地により多く堅牢の度を欠き遺憾乍ら實用に耐へるものとしては尙一段の改良向上を計るべきものあるを事實とするものである。但此の點の改良の宜しきを得たらんには輪嶋と等しく輸出の望あるものである。

富山縣

木彫盆は輸出漆器として有望であるが木材の收縮に依る反狂裂傷を生ずるを遺憾とし、此の欠點を經濟的に防止し改良を加ふるに於ては輸出の増加を見ること明かである。城端繪や高岡漆器は良く特産漆器として地方色を鮮明に發揮し

たもので、魚津の實用漆器と共に形状、意匠等に於て一層の精練を望むものである。

鳥取縣

大部分摺漆製の茶櫃や盆類の出品で價格低廉、日用家具に適してゐる。簡単な彫刻及彩漆の加工は共に佳である。

島根縣

模様其の他裝飾的色彩の工夫は流石八雲塗に恥じない特徴を有してゐる。貝の類を模様併用したことも變化を要求する意味に於て結構な企であるに相違ないが、唯其の取り合せが宜しきを得ないと折角の變化も却つて纏りを失する傾向となる。現に今回の出品中にも或ものは薄貝を使用した其の光澤の強さが色漆の模様と掛け離れた不調なものになつてゐるものがある。然し大體に於て從來の寫實的裝飾の外は模様化した裝飾法が八雲塗として行はれるのも結構なものと思ふ。唯出品の大部分は其の形状の極めて平凡なものが多く而も動もすると俗な感じを起すものあるは遺憾である。尙形と模様との均衡を要するものがある。將來は木地の堅牢と下地の親切な安價なものを作る様に改良されたら輸出の望は充分ある。

廣島縣

摺漆素地の盆及茶托の類で特に評すべきものはない。

和歌山縣

形状は先づ大體に於て從來の型を踏襲してゐるが、日常家具としての名聲ある産地としては形状の工夫に一段の力を

加へて形の立派なものを將來作り出されることを切に望む次第である。それから意匠圖案がもつと形に適合したものである様に希望する。尙慾を云へば裝飾全體に上品な變化を要求したい。場合に依つては螺鈿の適當な併用や色漆の色調等も宜しきを得るならば却て消痔繪の安物よりも一層感じのよい好果を收める筈だと思ふ。尙刀を利用した裝飾等も適宜加味するならば變化は種々生ずるであらう。

香川縣

存星は良く出来てゐる、彫刻盆も亦特産の一つであつて、素雅な趣を有するを長とするものであるが、形状は從來の型を脱したと思はれる様な優良品は見當らなかつた。中には模様其の他に新機を案出しようと思つた跡は充分窺はれるが、結果は尙一段の洗練を要することと思ふ。木地個有の味と彫目とを巧に利用して漆塗りをなすは賞すべき點である

福岡縣

總て籃體の漆器であるから自から髹法にも制限される所があるが、今回の出品は盆盤面に鍍塗を施し若くは朱塗りしたものである。形状に改良を加へたもの等あるは工夫と云ふべきであらう。此等は外人の嗜好に適ひ且つ極めて堅牢にして海外に於ても破損の憂なきもので、將來輸出品として有望なものと思ふべきである。更に進んで價格の低廉を計るならば前途に一段の光明を點するものと思ふ。

大分縣

籃胎の盆及ステッキを作り、之に上品な澁味のある漆の仕上方をして實用的な安價なものであるから需要は内外を問

はす嗜好に適したものと認める。籃胎の漆器も斯かる調子に工夫される傾向は大いに賞すべきものである。

熊本縣

竹製の曲素地は熊本市の特色で、素地髹漆法共に改良を切に望む。熊本研究所の出品が凡て黒蠟色塗となしたのは錫金具の應用に依るもの、様であるが單調の嫌がある。又地色及其の他の配色にも工夫を要すべきものがある。

宮崎縣

摺漆盆、茶櫃等、何れも花塗を施したものであるが一般に尙研究と熟練を要するものである。

沖繩縣

近年輸出を見るに至つたが實質の堅牢でない欠點があると稱される。特に下地塗の堅牢と素地の乾燥に注意して此の批難を取除くべく工夫改良の必要を認むる。

刑務所出品

沖繩、金澤、兩刑務所出品に佳良なものがあつて擬賞に價するものがある。今後此の種方面の作業をして計劃并に指導宜しきを得しむるに於ては一層成績の良好を見るに至らうと思はれる。何となれば作業工人の技巧的手腕が作品に表はれることを以て見ても明白である。

第八〇類 紙工品

主任 秋保安治
報告員 橋本重隆

第八〇類出品及授賞表

府・縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東京	五五	一、一九六	八	一八	二六	四七
京都	四	二五	〇	三	三	七五
大阪	三	一二	〇	二	二	六七
兵庫	三	一〇	一	一	二	六七
新潟	一	二	〇	〇	〇	六七
奈良	一	一	〇	〇	〇	〇
三重	一	一	〇	〇	一	一〇〇
愛知	三	一一	〇	一	一	三三
静岡	三	三三	一	〇	一	三三

第六部 一般製作工業

六五九

合	佐	香	島	富	石	福	青	福	長	岐	滋
	賀	川	根	山	川	井	森	島	野	卓	賀
一〇七	二	二	一	三	二	一	一	一	一	二	七
一、四三七	七	二七	五	五	一	一〇	二	二	四〇	一四	一〇
一二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇
二八	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	一〇
四〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	二〇
三七	〇	五〇	〇	〇	五〇	〇	〇	〇	〇	二八	〇

右表の如く本類には三府一七縣から出品があり、其の人員一〇七名、點數一、四三七點であつた。之に對し優良國産賞一二名、有功賞二八名を擬賞した。概して言へば特別に擢んでたと思はれるものは少く、製品の優秀なる上に輸出上の貢献をして居るものは數點に過ぎない。優良賞の大部分は輸入を防遏し或は防遏し得る見込のあることに依つて擬賞したもので、總じて在來の製品を改良しては居るが特に今回新機軸を出したと思はれるものが殆ど無かつたのは遺憾である。

日本紙器株式會社のシッピングコンテナ紙製荷造函小函等の紙器は地味な出品であり且つ陳列場所の關係から一般觀覽者の注目を惹かなかつた様に見受けたが本邦製の紙器としては経歴が古く販賣高、輸出額とも相當にあり、所謂「實驗の上に經驗を積んだ」製品であると言ひ得るものである。唯小函類の表面印刷には尙一層の努力を要するものがある。大函では生子ダンボール等に次で新意匠新製品の研究に付歩を進められんことを希望する。

聯合紙器株式會社のパッキングケース其の他も略右に準する堅固な良製品で價格も亦廉で推奨すべき國産品である尙一層の努力に依つて製品の向上を計られん事を望む。

帝國堅紙株式會社は株式會社日沙商會と共に「ファイバー」製品を多數出陳した。何れも良い出來榮えであるが、特に前者が技術上至難とする厚手物を完成し砲彈内容筒、軌條絶縁物等の製作に於ては殆ど本邦唯一の工場と云ふべきである。今後は高級の「ファイバー」以外にも廉價な木質物等を製作普及せしめられんことを希望する。

佐野熊次郎(静岡) 出品の紙ナブキンは全國に名を知られて居り、輸出額も相當にある。今回の出品は最も普通な品のみであつたが尙「テーブルクロス」代用品の如きものにも着手して貰ひたいと思ふ。

長谷川徳松(三重) 出品の彫刻型紙は文久年代からの創始に係り、所謂白子の型紙として知られたものである。絹絲編を應用した極めて精巧な模様を出し、刀勢も亦非凡て或種のものには其の儘額面に仕立て、「シルエツト」類以上の趣味があり、又實用上にも捺染に刺繡に其の應用が極めて廣く、外國へも多少の輸出がある。三重縣には斯業の爲めに乙種工業學校までも設けられて居るとの事であるが、尙一層の改良研究に進むべきである。

櫻井大二郎商店の出品に係る星印名刺用紙は本邦の名刺用紙界に權威あるもので、印刷適性及寸法の正確度から見て優秀であり、且つ和紙を使用したものや婦人用名刺紙等特色あるものを多數出品した。名刺以外の「カード」類もあつたが此の方面には尙研究の余地のある様に思はれた。

西羅光造出品の艶紙は既に定評あり、輸入品防遏上實際的效果を示して居る。

中村恒の「エレソボード」福田定治の「ライオンボード」は共に近來發達して來た建築用ボードの好例である。此等は尙一層耐火耐質等の性質を改善し、廉價なる材料を使用して普及せしめたいきものである。外觀及味合に於ても尙一段の工夫を要すると思はれるが獎勵の價値は充分ある出品であつた。

提灯、行燈等の各種が岐阜及東京から多數出品されたが、就中意匠良く風韻あり、紙質が精巧で明るい感じがあり、且つ電灯「カバー」等に新味を示して居る尾關治七、後藤常次郎の出品、又神前提灯輸出向酸漿提灯等に特色を示した川瀬善兵衛、會田瀧次郎等の製品は佳賞に値すべきものである。

東京印刷株式會社の精巧な印刷は明治初年から定評があり、歐文印刷品、有價證券、紙幣等は一頭地を抜いて居る。又永井利七の出品中宴會用献立は特色ある製品として推奨するに足る。

東山堂、若林茂八、東京圖案印刷株式會社、野々垣信太郎、佐藤家次郎等の「レターセット」文房具、帳簿、ノートブック等は殆ど外來品を凌駕するの進歩を認めたと、尙紙質を改良し本邦獨特の美術的意匠を凝らして、世界的水準線に引上げる爲めには今後一段の努力を要する。

津山勇、林慶次郎、中田秀朝の「シール」印刷は各々特徴を有し、近來頗る進歩の跡を示して居る。

瀬味建二の「セミダンボール」二木泰次郎の各種耐水紙製品は共に産額から云へば一層の奮發を要するが考案の佳良な點を採つた。

金屏風襖、額等の出品には貿易上に關係の薄いものが多かつたが内地向として其の製作を見るときは金箔も表張りも美事なものがあつた。且つ價格も皆比較的廉い様に思ふ。砂子の置き方等に異彩を示したのもあつたが、無地でないものは殆ど申合せた様に扇面模様に限られたかの感があつたのは如何なる理由であらうか。一體傳統的な國産品であるから奇抜な方法は無いとしても、絶えず改良を圖らねばならぬ。例へばメートル法の規格に合ふ家具、建具の中にあつて、古來の本間六曲屏風の寸法が不變の儘で果して釣合が取れるか何うかは大に研究を要する。又襖模様の如きも工藝的に漸次新時代に適合せしめねばなるまいと思ふ。

扇子團扇類では大久保商會(丸龜)及佐藤徳治(東京)出品の二つが優れて居つた。前者は團扇材料の供給者として全国的に知られたもので、多様の大衆的出品があり、後者は特設館に多種の扇子類を陳列して異彩を放つて居た。

森半藏(東京)の「ビスカー」紙布及其の應用製品は材料と其の應用の新規な點を採つたが用途に依つては耐久と堅牢とに就いて尙研究の余地がある様に思ふ。

中澤潔(兵庫)の地理模型、歴史標本は製作考案とも佳良と認めた。今後一層改良に努力されん事を望む。

第八一類 文房具及机上用品

主任 伊藤慶二
 報告員 大宮秀次

本類の出品は之を洋式文房具と和式文房具とに二大別して見ることが出来る。

洋式文房具とは鉛筆、萬年筆、繰出鉛筆、「ペン」先、「ペン」軸等であつて、何れも外國品の輸入を防遏し或は進んで輸出することを目標として創始せられたものである。従つて其の製造の方法も製品の様式、體裁等も外國品に學びたることが多く、漸次改善されて今では國際的に重要な商品となつたものである。

又和式文房具と稱するのは毛筆、墨、硯等の我が固有の文具であつて、元來支那が本場ではあるが我創始發達にあつても古い歴史を持ち、殆ど独自の製品と云ふも過言ではないのである。勿論内地的には重要な我國産であり、支那よりの輸入を防遏した功績もあるが、海外への輸出品としては過去及將來とも期待することは出来ない。之は歐米各國の習慣及本品の性質上止むを得ぬことである。

一般に文房具と謂へば多種多様であるが、今回の出品は其の品種が少く、比較的需要の多い重要な文房具のみであつて、机上用品と稱すべきものでは一、二點の出品があつたに過ぎなかつた。

歐米各國では裝飾と實用とを兼備した机上用品としての目的を充分發揮した工藝品が少くないのであつて、例へば「インクスタンド」「ペン」皿、紙切り、机上「カレンダー」の如き優秀なものが少くないのであるが、此の種の製品は我國では幼稚であつて優良なものが少い。今回も机上用品としての出品のなかつた事は將來輸出品として有望な品種であることの爲めにも惜いことと思ふ。

今回の出品人員は總計七八名であり、其の點數は一、七三三點で、之を和洋兩文房具に大別して見れば、洋式文具は三四名の一、一二〇點となり、和式文具は四六人の六一三點となる。其の内譯を左に表示せん。

洋式			和式		
品目	人員	點數	品目	人員	點數
鉛筆	八	二六五	毛筆	五	一一五
萬年筆	一一	三七八	墨	一〇	二四四
繰出鉛筆	七	三二六	硯	一〇	六二
ペン先、ペン軸	六	一一七	硯箱、文庫類	七	四八
其他	三	三四	其他	一四	一四四
計	三四	一、一二〇	計	四六	六一三

右の内二名は二種以上の出品に亘り、重複するものである。

其の他とあるのは洋式文房具では製圖器、チヨークであり、和式文房具では糊、墨汁、筆入等である。何れも出品人員は一、二名宛に過ぎない。

次に府縣別出品人員、點數及授賞一覽表を示さん。

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東京	三三	九六九	一一	三	一四	四二
大阪	二	一七〇	二	〇	二	一〇〇
神奈川	四	一九	〇	〇	〇	〇
兵庫	五	六一	〇	〇	〇	〇
長崎	一	一〇	〇	〇	〇	〇
奈良	一	二七四	〇	三	三	二七
愛知	一	二八	〇	一	一	一〇〇
静岡	一	二	〇	〇	〇	〇
山梨	三	二四	〇	一	一	三三
山形	三	三八	〇	〇	〇	〇
島根	二	五	〇	〇	〇	〇
岡山	一	一	〇	〇	〇	〇
廣島	三	五一	二	〇	二	六六

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
山口	四	二一	〇	一	一	二五
福岡	一	二七	〇	〇	〇	一〇〇
福岡	一	一〇	〇	〇	〇	〇
宮崎	一	三	〇	〇	〇	〇
滋賀	一	二〇	〇	〇	〇	〇
合計	七八	一、七三三	一五	一〇	二五	〇

即ち出品人員は東京府の三三名が筆頭であつて、奈良縣の一名之に次ぎ、兵庫縣五名、神奈川縣及山口縣各四名、廣島縣、山梨縣及山形縣各三名、大阪府二名の順位となり、其の他は各縣一名宛の出品であり、二府一六縣に及ぶ。

之を更に府縣別に出品の状況を見れば、洋式文房具に屬するものは大部分東京府及大阪府の出品であつて、他の縣としては廣島縣の三名、福岡縣の一名、神奈川縣の一名に過ぎない。之に反して和式文房具の方は殆ど各縣の出品であつて、東京府としては僅かに墨汁の出品が二名と、糊の出品が二名、其の他五名の出品に過ぎず、他は何れも洋式文房具であることは比較して面白い現象だと思はれる。

由來文房具の國內生産高は東京府が全國の七割を占め、大阪府が二割、残りの一割は他の府縣の生産と云ふ順位にあるのである。

東京府及大阪府は洋式文房具の主要生産地であつて、和式文房具は各府縣に分たれて夫れ々特色のある製品が産せ

られる。例へば奈良縣の墨、山口縣及山梨縣の硯と云ふが如きであつて、他の追従を許されない、地方的な特色を有するものが多いのである。

次に主な出品の概評を示すこととする。

鉛筆の出品は東京府が六名、大阪府及福岡縣各一名であつたが、概して進歩の跡が見える。東京府は其の創始も古く優秀であるが、其の製造創始の古い割合には進歩が著しくない様に感じたのは物足りない。大戦は斯業の發達に對して好影響を與えたものであつて、製産高の増加、販路の擴張等各方面に急速な發展を促したのは事實であるが、一方には粗製濫造と云ふ悪名をも受け、一時は日本の鉛筆は海外でも信用がなかつたこともあるが、幸い當業者の振起挽回に依つて大いに堅實の地歩を占め、益々盛大に向ひつゝあるは喜ばしい。

現今輸入は全く防遏されたのみでなく、支那、南洋及印度方面の東洋市場には輸出を見るに至つたことは誠に喜ぶべきである。

過去に於て最も輸入の最高潮であつたのは明治四十四年であつて、七十七萬七千余圓と云ふ巨額な數字を示して居るが、之を全く防遏して反つて輸出する様になつた事を見れば隔世の感がある。

最近三ヶ年の鉛筆輸出額は次の通りである。

大正十四年	三四七、四〇五圓	五八五、六五三圓
昭和元年	二七二、八三一	四五三、一八六

昭和二年

三一七、三一一

四九九、七三二

鉛筆の最も大切な部分は云ふまでもなく芯であるが、硬度が一定して居ない。製造者に依つて異つて居るのはまだ良いとして、同一製造者でも仲々差異のあるがある。製品の統一と硬度の研究は自他共に必要なことである。

外觀の體裁、塗色等裝飾の方面は特に進歩が著しく認められる。之も必要なことは勿論ではあるが、實用品であり消耗品であるから其れほど裝飾に重きを置く必要はない。

繰出鉛筆は技術が著しく進歩して居る。全く外國品に遜色はない。輸入防遏は勿論支那や南洋へは輸出され、將來は重要な輸出品となる傾向のあるは喜ばしい。二色繰出鉛筆には器構に種々異なつたものがあるが、何れも一長一短があつて、特に優劣の差異が少い。「クローム」を鍍金したものは最近の流行であり、實用向として可良と思はれる。出品は東京府が五名、大阪府が二名である。

万年筆は携帶用の文具として時代の流行兒であり、各階級各方面を通じて最も需要の多いものである。従つて其の研究改善にも見るべきものがあり、種類も少くない。今回出品は東京府が八名、大阪府が一名、神奈川縣が一名、廣島縣が一名で、總計十一名の出品であつた。金「ペン」先の不統一なこと、弾力性の乏しいものがあつたことは、此の種製品の缺點である。又内部構造の不完全な爲め、インキの滲出するのも缺陷であるが、漸次改善されること、信ずる、万年筆は製造に機械力の利用が盛んであつて、多量製産の出来ることは慶賀すべきことである。現在外國品の輸入を防遏して居るが、更に漸次輸出品として將來有望な位置を占める様、本品の爲め努力を祈る次第である。

萬年筆で世界的に名聲のある米國の「ウォーターマン」、英國の「スワン」等に比較しても大なる遜色のない優秀なものもあるが、唯「ペン」先の不統一なことに於ては一步を譲らねばならぬ現状である。

體裁、裝飾に就いては仲々優秀なものもあり、色彩も良く進歩を認めることが出来る。

金「ペン」は廣島縣より二名の出品があつたのみであるが、本縣は金「ペン」の産地として名があり、多量に生産され、全國に販路を有して居る。縣下重要工産品の一である。

鋼鐵「ペン」先は實用に適し、輸入品と比較して大なる遜色はないのであるけれども、製産費の關係上未だ輸入を防遏するまでに至らないのは遺憾である。

米澤研究所の出品に係る「オーペン」は金を節約して鋼鐵「ペン」の使用數百回に代えることを眼目として發明されたもので、其の趣旨及考案の要點に對しては良好だが弾力の缺乏及裝飾體裁に於ては尙一層改善の要がある。

毛筆の出品は福岡縣、奈良縣、愛知縣各一名、山形縣二名で總計五名に過ぎず、全國的に生産される本品としては出品が少いと思ふ。本品は和式文房具中の大宗であり、消費も少くないのであるから、益々價格の低廉を計ることが必要である。

近來選毛宜しく、製造上にも機械の利用を行ひ經濟的に製産する様に工夫されたものもあるが、概して舊來の手工的工作に依るものが多い。そして外觀の美に傾くより實用的方面に對する研究が伴はない感がある。従つて高價に失し消耗品としての使命に合致しないものも少くない。

墨も亦外觀の美に走り過ぎ、甚だしいのは最も實用に不便な形状を用ひたものもあつた。外觀の美よりは使用の際心地良く感ずる様適當な香料の選擇に將來研究工夫をすることが寧ろ得策ではなからうか。

墨は奈良縣の特産品であり、現に二四戸の製造戸數があつて、販路も全國に亘り品質も優良である。前記の各品と同様消耗品であるから出来るだけ價格の低廉なことを目標として、不必要な裝飾に對しては相當の程度に止める様にしなければ將來不得策であると信ずる。

硯は山口縣の赤間の硯、山梨縣の硯、島根縣の瑪瑙及黒曜石の硯及宮崎縣の紅溪石の硯等があり、出品人員は一〇名である。各地特有の石材を使用し形状、彫刻等苦心の作品も少くなかつたが價格の高價に失するの憾みがある。

硯は他の和式文房具中の毛筆や墨とは異つて永久に愛用され、机上の裝飾品としても一使命を持つて居るものであるから、相當の加飾が大切である。

缺點として數ふべきは彫刻の技巧は良いけれど選ばれた材題資料或は構想に新味が乏しいのと形状にも斬新なものが少かつた事である。

殊に徒に背面や其の他不用な部分にまでも彫刻や裝飾のあるのは、單に價格を高からしめるだけで實用上からも美術上からも徒勞と謂はねばならないのである。

此の他兵庫縣の姫路革製の文庫、箱根細工の筆入、竹製の書類籠等があるが、特に新しい考案工夫もなく進歩の跡が著しくない。

唯製圖器械に一點優秀なものが有り、糊及墨汁に良好なものを選び得たに過ぎない。
 文房具の將來は其の品種に依つて自づから異なるが洋式文房具としては製産組織の改善に依つて品質の統一を計り、
 多量に製産して價格の低廉を期する様努めたならば、輸出の増進が出來て將來益々有望な國産となることゝ信ずる。又
 和式文房具としては益々實用に重きを置き、不用な加飾を去つて價格の低廉を計り、販路の擴張を謀る様にせねば逐年
 鉛筆、萬年筆の如き洋式文房具に壓倒される傾きがある

第八二類 繪畫用具

主任 中田 俊造
 報告員 安田 祿造

一、出品概況

本類に屬する出品は水彩繪具、油繪具、圖案用繪具、テンペラ、パステルクレオン、クレオン及水筒パレット其の他
 クレープ、繪具用金粉、金箔等で出品人員七名、出品點數は一四二點である。
 内擬賞數優良賞二名、有功賞一名でその割合は出品人員の百分の四二に當る。
 此の細目左の如し。

出品概表

品目	出品者	出品點數	出品と出品關係
水彩繪具	三	五三	長戸重太郎
水筒	一	七	立野安太郎
「パレット」	二	六	桑田源三郎
「クレオン」	二	二一	關東クレオン株式會社
「テンペラ」	一	一	
「パステルクレオン」	一	一	
圖案繪具	一	一	瀬本作次郎
油繪具	二	四三	
「テンプレート」	一	一〇	南川章次
金箔	一	一	淺野金太郎
金泥	一	一	

第八二類府縣別出品授賞表

第六部 一般製作工業

府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東 京	六	一〇二	二	一	三	五〇、〇〇
兵 庫	一	四〇	〇	〇	〇	〇
合 計	七	一四二	二	一	三	四二、八六

本類の製品は何れも相當の進歩を示した。
今其の主なものに就いて記せば左の如くである。

一、繪 具

繪具に就いては各出品共其の製造に工夫を凝し、色の正確な點及耐久力等に於て相當の進歩を示してゐる。各出品夫れ々特色がある。

長戸重太郎の出品は色彩鮮明な點に於て、立野安太郎の出品は色に落付きがあり、一種の趣を示した點に於て、各々出色を見る。その他標準色に照し、使用上の點より出品を比較するに濃淡其の他に於て不揃のものがあり、赤及綠に於て特に著しい。尙赤の中には色の取扱上むらを生ずるものゝあるを認める。此等は材料の選擇其の他に於て特に注意を要する。

一、「クレオン」

クレオンに就いては關東クレオン株式會社及立野安太郎の出品のみなるが、之が使用上に關係の深い軟化度に就いて檢するに關東クレオン株式會社出品のものは四十九度乃至五十二度を示し、立野安太郎出品の「クレオン」は六十七度を示した。

融解度に於ては關東クレオン株式會社の出品は五十七度乃至七十三度を示し、立野安太郎の出品は八十九度を示した。

此等は氣節の關係等に依つて相等工夫した點を認めるが軟化度の余りに低いものは、此の余りに高いものと共に使用上不便である。

以上の内關東クレオン株式會社の出品中適當なものゝ相當に多いのを認める。

尙色彩に於ては殆ど一樣で關東「クレオン」株式會社出品の「バステルクレオン」の色彩の秀でたるものゝある外特に記すべきものが無い。

一、水筒及「パレット」

「水筒及「パレット」の出品は何れも製法及塗料等に注意し、耐久力に於て著しい進歩を示した。殊に水筒中長戸重太郎の出品に係るものは「パレット」兼用とし實用的に工夫し、相當に其の効果を認むべきものがある。

「パレット」に就いても珪瑯質に注意して、帶青色と卵黄色のものとなるが、破壊試験に於ては長戸、立野の順序に於て其の堅牢度を示した。

一、其の他

其の他金粉等に就いては特別の改良あるを認めない。概して色及粒子は佳であるが中には粒子の粗大な爲め使用上光澤の鮮明でないものがある。其の他圖書手工用クレープは最近の工夫に成つたものであるが、色彩其の他に付いて特に記すべきものがない。

一、出品總評

本類の製品は近來其の進歩の概して見るべきものがある。爲めに輸入防遏上に貢献する所があるのみでなく、近時東洋諸國及南洋方面への輸出を見るに到つたのは誠に喜ぶべき現象である。殊に繪具製作に關する設備及器械の改良用具に於る瑣瑣質の工夫、包装意匠の進歩等は殊に其の著しい點とする。

然れども其の多くは製作の組織尙未だ舊套を脱せずして、器械に工作に更に時勢に應ずる様學理に基いて最新の手法を加ふるの要がある。

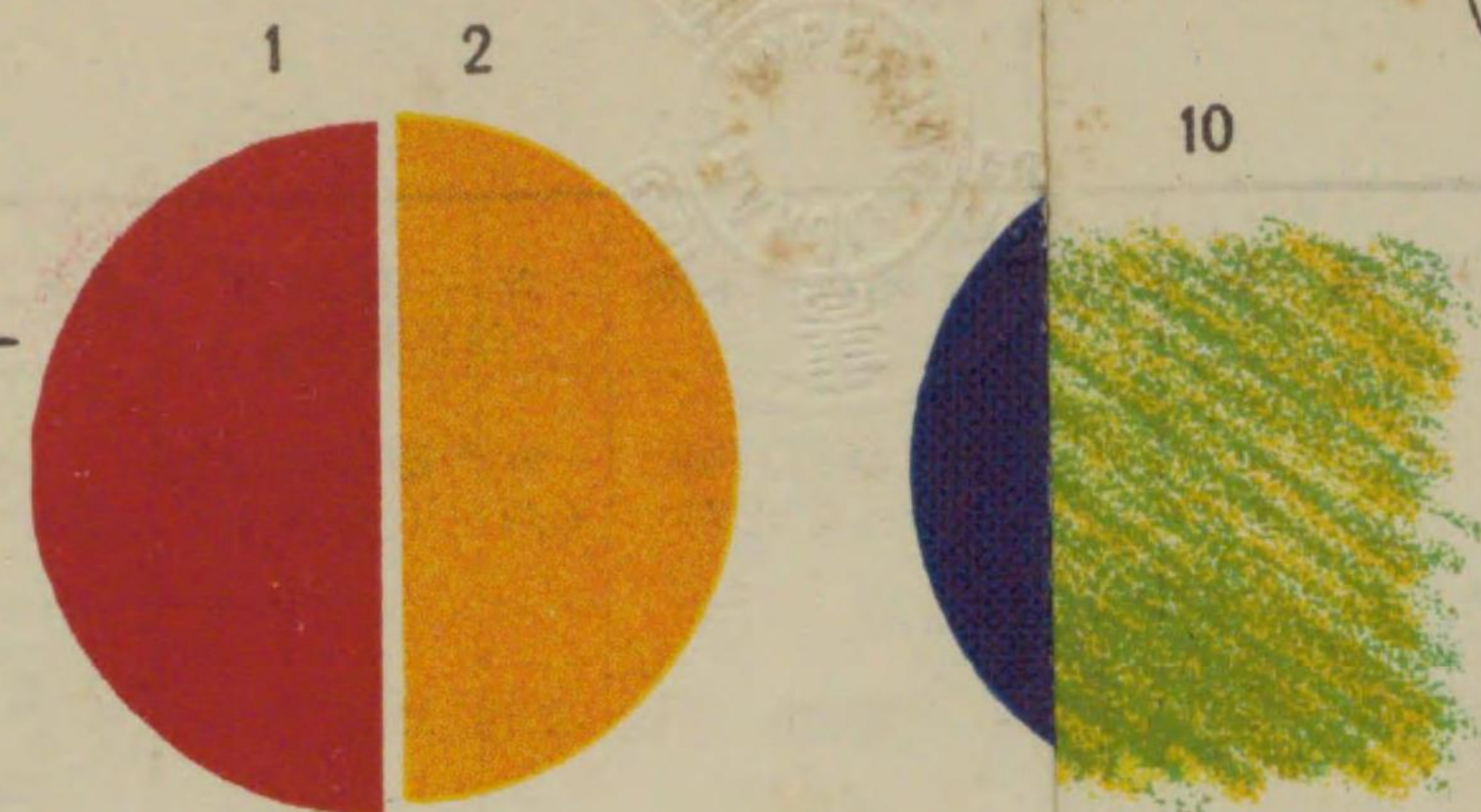
繪具に就いてはその使用上の點に就いて將來特に製品に適宜試験等の方法を講じて、製品の色調を一様にし、標準色に照して一層正確ならしめるの要を認める。

尙包装の意匠等に於ても輸出國の嗜好を斟酌して、漸次改善を加へ、輸出の目的に副ふ様更に努力の要あるを認める。

立野安太郎	長戸重太郎 (三)	出品人名		
西巢鴨町仲三三四番 (大塚一七五番)	下谷區西三町 (下谷五〇〇番) (下谷五〇〇番)	所在地		
水彩繪具 ペンラバ 用案圖ツレ 具油繪	繪具 ツレ 筒 水	種類		
四九	六九	數		
注意に力久耐箱のンオレク しよ匠意し しよ當相も箱具繪油	しよ當相	箱の形状	包	
せ意注り餘に匠意ルテツレ ゆ見子様るざ す功成はンオレク	匠意箱具繪製屬金 す功成し心苦當相	ルテツレ 匠意	裝	
は備設に並械機用造製具繪(1) とのもるたげ遂を良改るな分充 足不はに上造製もるざれは思は 詰に器容ずら非にのもるぐ告を りな劣拙だ甚は備設む込め 五・七×時五十さ大)ルーロ材石 さ大)ルーロ鋼ドルチ 臺二(時 臺二(時六×時二十 設に並械機用造製ンオレク(2) は力能てしにのものを般的は備 び及臺一機本百四臺三機本百三 りな臺一機本千二	は備設に並械機用造製具繪 力動りせ備整てじ通を體全 つ且し施を夫工良改も備設 判品製くよも光彩の内場工 トツラフ。し多便利等上定 良改の上造製し設新をルミ て企とんら計を上向の品製 さ大)ルーロ材石。りあゝつ ルチ。臺四(時九×時八十 ×時五十さ大)ルーロ鋼ド ツラフ材石。臺二(時五・七 臺一(時十二經さ大)ルミト	工場状態		
明治二十八年	大正四年一月	始創業事		
るす要を料額殊特るな級高 。英。佛。獨は具繪	分八品地内分二品國外	るたひ用を品國外 其はきとるあ分部 容内の		
拾萬打	繪具 水筒 ツレバ 打萬八 打千六 打萬一	量數產生間年箇一		
三〇萬圓	繪具 水筒 ツレバ 圓萬八四 圓千五萬四 圓千七萬六	額價產生間年箇一		
大正博褒賞 第二工博銅賞	和平博銅賞 第二博銀牌 福岡勸博鑑査狀	考備		

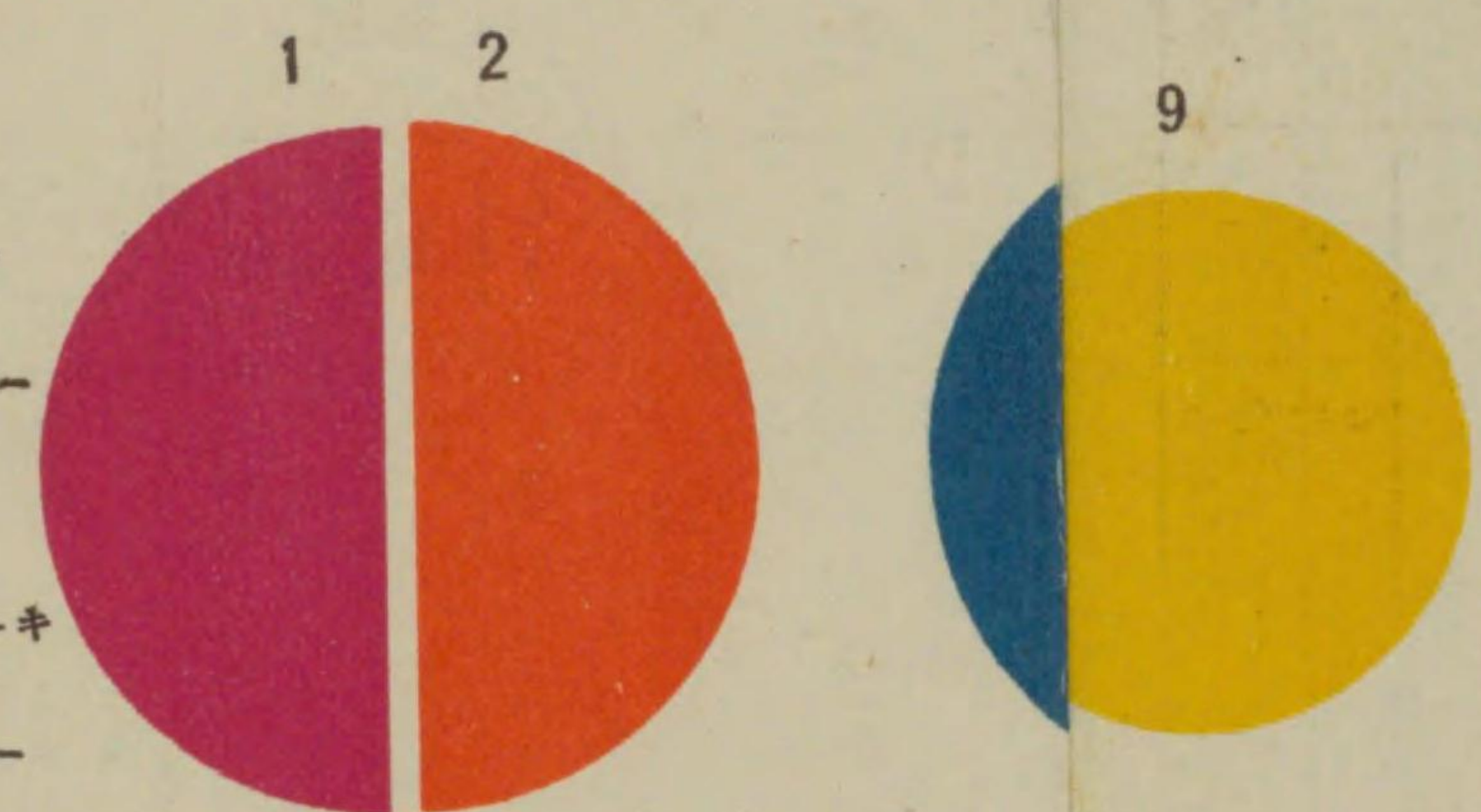
〔立野商店〕

- (1) クリムソンレーキ
- (2) パーミリオン
- (3) プロシヤンプリュー
- (4) レモンエロー
- (5) コバルトブルー
- (6) ビリヂヤン
- (7)-(10) クレオン



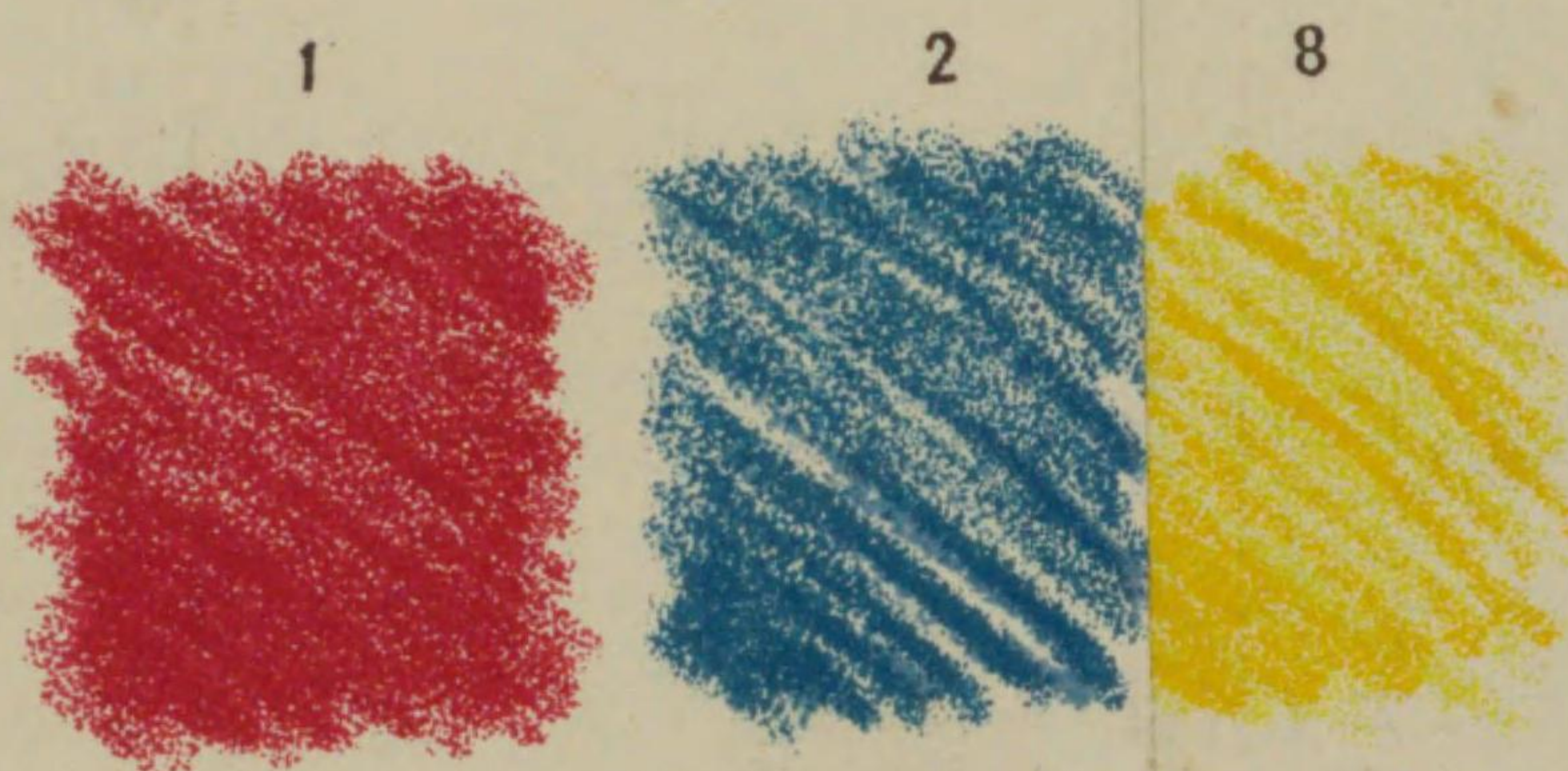
〔長戸商店〕

- (1) クリムソンレーキ
- (2) パーミリオン
- (3) プロシヤンプリュー
- (4) レモンエロー
- (5) コバルトブルー
- (6) ビリヂヤン
- (7) クリムソンレーキ
- (8) パーミリオン
- (9) クロームエロー



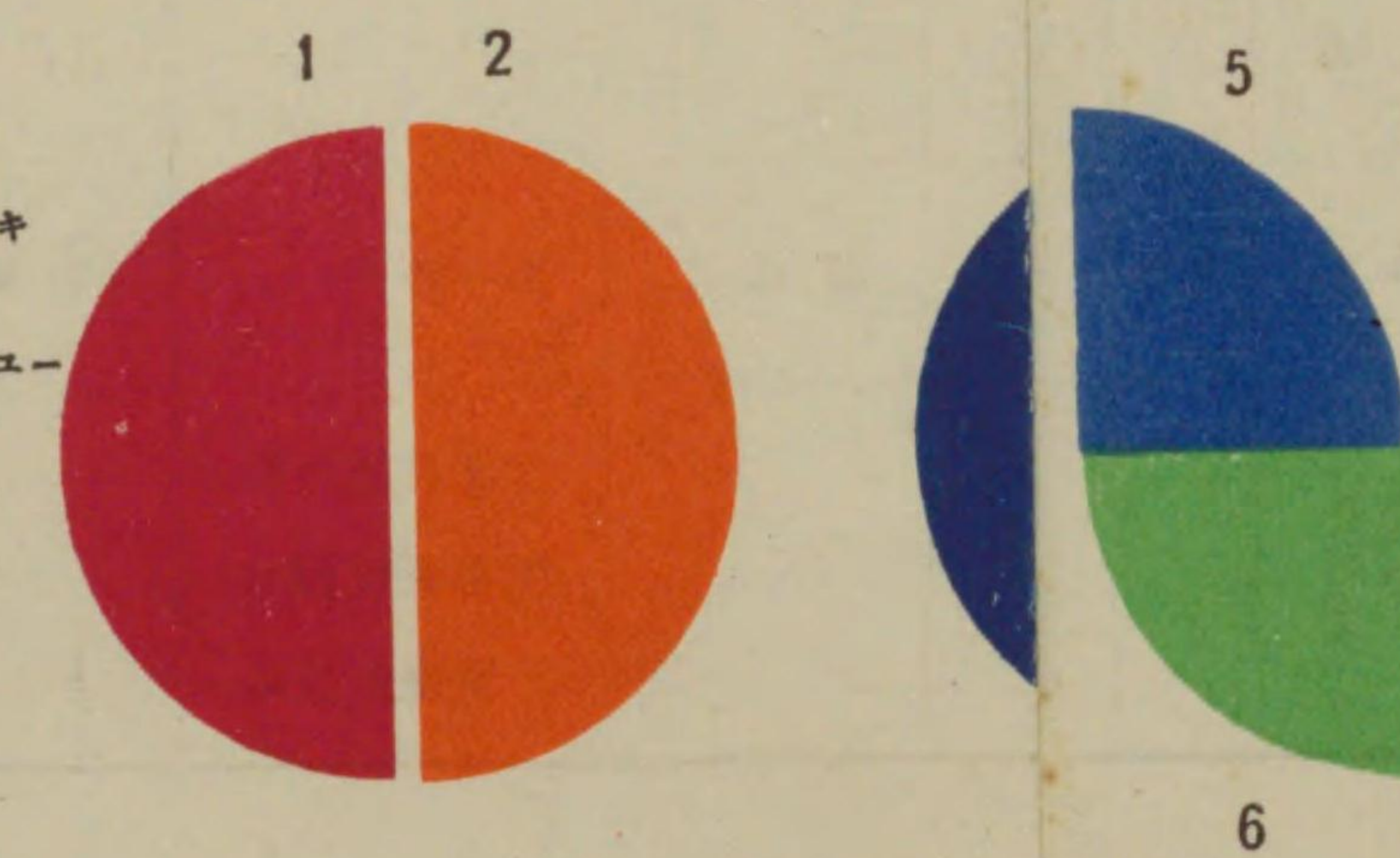
〔関東クレオン株式会社〕

- (1)-(4) クレオン
- (5)-(8) パステルクレオン



〔幸田商店〕

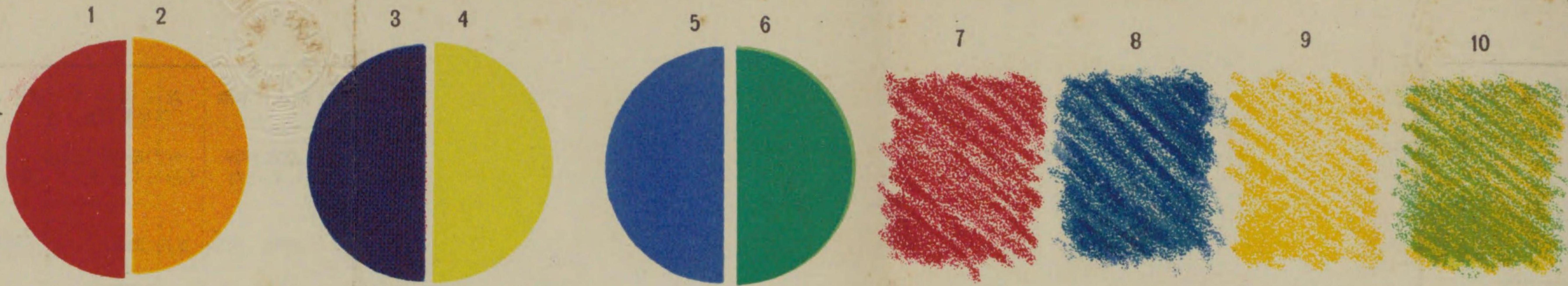
- (1) クリムソンレーキ
- (2) パーミリオン
- (3) プロシヤンプリュー
- (4) クロームエロー
- (5) ウルトラマリン
- (6) サツブグリーン



次 章 川 南	郎 太 金 野 淺	郎 次 作 本 瀬	郎 三 源 田 幸 (印 星 鷲 印 象)	社 會 ノ オ レ ク 東 關
		京 市 戸 神 〇 七 町	一 町 門 衛 右 久 田 神 (四 三 七 五 花 浪)	一 四 二 袋 池 (番 七 三 八 一 塚 大)
ア ー テ 色 〇 一	箔 泥 金 八	具 繪 油 〇 四	具 繪 筒 水 一 二	6 第 及 4 8 月 〇 二 4 馬 競 6 巴 月
五 六	五 六	五 七	五 七	(賞) 〇 九
			し な 夫 工 通 普	も き 弱 力 久 耐 り あ の
			通 普	匠 意 ル テ ツ レ り あ 要 の 良 改 品 下 稍
				の 造 製 ノ オ レ ク る せ と 業 専 を み 従 り せ と 例 異 を な 大 は 模 規 て つ 工 良 改 も る ざ ら り せ 凝 を 夫 機 本 百 三 は 力 能 本 千 一 び 及 臺 三 り な 臺 三 機
月 六 年 五 十 正 大		末 年 五 十 正 大		
		植 及 料 顔 樹 並 油 物 部 一 の 脂		
打 萬 五				
餘 圓 萬 十		圓 萬 二	圓 萬 十 二	圓 萬 二 月
三 十 省 工 商 を 狀 褒 展 回 く 受			念 記 展 發 後 戦 岡 都 京 會 覽 展 賞 授 園 公 崎	

〔立野商店〕

- (1) クリムソンレーキ
- (2) パーミリオン
- (3) プロシャンプリュー
- (4) レモンエロー
- (5) コバルトブルー
- (6) ビリヂャン
- (7)―(10) クレオン



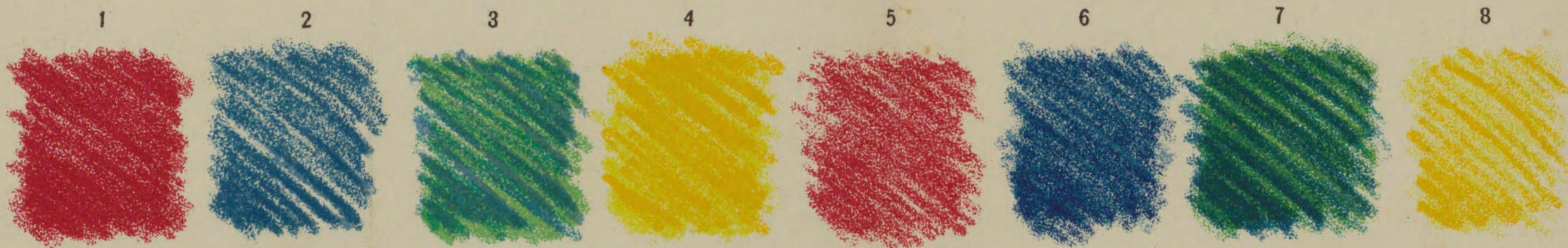
〔長戸商店〕

- (1) クリムソンレーキ
- (2) パーミリオン
- (3) プロシャンプリュー
- (4) レモンエロー
- (5) コバルトブルー
- (6) ビリヂャン
- (7) クリムソンレーキ
- (8) パーミリオン
- (9) グロームエロー



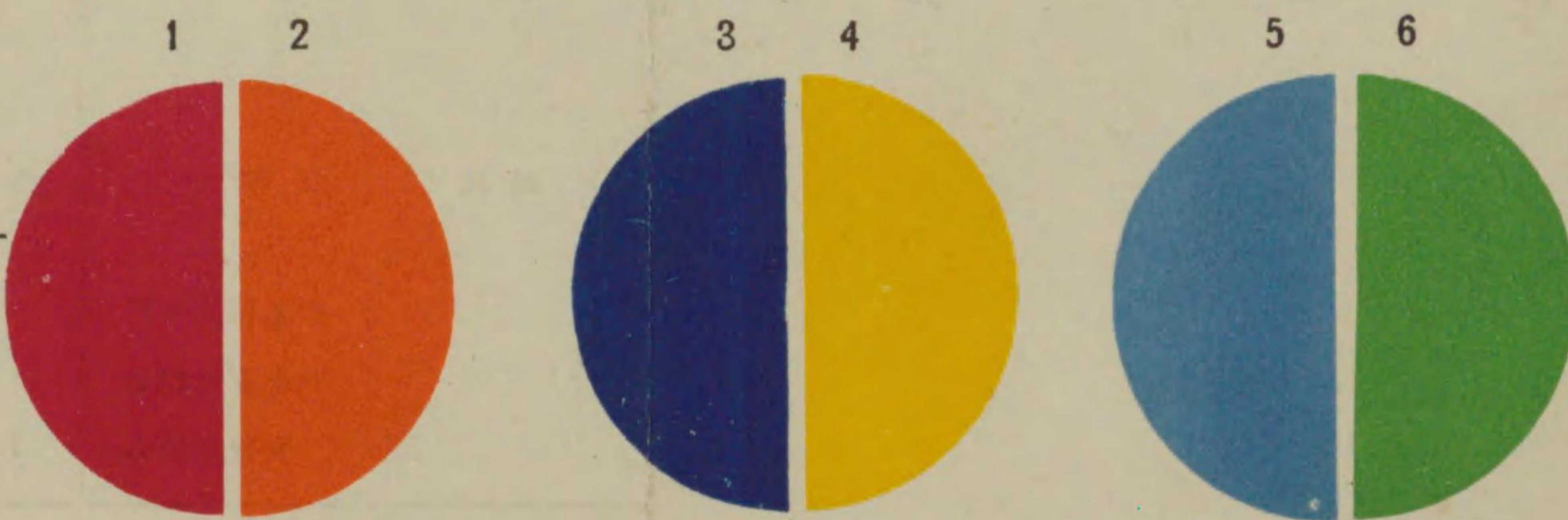
〔関東クレオン株式会社〕

- (1)―(4) クレオン
- (5)―(8) パステルクレオン



〔幸田商店〕

- (1) クリムソンレーキ
- (2) パーミリオン
- (3) プロシャンプリュー
- (4) グロームエロー
- (5) ウルトラマリン
- (6) サツブグリーン



〔長野東洋堂〕
(審査辞退)

- (1) カーメイン
- (2) パーミリオン
- (3) プルシャンプリュー
- (4) レモンエロー
- (5) コバルトブルー
- (6) ビリヂャン



次章川南	郎太金野淺	郎
グーテ色 ○一	箔泥	金八具
五六	五	六
月六年五十正大		末年
打萬五		
餘圓萬十		
三十省工商		
を狀褒展回		
く受		

クレオソの軟化試験 (温度は攝氏)

及第バスナル クレオソ	肥 クレオソ	極大クレオソ	極長クレオソ	立野 クレオソ	赤崎 クレオソ	軟 化 度
49°	50°	50°	52°	67°	58°	軟 化 度
73°	63°	63°	57°	89°	70°	軟 化 度

第八三類 婦人頭飾品

主任 神 矢 教 親
 報告員 海 野 清

第八三類出品及授賞表

府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東 京 都	三八	三八七	二	一九	二二	五五
東 京 都	三	一〇	〇	二	二	六七

第六部 一般製作工業

大	兵	長	山	福	島	高	合
阪	庫	崎	梨	井	根	知	計
五	二	一三	一	二	四	六	七四
七	四	一八三	四	六	一〇	一一	七二二
〇	〇	二	〇	〇	〇	〇	四
二	〇	五	〇	〇	〇	四	三二
二	〇	七	〇	〇	〇	四	三六
四〇	〇	五四	〇	〇	〇	六六	四九

婦人頭飾品は極めて狭い範囲のものであるが、之に應用される材料は多種であり、工藝的變化に富み、婦人の趣味も之に依つて窺い得る。然れ共國內的頭飾品を主とする現状にあつては海外への輸出は元より困難な事情に置かれ、材料又は加工された珊瑚、龍甲の一部と「セルロイド」製品が歐外並に支那、新領土方面に僅に販路を見るに止まるのは、一段の考慮を要する。今次博覽會の出品は従前に比して意匠、技巧の進歩を認め得、且つ機械力の應用は其の要を得て斯道の向上を助けたけれども、時に斬新なものを作らうとして奇異に陥り、又は非實用なものゝなきにあらざる。又頭飾品は東京を流行の中心に置き需要の方面も廣く、更に二府、新潟等に特種な好みのあるに止まり、特に地方色と稱す可きものがない。京都の黃楊櫛、長崎龍甲、五島の珊瑚、甲斐の水晶、雲州の瑪瑙の加工品を特種のものとする。次に頭飾品を材料より分類すれば珊瑚、象牙、龍甲、木竹、漆、金屬、摘物、セルロイド、瑪瑙等を主とし、種類よ

りすれば櫛笄、ピン類、根掛、簪等が主なもので、此が用途は日本風の髻と洋風髪に依つて區別すべきも、其の何れを問はず、要は技巧、材料、圖案、實用の可否、要求者の年齢を考慮して、此等を如何にして生すべきかにある。

珊瑚並に今次の出品中彫刻をされたものは草花類が最も秀れ、鳥獸、魚貝等を取り扱つたものは圖案並に肉合に研究を要するものがある。徒に繊細に流れず、材料の價値を失はずして、簡明な効果を上ぐ可きで、此の方面の研究も亦必要である。象牙類の頭飾品は極めて小數の出品を見たのみだが着色の自由と牙彫の妙技を基に圖案の改良を爲し得れば新生面の開拓の余地があらう。龍甲も亦一層圖案の選定に注意して「バラフ」其のものに重きを置かず、白と黒との接合を効果的ならしめ、更に他の玉石を用ひ、本來の特質を失はない様に心すべきである。

漆工の櫛、笄等は概して技工優秀で品位があるが、紋様緻細に變化の少ないのを遺憾とする。固より要求者の趣味年齢にも因るであらうが、一考を要する。洋風の頭飾品として圖案、配色の宜しきを得るやうに爲し、新出方面の開拓を望む。摘細工の花簪、花櫛は在來のものも最も親しみを感ずる。生中の改良は寧ろ逆行であつて、唯薄金の應用と挿して動く美しさの工夫の余地はなからうか。

次に「セルロイド」、「アルミ」の頭飾品は極めて一般的の需要があり、出品人の好みに因つて各特色を見るけれども色合と色硝子の配色に注意を拂はんことを望む。終りに地方出品の陳列の如何にも雜然、無頓着なのは出品人並に縣當局の注意を望む次第である。

第八四類、第八五類 裝身具、衣服附屬裝身具

主任 安田 祿造
 報告員 奥田 誠一

一、出品の概況

本類の出品人員は一二七名、出品點數三、四五七點の中優良國産賞に當るもの七名、有功賞三五名である、出品人員は東京府の七六名を第一とし、長崎縣の一七名之に次ぎ、出品點數は東京府の一、八五七點を最とし、長崎縣の八〇八點が之に次ぐ。入賞者も亦東京府の二三名を最高とし、長崎縣の一〇名が之に次ぐ。出品人員に對する入賞率は大阪府、神奈川縣を最とし、長崎縣、高知縣が之に次ぐ。而して總出品人員に對する割合は三割三分に當つて居る。

第八四、八五類出品及授賞表

府縣名	出品人員	出品點數	優良國産賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東京府	七六	一、八五七	二	二一〇	二二二	三〇
大阪府	一	一	一	〇	一	一〇〇

府縣名	出品人員	出品點數	優良國産賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
神奈川	一	一	〇	〇	一	一〇〇
兵庫	一	四〇六	〇	〇	〇	〇
長崎	一七	八〇八	二	八〇	一〇〇	五九
山梨	七	三〇	〇	二	二	二九
滋賀	一	五	〇	〇	〇	〇
福島	七	一〇〇	〇	一	一	一四
高知	一〇	六六	〇	一	一	一〇
島根	一	一八三	〇	二	三	五〇
高知	六	一八三	一	二	三	五〇
合計	一二七	三、四五七	七	三五	四二	三三

三、出品の概括的批評

本類出品は其の物品の本質上主として材料の選擇、意匠の如何に依つて優劣が決定されるものであるが、一般に材料の選擇を誤り、意匠の陳腐なものが多く、清新警拔の趣致を缺き新時代の嗜好に背馳するもの、あつた事は遺憾に堪へない。殊に立派な材料を用ゐ乍ら其の意匠の凡劣なるが爲めに其の美を發揚することの出来ない物の多かつた事は斯かる種類の工藝品としては將來注意すべき重大な點であらうと思ふ。一體當業者が時代思潮流動の方向と文化の進展とに無關心であるか將又無智である結果、斯かる歸結を馴致したのではないかと思はれる點の多々あつた事は、我國裝飾工藝の前途に對して暗影を投ずるものと言はなければならぬ。

四、縣別又は出品の細目に亘る批評
五、出品の改善又は向上に關する意見

之を地方別に概観すると時代文化の最高潮を表現する東京府の出品は他府縣の出品に比して其の意匠に於て稍一步を踏出したる如きも、技巧に於ては地方府縣に於ても傳統的技術の流傳があり、中央文化の中心地に拮抗するものがあつて此の技巧こそ現代我國工藝の核子をなすものであるから、之を時代文化の流轉の上に扶植して新時世相の上に生誕する意匠に依つて生長せしめねばならない。長崎縣に於ける鼈甲細工、高知縣に於ける珊瑚彫刻の如き此の觀を深くするものがある。大阪府の貝卸、神奈川縣に於ける「アイボリーナット」卸、山梨縣の水晶細工の如きも亦此の點に留意してよいと思ふ。

六、外國品の輸入防遏若しくは將來之を防遏し又は之に代用し得べき價值に關する批判

外國製品と競争して其の輸入を防遏せんとせば先づ歐米諸國の趣味の流動に對して明敏な理解と判斷とを要する。而して彼我經濟生活の如何を察して一は工匠技術の練磨と製作能率の促進とを企畫し、美的情操の涵養と意匠力の培養とに勉めねばならぬ。斯かる立脚地より本出品を見ると其の何れの點に於ても吾人の首肯し得ない多くの點を發見するを悲むのである。要するに當業者としては先づ自己製品に對する徹底的理解と時代相の洞察とに努力する事が必要であつて、安易な生活享樂は自己を自殺に導くものと云はねばならない。

第八六類 携帶品

主 任 報 告 員 宇 野 三 郎

本類は携帶品中の和傘、洋傘及其の附屬品、並に袋物即ち弗入、手提、煙草入、印傳の類やシガレットケース、懷中鏡、學生用靴、煙管、ステッキ等の雜品を含み、出品の總人員數二五四人、出品總點數一、一五一點の多きに達したが、主要出品としては、雨傘、日傘及洋傘類で、袋物其の他の雜品は出品者が極めて尠く、今其の内譯を示すと左の通りである。

第八六類出品及授賞表

府 縣 名	出 品 人 員	出 品 點 數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
北 海 道	一	四	〇	〇	〇	〇
東 京 道	五六	六〇五	一八	六	二四	四三
京 都 府	二	四二	〇	〇	〇	〇
大 阪 府	一	八	〇	〇	〇	〇
神 奈 川 縣	一	二	〇	〇	〇	〇
兵 庫 縣	二	二	一	〇	一	五〇

第六部 一般製作工業

六八五

新	三	靜	山	滋	岐	長	岩	山	福	石	富	鳥	廣	和	香	愛	高
瀧	重	岡	梨	賀	阜	野	手	形	井	川	山	取	島	山	川	媛	知
一六	一一	五	二	三	四	一	一	一	八	二	一	一	二	三	四	一	二
三二	一一	二	二	二	四	三	一	三	二	五	三	四	一	二	一	一	四
〇	〇	〇	〇	〇	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	五	二	一	一	一	〇	五	〇	四	四	〇	四	〇	一	〇	〇	一
三	五	二	一	一	一	〇	五	〇	四	四	〇	四	〇	一	〇	〇	一
五〇	四五	四〇	五〇	三三	四一	〇	四三	〇	五〇	〇	三六	〇	五〇	三六	五〇	〇	五〇

福	三六	一五四	〇	一五	一五	四一
合	二五四	一、一五一	二四	七七	一〇一	四〇
計	岡					

和傘は、東京府外十八縣の多きに及び、就中岐阜縣の四四人、和歌山縣の三九人、福岡縣の三六人は、何れも和傘の本場なだけに、一等地を抜き、東京は、東京傘問屋組合が代表して各種の優秀品を數十點出品したのは特に目を惹いた。而して其の材質、構造、意匠、圖案等、何れも全國第一の集散地たるに耻ぢぬ作品たるを認めた。

岐阜縣は、年産額五百萬に達し、且つ日傘の出品もあり、製作、意匠、圖案等も大に見るべきものが多く、且つ價格の著しく廉なのは、恐らく全國に冠たるべく、其の販路も内地は勿論、遠く滿鮮、南洋、爪哇、「スマトラ」、布哇にまで直輸出するの盛況であるが、今回紙張り日傘の出品を見なかつたのは、甚だ遺憾であつた。福岡縣は、年額約二百萬と稱せられ、主として和傘で頗る優秀の品と認められたが、價格の稍不廉な嫌がある。和歌山縣は、年額八十萬圓で、全國の第三位を占め、番傘の本場なだけに之が出品も甚だ多かつたが、蛇の目傘は殆ど皆無と云つてよい。次は岩手縣、新潟縣の雨傘で、外部の塗り方は、近來著しく進歩した。香川縣は、日傘の産地で、輸南向を主とするが、出品點數が少く特に内地向日傘は、材質技工他に劣るの觀がある。三重縣は、宇治山田市及上野町が之が主産地であるも、出品は、宇治山田市の一部に止り、點數も至つて少なかつた。其の他静岡、廣島、山形、長野、滋賀、高知、愛媛、神奈川、福井、石川、富山の各縣から出品があつたが、何れも數點に止つたのを遺憾とする。

洋傘の出品は、殆ど東京市のみで、本品の第二主産地で、而も輸南向商品の本場たる大阪が僅に一名八點であつた。

とは、甚しく該品の寂寞を感じしめた。洋傘の需要は逐年増加の傾向を示し、現今婦人の携帯品として最も重要視され従つて之が改良進歩の跡も亦著しく、其の内地向たると輸出向たるとに論なく、國産振興上頗る有望の商品たるにも拘らず、唯東京の出品のみで、多くは内地向きであつたことは、甚だ遺憾である。然し乍ら出品は何れも、技術優秀で意匠の卓越した點を表現したことは甚だ愉快であつた。洋傘の素地は、京都、山梨、桐生、足利、岐阜等より産出され、骨も亦内地製品で輸入を防壓するの域に達したと云ふことは、一面金屬美術、織物工業の發達の賜物として慶賀すべきことである。其の他木柄、柄手等も、北海道、静岡、栃木、千葉等の産に依つて完製されるのである。婦人用洋傘は特に流行變遷に支配され、之が意匠圖案、色彩に就いては絶えず工夫研究を強要せらるゝもので、従つて其の表現も、從來は、刺繡、切張り、「レース」加工、絲抜き、縞又は紗の應用、友禪染め、絞織出等の區別があつて、頗る苦心されたが、今回の出品は、能く最近の流行を代表したもので、即ち琥珀素地は、既に其の跡を絶つて錦紗、羽二重張りに限られ柄も亦昨年ものものに比して稍長く、意匠も友禪風のものも多く、骨は増して十二本となつた。

袋物は、東京一流の袋物業者四名の出品が主なるもので、點數も甚だ多く、各種の代表的商品を網羅された觀がした其の他は京都の弗入數十點と姫路の皮製手提であつた。姫路の婦人用手提は、材質と云ひ、意匠と云ひ、海外品に比して遜色のない出來である。雜品としては、特に目を惹くやうな品物はないが、新潟縣の出品に係る煙管は流石に本場だけあつて、種々工夫を凝した精巧なもので、中には支那朝鮮人向き趣向を加味したものもあつた。

第八七類 履物類(靴類を含む)

主 告 員 任 津 田 信 良

第八七類出品及授賞表

府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
朝 鮮	四	二一	三	〇	三	七五
臺 灣	一	一	〇	一	一	一〇〇
北 海 道	一	二〇	一	〇	一	一〇〇
東 京	三一四	一、九六三	一五	一一〇	一二五	四〇
兵 庫	一	一〇〇	〇	一	一	一〇〇
琦 玉	一八	六四	〇	七	七	三九
群 馬	一七	七三	〇	五	五	二九
茨 城	六	一二	〇	二	二	三三
栃 木	一九	一〇五	〇	八	八	四二
重 慶	一五	一一〇	〇	七	七	四七
計					六八九	

愛	靜	滋	宮	福	岩	青	山	秋	富	廣	香	福	合
知	岡	賀	城	島	手	森	形	田	山	島	川	岡	計
二	一	一	一	二	二	一	二	一	七	三	四	二	四九三
一七	三四	三〇	三	一二	四五	三七	一四〇	二〇	二一	五九	九一	二五	三、〇〇三
一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	二四
〇	一	〇	〇	〇	五	七	八	四	三	〇	一	〇	一七〇
一	〇	〇	〇	〇	五	七	八	四	三	二	一	二	一九四
五〇	〇	〇	〇	〇	四二	五〇	三二	三〇	四三	六七	二五	一〇〇	三九

本類に屬するものは下駄類、草履類、靴類及跣足々袋類の四種類とすることが出来る。又其の仕事の上からすれば下駄類に於ては鼻緒、爪皮、表臺、而して臺には又白木臺と塗臺との別がある。草履類に於ては麻裏と「フェルト」の二つに、靴類は皮靴、「ゴム」靴及運動靴等に區別し得られる。

履物は老幼男女の別なく總ての人が用ひるものであるから其の出品も頗る多數である。即ち人員に於て四九三名、點數に於て三、〇〇三點の多きに達したのは蓋し當然のことであらう。中にも東京府の三一四名、一、九六三點を最多とし、山形縣の二五名一四〇點、栃木縣の一九名一〇五點、群馬縣の一七名七三點、埼玉縣の一八名六四點等は其の主なものである。尙廣島縣の靴類のみで三名五九點の出品を見たのは大に注目すべきである。唯何時も乍ら斯かる場合に大阪府より此の種の出品の少いのは甚だ物足りなく思はれる。

下駄類及草履類は出品點數の多いにも拘らず性質上其の規模の特別に大なものもなく、其の製作の上より見るも特に新らしい工夫のあるものが殆どないと云へる。然し一般から見れば材料の選擇、仕上の技術等愈々精巧を極め、殊に地方製品の著しく進歩したのは大に喜ぶべき現象である。

鼻緒に就いて見るに一時の流行として甚だしく細いのが所謂意氣とされた事があつたが、此の數年前より其の力の弱きこと、足袋を損すること、又履心地の悪い事等に氣付いて、實用的に相當の大きさの物となつたのは喜ぶべきことである。又其の眞繩に色々の材料の用ひられたことがあつたが、之亦麻緒に限られる様になつたことも當然のことである。其の布地色模様乃至其の工作術も大に進歩して見るべきものがある。唯皮緒は段々衰へて行く傾向があるが、蓋し之は値の割合不廉なものと、其の色其の意匠に變化の少い爲めであつて、其の持ちの點から云へば布地に勝ること數倍であるから此の皮緒に就いては大ひに研究の餘地が存する。

爪皮も亦一時の流行として表付履物に爪皮を附けたものがあつたが、近頃殆ど其の姿を見なくなつた。之は全く無駄

な事であつた所から當然のことと思ふ。爪皮は雨雪天、道路泥又は雪を以て覆はれた時に役立つものである。其の材料としては「レザー」の製品が大に進歩して單に先皮として丈夫な皮を用いて、其の甲部は「レザー」を用いたものが多い。値より云ふも實用的なものと思ふ。唯其の裁縫の拙劣なもの、ゴム紐の弱いものがある。注意すべきだと思ふ。雪國又は粘土地には爪皮を甲良に釘付とすることは最も適當な處置であると思ふ。

表としては何と云つても南部表即ち竹の皮で製作したものが一等である。近時其の材料が日本内地産のものゝみでは間に合はず、支那より輸入するに至つたが、相當の品質のものである。一時大に流行した棕梠表は値は廉なるも持ちの弱い處から此の支那竹皮に壓倒されつゝある。而して籐表に至つては漂白、施工、仕上共に殆ど申分ないまでに發達し、殊に従來籐を裂くに手工に依つたものが今と全く機械挽となるに至つて、其の製産能力も増し且つ線もむらのないものとなつて、益々需要を増すべきものと思ふ。此の籐表は東京で多く製産されるが、地方では群馬縣を以て第一とする。

下駄臺としては何と云ふても桐材に限るのであるが、其の乾燥の時の不注意よりして材質に黒味を帯びたものがあり値打を損ふことが甚だしい。尙注意すべきは唯に奇を好んで實用以上に巾の廣いものゝあることで之は無駄のことと思ふ。桐材も段々内地産に代つて支那材が用ひらるゝ様になつた。又一時色々の雜木が下駄材料として用ひられたが國民一般の生活程度の向上するに連れて其の姿を消した感がある。近頃駒下駄の汚を防ぐ爲め「セルロイド」を塗つたものがあり、又足駄及駒下駄の齒に「ゴム」を附して其の磨滅を減することを考へたものがあるが、何れも至極結構な思附きと考へる。然し完成までには尙一段の研究を要するものと思ふ。

塗臺に就いて東京には特に塗臺製作者だけの同業組合があつて、互に戒め大に研究努力して居るだけあつて其の塗の技術、其の模様 of 意匠共に進歩改良の跡の見るべきものがある。在り來りの松に鶴と云つた様な模様は段々廢れて、或は圖案化されたもの、或は四季の氣持を表したものと等が賞讃されるの傾向を呈して來た。茲に注意すべきは木地の作り方であるが、塗下地であるから粗末な匏削りで宜しからうと考へらるゝが實際は然らずして白木の時には見えなかつた匏むらも塗り上げて却て其の缺點を明かにするものである。

草履は麻裏草履「フェルト」草履の二種類の出品が多く、一時流行した空氣草履及「コルク」草履は全く「フェルト」草履の爲めに驅逐されたものゝ如く、今回の出品にも殆ど見られなかつた。「フェルト」の工作に便利で且つ體裁もよく、而かも履き心地の良い所から人意に適した爲めであると思はれる。尙「フェルト」の裏に「クローム」革を當てたものがあるが、大に注意したものだと思ふべきだが、尙「クローム」鞣しの後、澁鞣したものを用ひたら一層濕氣にも堪へ、又食み出ることも無いやうにならうと考へられる。其の他儀式用草履を紅白其の他の色の布地で包んだものを積み重ねたものがあつたが如何にも美術的のものである。

麻裏草履に就いては別に記すべきこともないが、近時麻裏の代りに「ゴム」を附けたものがあつて、重い感のあるを遺憾とする。尙此の外に木片を附けたものも尙相當用ひられて居る。此の草履も東京に於て最も多く製産されるが地方では香川縣、靜岡縣の出品の多かつたのは注意すべき點である。

製靴は震災後洋服の流行と共に大發展をなして、將來下駄類は段々靴に其の領域を奪はれるではなからうかと思はれ

る。特に注意すべきは婦人用の靴の發達である。其の種類より云へば「キット」、「ロータス」、「ボックス」製の編上又は短靴を主とし、殊に赤皮靴の流行は大に注意すべき點である。其の他護謨底靴、護謨製靴等があり、其の他乗馬用靴各種運動靴、登山用靴、雪靴、防水用長靴等の出品もあつた。婦人用の靴の出品の少なかつたのは物足りない感があつた。此の製靴のことたるや製革事業と相俟つて發展すべきものであるが、皮の原料に乏しく、從て又製革事業の盛んならざる我國に於ては靴の材料としても上等ものは殆ど皆海外よりの供給を受けつゝある事は遺憾千萬である。然るに其の製靴の技術に至つては大いに發達し、外國品に對しても殆ど遜色のない迄に到達したのは喜ばしい事であつて、特に手工の妙技に至つては遺憾なく上達し、大に見るべきものがある。尙一段の研究を要するものは機械製作法である。

今後多數製産をなして、輸入防遏のみならず進んで將來輸出を計るの點からして、此の機械製作法の研究は重要な問題である。

一、機械製靴に就いて

機械製靴は震災後殊に進歩して、今回の出品の如きも外國の夫れに比して稍々劣る點のないではないが、創業數ヶ年の製品としては長足の進歩をなしたと云はねばならぬ。此の製品に就いて注意すべき點は靴の生命である。中底縫を完全にする事である。殊に數年前のものは此の點が全く不完全であつた爲めに破損し易く修理も不可能なものさへあつたので、機械製は不可なりと極められた有様であつたが、今日では大に進歩して、素人には一寸手縫との區別のつき難いまでに至つたが、更に尙一層の研究を要する餘地がある。

二、手工靴に就いて

今回出品された手工靴は前の機械靴と異つて、其の全部が手工の技巧を遺憾なく發揮し、材料の應用、外觀の美、日本技術家の製品として、外人の摸倣を許さない點のあるは吾人の最も意を強ふる所である。

然るに餘り外觀に重きを置いた爲め不注意にも内部に木釘の突出したものがあつた。又木型の古い爲めに凸起のあるものもあつた。此等は穿用に當つて直ちに靴傷の原因となるもの故製造家としては大に注意すべきである。

三、運動靴に就いて

出品中には優良なものがないでもないが、大體に於て粗末なもの、多いのを遺憾とするのである。就中底に「ボール」紙を使用したものがある。此等は底縫容易で且つ底を厚く見せる利功な方法ではあるが、實際穿用の結果水に遇ふ時は直ちに破して、裏の「ごむ」底は未だ破損しないのに已に廢品となるものがある。「ボール」紙の代りに漉革を用ふべきである。

現今運動靴の需要は漸次増加の趨勢にある故に當業者は甲部と底部との材料の調和を計り、實用的、經濟的に製作するの工夫を要するのである。

四、「ゴム」靴に就いて

防水「ゴム」長靴は日本の如き道路の不完全で而も雨の多い國では最も實用的のもので、其の需要の益々多大なるに至つたのは當然のことである。從て自然其の技術の如きも段々發達しつゝあるが、現在の製品の多くは其の甲部の仕上

げの可良なのに比し、底部の製作が甚だ拙劣であつて、一見しても其の底の表面にむらあり、其の耐久力も甚だ弱く小砂利等を踏むと直ちに足にこたへるものがある。甲部と共に底の製作法にも一段の研究を要する。

五、外國の模倣に就いて

最近日本の流行として踵の外廻りを縫つた踵の大きなものがある。今回の出品中にも二、三點斯くの如きものがあつたが、之は四、五年前外國で足の安定を計り疲勞を減すると云ふ考へから製作したものであるが、實際は足重く歩行不愉快で且つ雨天には水を後に跳ね上げて實用的でない。今日では已に其の流行が止んで一時的の過去のものとなつて居るものである。之も亦何でも西洋を模倣する癖のある日本人の欠點を暴露した一例と云はねばならない。

六、朝鮮より出品された特種のもの

朝鮮より出品された皮靴に特種の製作法を採つたものがあつた。夫れは甲部の皮と底縁皮との縫ひ合せに特種の糊を用ゐて防水の働きをなさしめ、又底皮を積むには全然縫はずに、單に其の糊のみを用ゐたものである。大なる注意を拂つて慎重なる検査をなしたるに如何にも丈夫な糊であつて、先づ完全に附着したものと見るべきである。耐久力にして充分なものなれば實に重寶な製作法と云はねばならぬ。特に記して世人の注意を促し置くものである。

第八八類 旅行用具

主任 安江 雅勝
 報告員 中西 忠一

旅行用具は柳行李、竹行李、杞柳製服入靴、皮革製靴、ファイバー製靴、バスケット類、靴口金等が主なるもので、出品地方は一府八縣、朝鮮、關東州に亘り、出品人員四四名、出品點數二三八點、即ち本類の府縣別出品人員出品點數及授賞表は左の如くである。

第八八類出品及授賞表

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
朝鮮	一	一	〇	〇	一	〇
關東	一	三	〇	一	一	〇
東京	二	一五四	一	〇	二	四八
兵庫	一	二五	〇	〇	一	〇
埼玉	一	一	〇	〇	一	〇
静岡	二	八	〇	〇	二	〇
山梨	一	二	〇	〇	一	〇
長野	四	七	〇	一	五	二五
青森	八	二	〇	〇	八	三八
岡山	一	八	〇	一	二	〇
香川	一	六	〇	〇	一	〇
合計	四四	二三八	六	一三	一九	四三

柳行李は本邦固有の旅行用具であつて、在來の製品に比して製作技術等特に進歩した點が少く、原料の漂白、縁の仕上等に就いては尙研究の餘地がある。

唯生地にて從來の麻糸織に對し鋼線織となし、其の強力を増加し實用價值を高めたものゝあつたのは聊か進歩したものと云へやう。柳行李は重量が軽く、質強靱で破損の憂が少く防濕性にも富んで良く内容を保護し、而も價格低廉な爲め一般に廣く使用されて、旅具としては適當なものである。出品地方は兵庫を第一とし、東京長野が之に亞ぐ。東京の出品も生産地は兵庫縣であつて、同縣は本邦柳行李の重要な生産地で昭和元年の生産額二百五十六萬圓に及び總額の七割二分を占め、販路は内地は勿論、遠く支那、露西亞、米國、濠洲、歐洲にも輸出されて製品の優秀なことは既に定評がある。

竹行李は静岡縣の出品で煤竹を用ひて編んだもので、體裁は良いが耐久力に於て缺ける所がある。杞柳製入靴は近時著しく進歩し、鋼線又は亞鉛引鐵線を用ひて織つた生地を用ひ、整形器で所要の形狀となし、鐵製縁金を嵌め漆を塗り更に裏地、錠前等を取付けたものであつて外觀美麗、耐久力強く、皮革製品に比して價格低廉であるから皮革製品の代用品としては最も優良なもので杞柳の應用其の宜敷きを得たものと云ひ得られやう。出品地方は岡山、兵庫、東京で何れも製品に優劣がなく優良なものであつて將來海外に輸出増加の見込もあれば今後一層の努力を望む。

樹皮製靴は東京山元商店の出品で南洋産の樹皮を化學的に加工して靴に應用したもので周圍の破損し易い部分には皮革を用ひ頗る優美に製作されてあるが、此の樹皮は皮革に比して質が脆弱で靴としての價格も廉でなく、旅行用具としての實用價值は少い。此の材料の如きは寧ろ手提靴其の他家具、建築材料等に應用すれば充分の價值を發揮されやう。皮革製靴類は歐洲戰爭當時から本邦製革工業の發達に連れて大部分國産皮革を以て製作するに至り、製作技術も大いに進歩して近時は手工業時代を過ぎて半機械製となり、外觀美にして外國製品に劣らず、輸入防遏に貢献する所が大である。然し乍ら尙本品の缺點としては附屬金具の脆弱其の取付方法の宜しきを得ないもの等あれば此の方面に尙一層の研究努力を要する。又價格も概して高價である。出品地方は大部分東京であつて、就中森商店の出品なる馬革製入靴は製作加工優良で價格も低廉であるから、一般實用向として價值がある。

皮革製靴の主要生産地は東京に亞いで静岡、大阪であるが此の地方からの出品の無かつたのを遺憾とする。「ファイバー」製靴は東京靴株式會社及兵庫縣の日沙商會の出品したもので後者は單に參考品として出陳した。本品は重量が頗る軽く、相當堅牢であつて、價格が低廉であるから旅行用具として適當であるが防濕的に完全で無いのは一大缺點で尙研究の餘地を存する。

靴金具の出品者なる東京「マルエム」商會は古くから斯業に従事して多年研究努力の結果現在生産高年四萬圓内外に及び外國品に對抗しつゝある。

製品としては鍍止、塗料、塗布、其の他仕上に關しては外國製品に劣るが本邦製品としては優良なものである。「バスケット」類は杞柳製、竹製、籐製、木道蔓製等があり、何れも製作技術の進歩した跡を見る。

此等の内青森縣の木道蔓製「バスケット」は特に手工技術優秀で、體裁優美、耐久力強く籐製品に比して價格低廉で

あるから携帯旅具として優良なものと云へる。販路は内地、朝鮮、滿洲、支那、米國、歐洲に及び好評を博して居る。前記の外朝鮮から野草應用の「ワングル」製服入靴、山梨縣より印傳靴等の出品があつたが何れも實用的價値は少

第八九類 事務用具及店舗用具

主任 河 合 匡
報告員 服 部 東 一

本類に屬する出品總點數は六八一點、出品人員は二四名、其の大部分は東京で、地方にあつては僅かに大阪府、島根縣、静岡縣の一府二縣、之が出品人員四名、二四點を數へるに過ぎない。

次に出品人員、點數及擬賞別内譯を示せば左の通りである。

第八九類 出品人員、點數並授賞表

府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東 京	二〇	六五七	三	七	一〇	五〇
大 阪	一	一一	〇	〇	〇	〇
静 岡	一	二	一	〇	一	一〇〇
合 計	二四	六八一	四	七	一一	四三

島 根	計
二	一一
二四	六八一
〇	四
〇	七
〇	一一
〇	四三

更に之が出品品目より見る時は、「タイプライター」、謄寫器、計算器、番號器、證券手形打拔器、「ペイド」、金錢登錄器、手提金庫、帳簿、「バインダー」其の他「タイプライター」台机、原稿台、謄寫用各種原紙、鐵筆、鑷、「カーボンペーパー」等であるが、其の多くは謄寫器及之が附屬品であつて、事務の簡捷、能率増進の聲の高い折柄、此の種一般事務用具に關する出品の種類甚だ少く、殊に店舗用具の如きは僅かに數點を數へるに過ぎないのは誠に遺憾である。

近來タイプライターの使用の漸次増大すると共に、之が製作も亦著しい進歩を示し、東洋「タイプライター」、日本「タイプライター」兩社の製品の如きは、國産品として異彩を放つものと云ふべく、字、行間隔の多樣變化、見出し文字盤の裝置、其の他機構、一般製作等に努力の跡の大なるを認めることが出来る。

然し乍ら我國に於ける「タイプライター」は尙未だ淨寫用時代の域を脱せず、之を海外に於ける日常必需品たるに比するならば、其の間格段の相違が存して今後尙不斷の努力を要する次第である。殊に今日の不況期に當つて之が實用化を期するには、其の價格の尙高いのを痛感せざるを得ない。従て之が改善に當つては細末の技巧に囚れた機構の複雑化に進むよりも寧ろ之が單純化に努めて、使用の簡易と單價の低減を圖ることが緊要であると共に、從來の型に囚はれず根本的變化に意を用ひることも必要であらう。

「タイプライター」及同部分品の輸入統計を見るならば左の通りである。

大正十四年	二七五、九五九圓
大正十五年	四五二、二五五
昭和二年	三七六、二三五

騰寫器中騰寫版に至つては既に全く實用時代に達し、之が製品亦甚だ優良なものを見出すは、事務刷新の上に於て喜ぶべきことであると共に、之が附屬品も亦改善の跡を認めることが出来る。殊に「ミリヤタイプ」騰寫印版紙の如き、歐米の特許を見るに至つた等、近年高級複寫紙の輸入年と共に増大するの形勢に對し國産品として氣を吐くものと云ふべきであらう。自動輪轉機も亦近來著しく進歩を示しては居るが、製作、材料の配合其他に尙一段の考慮を要するものがある。元來此の種のものには取扱至便であつて、迅速且つ鮮明、多數のものを經濟的に印刷し得ることは勿論であるが之が實際使用に當つては、堅牢と耐久は更に重要であつて、故障絶無のものであることが必要である。製作者は今後一層此の方面に留意すべきである。

機械的計算器は事務用具中甚だ重要なものゝ一つである。我國にあつては之が發達の歴史も未だ新らしく、従つて此の種國産品の極めて少いことは勿論、歐米諸國の夫れに比して甚だ遜色のあるものも亦止むを得ないことではあるが、之が輸入の傾向より見ても今後急激な使用増加を察し得るし、輸入對策から云つても此の方面の研究と發達を望まざるを得ない。今回の出品中、此の種計算器としては「タイガー」計算器を見出すのみではあるが、外國品に劣らない特色と實用價値を窺ひ得られる。尙一步進んで價格の低減を期し得るならば、業界の爲めにも裨益する所大なるものあらう。

金錢登録器は從來其の多くを米國製品に仰いで、之が輸入額も亦年々増大を示しつゝあるにも拘らず、我國産品に見るべきものがなく、外國製品を驅逐し得ない状態にあつた。然るに今回の出品中稍々優秀で苦心の跡の顯著なものあるを見るに至つたことは、此の種國産品の前途に光明を認めるものであつて、殊に賣上高合計加算器を有する高級品の現れたるが如きは甚だ意を強うするものがある。然し乍ら之を外國品に比較する時は、其の材質、加工、耐久等に於て尙遜色ありと云はざるを得ない。

近年計算器類及同部分品（金錢登録器を含む）の輸入は左の通り著しく増大を示して居る。

大正十四年	五二五、六一〇圓
大正十五年	一、〇九一、六一五
昭和二年	一、三七〇、〇七四

次に我國固有の計算器たる算盤の出品が甚だ少かつたことは意外とするところであつて、僅々三名を數へるのみである。

今回の出品中在來の製品と比較して、特に注目すべき事項を見出さないが、此の種製品には往々體裁に囚れ、品位の優秀を誇らうとして、徒に其の種類を多くし、動もすれば一部愛玩者の意に迎合して甚しく高價なものを製作して、一種の骨董品化するが如きは誤れるも亦甚しと云ふべきであつて、畢竟我國唯一の實用計算器たる算盤本來の使命を没却するものと云ふべきである。此の際製品の標準化、單一化を圖つて價格を低減し、以て徹底的實用化に努めるならば、

製作者使用者相共に益する所大なるべく、當業者の猛省を望む次第である。

その他、番號器、打拔器、帳簿、「バインダー」等の出品中優秀なものを認め、殊に帳簿及手帳の如き、近年之が輸出漸次増大を示しつつあるは、國産振興上甚だ慶ぶべき現象である。

帳簿及手帳の輸出

大正十四年	三七五、九一圓
大正十五年	四三八、〇五六
昭和二年	四五二、五三八

之を要するに本類に屬する國産品は、尙未だ研究時代に在ると云ふべく、今後事務組織の發達に伴ふ事務の機械化は此等用具發達の前途に多大の期待を囑するものであつて此の際當業者の自覺と奮起とを切望して止まない。

九〇類 遊戲具體操及運動具

主任 醫學博士 北 豊 吉
 報告員 大 谷 武 一

一、出品概況

本類に於ては運動用具に屬する出品多數を占め、遊戲具は其の數極めて少數である。而して運動用具中弓道具及「スキー」用具の特に多數を占めているのは最近に於ける國民の運動趣味の傾向を察知するに足ると思はれる。

二、出品人員其他

出品は北海道、東京、新潟、長野、青森、宮崎、鹿兒島の一道、一府、五縣下に亘り、其の出品人員五三名、出品點數一、二五二である。今府縣別出品人員出品點數及授賞表を挙げれば次の如くである。

第九〇類出品人員、點數並授賞表

府縣名	出品人員	出品點數	優良國産賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
北海道	三	二〇	三	〇	三	一〇〇
東京	三八	二、二〇三	六	九	一五	四〇
新潟	五	八	二	〇	二	四〇
長野	二	三	一	〇	一	五〇
青森	二	七	〇	〇	二	〇〇
宮崎	二	九	〇	二	二	〇〇
鹿兒島	一	二	〇	〇	〇	〇
合計	五三	二、二五二	一四	一一	二五	四七

三、出品の概括的批評

近年我國に於ける運動競技の興隆に伴ひ、需要増加の結果、運動用具全般に亘つて其の産額が著しく増加し其の製作材料も長足の進歩を遂げているのを見る。就中庭球用具、野球用具、蹴球用具、スキー用具は特に其の進歩の著しいのを認める。

スキーは我國に於ては比較的新しい競技であるにも拘らず其の製作技術に大なる進境を示し、其の材料に於ても、附屬品に於ても外國の優良品に比して甚だしい遜色を見ない程度にまで達している。

弓道は我國特有の武技に屬し、其の用具の製作に於ても特殊の技術を要するのであるが、製作者は鋭意之が研究と改善に腐心した結果、單に傳統的の技術を存続するに留まらず、進歩の跡歴然たるを認めることが出来る。

四、縣別及出品の細目に亘る批評

出品の大多數は東京府に屬しているが、近來次第に運動用具製造者の増加を來し、其れに伴ふ競争の漸く激甚を加へた結果、自然優良な製品の産出となつたことゝ認められる。而して特殊の用具を除いては東京府の出品の最も優良なるを認める。「スキー」は材料と需要者の關係上地方的に發達することは當然であろうが、北海道の製品が最も優秀で長野縣が之に次ぐ。

五、出品の改善及向上に關する意見

本邦特有の弓道用具の如きは例外はあるが一般的に見て其の品質、技術並に其の産額に於てまだ外國の優良品に及ば

ないが、其れは工業組織の規模の比較的大ならざることに起因するものと考へられる。されば製造者は此の點を考慮して完全な施設の下に優良品を多量に産出し、販路を廣く海外に求めるやうに努力する必要があると認める。

六、外國品の輸入防遏に關する價值批判

前項に述べたやうに我國の製品は品質並に技術に於て外國の優良品に比して尙及ばない點があるが、然し價格の比較的低廉である爲めに、現在に於て已に輸入防遏の目的を充分に達して居るのであるから、將來製造組織に改善を加へ其の價格を高めず、品質を優良にすることが出來得たならば單に輸入を防遏し得るだけでなく、轉じて輸出品たらしめることもさまで困難でないやうに思はれる。

第九一類 玩具

主任 水野 範之助
報告員 永澤 謙三

本類の出品は東京の鋳力製玩具「セルロイド」玩具及雛人形の其の大半を占める事は左表の示す如く、博多、奈良等の人形、箱根、静岡の木製玩具を初めとして全國の郷土玩具が集れるのに大阪、京都の大都市の出品のなかつたのは遺憾である。出品人員二二二名に對し、一、五二四點、一人當り七點強の多數出品があり、平和博覽會に比較して四百點の多數である。

此の府縣別數は二府二〇縣に亘り、各府縣の出品狀況及授賞者一覽表は左の如くである。

第九一類 出品人員、點數並授賞表

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
東京	一三三	一、一四〇	三	二	五三	四〇
大阪	二	九	一	〇	一	五〇
兵庫	二	六	〇	〇	二	一八
奈良	五	一	〇	〇	一	五〇
靜岡	五	一	〇	〇	一	四〇
滋賀	二	六	〇	〇	二	二〇
長野	九	二	一	〇	三	〇
宮城	一	三	〇	一	一	一〇
岩手	二	一	〇	〇	一	〇
青森	一	七	〇	〇	〇	〇
山形	五	三	〇	〇	〇	〇
石川	二	三	〇	一	一	五〇
富山	二	七	〇	〇	〇	〇
合計	一一三	一、一四〇	三一	二二	五三	四〇

府縣名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
岡山	二	一	〇	〇	二	〇
愛知	一	二	〇	〇	一	〇
廣島	一	五	〇	〇	一	〇
山口	一	六	〇	〇	一	〇
香川	七	二	〇	〇	〇	〇
高知	二	七	〇	〇	〇	〇
福岡	〇	三	〇	五	〇	五〇
大分	一	五	〇	〇	〇	〇
合計	一一	二四	三	三七	七一	三四

出品を概括して批評すれば「セルロイド」製品は他の玩具に比して一頭地を抜き意匠色彩總べてに於て優秀なものが多數ある。鍼力玩具其の中にも優秀なものが無いではないが惜むらくは此等の多くは外國品の模造であつて少しも考案を施してない。雛人形の出品は二百點の多きに及び人目を惹いたものも多數にあつた。

地方出品は所謂郷土玩具で土産物の範圍を出でない感がある。

玩具の需要は年々歳々増加するのみでなく教育の普及するに従つて玩具の必要を感じるものであつて、又本邦輸出品としても主要な位置を占め、昭和二年度に於て千數百萬圓の輸出があり、内地の需要と合すれば三千萬圓以上の産額のあるものであるから、相當深く研究さるべきであるのに往々にして之を缺くものゝあるは遺憾である。例へば土製人形

の或ものは形状、意匠、配色等優美で見ざる者の眼を喜ばしめる事大なるに、之に手を觸れば繪具は脱げ、持てば破壊する恐れがある。斯くの如きものは塗料、材料、製法に改良を加ふれば需要を増大し海外に輸出する事も容易になるであらう。

又「セルロイド」製玩具は其の材料我國特有のもので輸入を仰ぐべきものが無く、眞に玩具として又装飾品として我國で製作するに最も適したるものゝ一である。我國で製造し得るに至つたのは此處十年來の事であるが、其の進歩顯著で、製品の考案と云ひ、形状と云ひ、色彩と云ひ、將又材料と云ひ決して外國に出すも後をとる憂ひなく、輸出品の四割を占めるのも亦理なきでない。されど元來「セルロイド」は引火性のもので子供の玩具としては幾分危険が伴ひ易いものであるから、早晚之に關して世論の喧しくならぬとも限らない。今にして早く不燃性材料の研究を爲すこそ賢明な策と思はれる。散て當業者の一考を煩はしたい。

人形、動物の如きものゝ玩具は永久性のあるもので、殊に女兒に人形は離るべからざるものである。従て何れの國でも需要が盛んである。出品中にも多數陳列されて其の技術の外國品を凌ぐものもあるが輸出上不滿の尙多いのは研究の不充分な爲め和洋混血の人形と化し、外人の嗜好に投ぜぬに因るべく、一層の努力を希望する次第である。

五月人形は製作者各自に可なりの研究を積んで、古實を調べる等の注意を拂ふからして優良な出品が多く殊に大禮に因んだものが數點あり、朝日新聞社特設館に於ける大禮調度、人形と比較して興味を感ずるのである、販路は内地に止つて輸出されるものは殆ど無いけれども、其の需要の年々増加するのは年中行事の一道具として缺くべからざるものと考へられるに因るのであらう。然し乍ら宮澤倉吉出品の「セルロイド」製其の他の豆雛の出現は時代の要求の奈邊に在るかを知るに足るものがある。

鋳力製は「ゼンマイ」玩具として最も興味が有り、最も應用し易いものであるのに、考案の見るべきものが少く、多くは舶來品の改悪に陥つたのを惜む。然し乍ら製作の技術は進歩し材料、意匠、色彩の一切を外國品其の儘に模倣した品物は無難であつて、バケツ、鈴等の簡單なものに優秀な作品が多い。又色彩の點に於て價値に影響を及したるものや、些細の不注意の爲め危険で子供に與へ難いもの等は少しく念を入れれば改善されるのであるから注意が望ましい。要するに鋳力玩具は研究指導する人の無いのにも因るが一般に小規模で設計、考案、配色、製作總て職工の腕にのみ頼つて、頭腦の働に依らぬが爲めに行詰りを來すものであらう。「セルロイド」の如く大規模の會社工場で夫々専門家を以て研究せしめたならば優秀品を廉價に供給する事も敢て難事ではなく、又海外への販路も易々として擴げて行く事が出來やう。

竹材、木材玩具も亦國産品として大に奨励すべきもので神奈川、静岡等は既に定許がある。然し千篇一律の設計のみでは尙飽き足らぬではなからうか。

第九二類 雜 工 作 品

主任 津 澤
 報告員 阿 部 清 巽

本九二類は雜工作品にして、其の種別は實に多種多様を極めてゐるので、比較的多人數の審査官に於て、各主任を定め、更に列座の審査官が之に参加して細密周到に審査した。今其の類別を左に記せば、

- 一、疊表、花筵、野草筵、絲類
- 二、麻真田、麥桿真田、麥桿細工並に經木製品
- 三、網具、網地類
- 四、象牙製品
- 五、造花
- 六、玉石製品
- 七、竹製品
- 八、籐、「アケビ」杷柳品類

九、建築材料（竹、木、凝石類）

- 一〇、木製品、彫刻
- 一一、刷毛、刷子類
- 一二、金網及雜金屬製品
- 一三、絲瓜及其の製品
- 一四、石燈籠及盆景
- 一五、釣竿
- 一六、印刷工藝活字、圖書
- 一七、「セルロイド」加工品
- 一八、雜品

次に之を地方別に出品人員點數並に授賞者數を表示せば左の通りである

第九二類出品及授賞表

朝 鮮	府 縣 名	出品人員	出品點數	優良國產賞牌	有功賞牌	計	出品人員に對する百分比
七			一五	〇	三	三	四三

沖鹿宮熊大福高愛香和山廣岡島富石福秋山青岩宮

兒 歌

第六部 一般製作工業

繩島崎本分岡知媛川山口島山根山川井田形森手城

一六二一二二六九三三一 一九三四九三七六九六二二

三一七 一八二 五〇九 一七二 二〇〇 二八七 二三三 六二八 二二四 二一四 二

〇〇〇〇一〇〇〇〇〇〇一三〇〇〇〇〇〇二〇〇

一三〇〇〇二一二〇〇〇三〇三〇〇二一一一〇一

七一五

一三〇〇一二一二〇〇〇四三三〇〇二一一三〇一

一〇五 五〇 一〇七 二〇〇 二二三 二一三 二〇〇 二八〇 一〇〇 五〇

長岐滋山靜愛三枋茨千群埼新兵神大京東北樺關臺

奈 海 東

野阜賀梨岡知重木城葉馬玉湯庫川阪都京道太廳灣

一九九〇七五七七 二四三一三二七八 一六五一 一六三七 一三三

四四五二五六一三 一九九二 一三六二 一六〇一 六三一 四三

〇〇一〇一〇〇一一〇〇〇一〇六〇〇二一一〇〇〇

四二〇二一一三三〇〇〇一一四〇〇一三三〇〇〇

四二一二二一三四一〇〇一二四六〇一三四〇〇〇

二二一三三一四一三 五二五三 〇〇三 五〇〇〇

博覽會審查報告

七一四

合

計

四六四

二、九二〇

四〇

八二

一二二

二六

一、疊表 花苳 野草苳 糸類

出品人員六九名

内譯 東京二九

岡山八

廣島一〇

埼玉一

栃木一

樺太一

臺灣一

愛知一

秋田一

千葉一

福岡二

朝鮮四

島根三

兵庫一

静岡一

長野四

出品點數一六七點

疊表

疊表は東京、岡山、廣島、島根、福岡等の出品であるが、概して東京の販賣者の出品を以て代表したものと云ふことが出来る。今回の出品は一般に高級品は少いが其の品質が堅實で價格の低廉な日常取引品の出品が、恰も見本市の如き感があつた。此の點は一面博覽會の實際化の傾向を語るもので喜ぶべき現象である。

出品中廣島の備後本場疊表販賣組合、東京の常川佐吉、山口孝太郎等の製品には見るべきものがある。今回は主産地の岡山、廣島等の出品の少いは意外とする所である。此等の地方は主産地として長い沿革を有し、名聲を博してゐたに係らず、其の見るべきものゝ甚だ少いは當地當業者の爲めに惜む所である。此の種博覽會には進んで其の出品に努力し需要中心地に於て、普く批判に觸れることは斯業の改善の上に緊要のことであると思ふ。

花 苳

花苳は東京の出品の昭和花苳等に於て、其の組織と意匠との内地品として優良なものが多い。朝鮮の出品では、花苳は組織及意匠等に異彩を放つたものがあるが、「マット」は其の意匠に於て着色を誤り、寧ろ無地「マット」の雅致ある効果に及ばない。

朝鮮莞草苳は原料の質が優良であるから、意匠の研究と、製織の方法の研究と相俟つて更に内外に發展し得る將來を豫想せしめる。

本品に於ても輸出品の主要地たる岡山縣の出品に見るべきものゝ乏しいのは頗る遺憾とする所である。

野草 苳

野草苳も主産地の岡山の出品が少く、重要輸出品であるにも拘らず、其の出品に努力の跡の見へないのは該地の當業者の爲めに憾みなきを得ない。

二、麻真田 麥稈真田 麥稈細工 並に經木製品類

出品人員一五名

内譯 神奈川六

新潟一

茨城一

栃木一

岡山二

兵庫四

出品點數一一七點

麻 真 田

麻真田の出品に於ては各縣共相當に努力研究の跡の著しいのは慶すべきである。特に神奈川縣の出品に於て出色のものを見る。蓋し近年海外需要地の嗜好の不安定なものゝあるに鑑みて、一層意匠の研究に努力あらんことを望む。

麥桿真田及麥桿細工

麥桿真田は我國の重要輸出品であるにも拘らず、其の主要産地の岡山、香川等の出品に見るべきものゝ甚だ少いのは残念である。今や支那の麥桿真田が我海外販路を蠶食しつつあり、加ふるに徐々我が内地にさへ、逆襲せんとする情勢にある。當業者は斯業の爲め、一層反省努力あらんことを切望して止まない。

麥桿細工は僅に兵庫縣城崎町の出品がある許りであるが、其の意匠宜しく出来榮えも亦良好であるが、唯價格の多少高價な嫌がある。意匠に更に新味を加へ虚飾を去つて生産費の低減を圖るときは、輸出一時的容器として相當の需要を喚起し得る性質がある。

經木製品

本品中特に見るべきものは「スバルテリ」である。其の品質は大いに改善されたが、意匠に於て尙研究の余地が少くない。本品は輸出品として相當有望の域に進んでは來たが、其の意匠が海外需要地の嗜好に投ずることが至難のやうに見へる。特に此の點に向つて研究努力あらんことを望む。

三、網具 網地類

出品人員一二名

内譯 三重六

高知一

愛知一

岐阜一

石川一

山形二

出品點數五六點

網具網地の出品は地方的特殊漁具と綿絲網地のみであつて、現在盛に使用されて居り將來も亦大に使用されんとする「マニラ」網地、「ラミー」網地並に無節網地等の出品のないのは遺憾である。

網具及内地需要の綿絲網地に就いては左程批評の價值を認めないが、近來優良な原料を用ひ、而も悉く内地製の動力編網機に依つて製出した輸南向の網地が漸次其の輸出額を増加し來つた點に就いては刮目に價する。尙販路擴張の方法を講究することに依つて、重要輸出品の域に達せしめ得る可能性がある。斯業者の奮闘努力を希望して已まない。

四、象牙製品

牙彫品は元來輸出を目的として發達した工藝の一つであつて、製品の約八割は専ら歐米各國へ輸出されるものであつて、主産地は東京を第一とし大阪之れに次ぎ、京都名古屋及横濱に於ても多少生産されるが、東京を除くの地は多く内地向製品であつて、其の趣を異にする。東京産のものは何れも賞玩用又は裝飾用を目的としたもので、實用的のものは極めて少い。

今回の出品を見るに總出品人員三八名、總點數三七七點を算し、之を府縣別に見れば、殆ど全部が東京の出品であつて、横濱が僅かに一名一點を數へるのみである。出品も輸南向のものが大部分であつて、内地向の製品例へば三味線用バチ、紐釦、頭飾品の如きは極めて僅に過ぎない。出品の品種に就いて見るも其の大部分は輸南向賞玩用の置物であつ

て、實用的工藝品としての煙草入、パイプ、化粧品、頭髮櫛の如きは、其の数が少い。今本品の將來に就いて老婆心を提供すれば、

イ、製品が元來美術的賞玩用であつて實用に遠いものであると云ふことが其の需要を俄かに増加せしめ得ない一つの原因であるから、將來はなるべく此の實用方面への研究に意を用ひて、新規な用途を開拓すべきであると思ふ。

ロ、本品が卑近な外人の好奇心に媚びんことを欲し、努めて我古代の風俗を彫刻し或は、東洋風の珍らしさともいふべきものを以て、意匠を技巧的に表示することに慣らされて來てはゐるが、斯かる一本調子の趣味が既に外人に飽かれてゐるといふ證左は、逐年の輸出不振の事實に依つて歴然たるものがある。宜しく大に世界的商品たらしむべく、新時代の様式用途に向つて研究の歩を進むべきである。よし又東洋の古代風俗の彫刻を尊重するにしても國境を越えて美術品として人の心を打つ氣韻と力とを持たしむべきである。

ハ、牙彫品なるが故に始終一貫象牙のみを使用する必要はない。大に他の金屬材料、木材を應用して新味ある製品の産出を圖るべきである。

二、本品は固より手工業であるが、機械の利用を考究すれば、大體の其の仕上は簡單に爲し遂げ得られると思ふ。入神の技巧は最後の仕上に發揮すべきである。斯くすることに依つて價格を低廉にし、材料を節し得るであらう。

五、造花

造花の出品は、出品人員一九名、點數六四點、全部東京府の出品である。

造花及細工は製作技巧、色彩共に益々精緻となり、見るべきものがあるが、多くは單に一時的裝飾用或は冠婚葬祭の用に供せられる類であつて、寫實的技巧にのみ重きを置いてゐる。

歐米に於ては造花の利用範圍は極めて廣く帽子、服裝、其の他の裝身具等日常必需品として盛に需要されてゐる。斯業者は之に鑑み將來益々其の構想上に改良を加へ、寫實を離れて之を想化し、若くは圖案化することを考究し、以て新傾向のものを産出すべきであつて、斯くすれば海外販路の開拓も豫期し得ると思ふ。

六、玉石製品

玉石製品に屬する出品は、水晶、瑪瑙、黒曜石、其の他の加飾裝品であつて、出品人員出品點數を表示すれば、

出品人員二九名

内譯 山梨六 福井七 島根一一 其他五

出品點數一八四點

山梨縣の出品は全部水晶細工である。水晶細工は由來甲州の特産品として知られ、年産額二〇萬圓に達し、製造戸數も亦三〇戸を算し縣下の重要物産の一つである。出品は印材置物及念珠であるが、意匠及細工の技巧は傳統的な特色を持つてはゐるが、何等の新味なく、斬新な意匠に乏しい。甲州の水晶細工は原石の産出減退の傾向あるにも拘らず、舊來の用途を墨守し、單に置物裝飾品の如きに力を致すことは大に考ふべき問題である。將來可及的實用品に向つて用途を開拓し、原石の不必要な消費を戒め、裝身具、印材の如き實用的方面に向つて新意匠を創造し、或は文房具の如き實

用的工藝品への用途應用を工夫すれば、將來益々有望であらうと思ふ。

福井縣及島根縣は共に瑪瑙細工其の他の玉石細工であつて、略其の趣を一にする。彫刻の技巧は從來の通り緻密ではあるが、其の材題と意匠とが極めて陳腐であつては何等の新味もなく、徒に良材をして嗟嘆の聲を發せしめるの觀がある。

山梨縣の水晶細工と同様、裝身具其の他の實用的製品への應用を考案すべきである。勿論瑪瑙なるが故に終始瑪瑙のみを以て加工製作する必要はない。金屬材、漆器、或は木竹材等に混用配合して、大に瑪瑙の特色を發揮せしめると同時に、材料の節約と販路の擴張とを心掛くべきである。

七、竹製品

竹製品に屬する出品は、東京、静岡、愛媛、鹿兒島、愛知、新潟、三重、宮城、大分、岐阜、長野、山形、岡山、宮崎、群馬、滋賀、山口、朝鮮、北海道、富山、熊本、神奈川の一府一九縣及朝鮮北海道であつて

出品人員七八名、出品點數四二三點

之を府縣別にすれば、

東京二、静岡八、愛媛九、岐阜八、鹿兒島四、新潟四、宮城、宮崎、長野、群馬、愛知、大分、山形、滋賀、富山の各二、三重、神奈川、岡山、山口、熊本、朝鮮、北海道の各一、各縣の出品點數は生産高に略正比例してゐる。

静岡、愛媛、鹿兒島、新潟は竹材の主要産地であつて、其の利用法も多年の經驗と熟練とに依つて進み、其の製品にも見るべきものがある。併し又、雅致ある優良な作品を表面的に摸倣して甚しい惡趣味に墮したものを往々發見する。

概して意匠の進歩の跡の如何にも齒がゆいものがある。此の點に就いて將來指導の宜しきを待つ所の多いのを痛切に感ずる。東京の作品は意匠の點に於て技巧の點に於て最も優れて居り、地方の斯業發展を指導するに足る充分の品位を認める。古來一頭地を抜いた京都府の出品の無かつたのは遺憾である。尙三量、大分に輸向製品の點綴されたことは喜ぶべきことである。

八、籐、アケビ、杞柳品類

本類に屬する出品は、東京、青森、長野、埼玉、鹿兒島、滋賀、香川、滿洲、新潟、沖繩の一府八縣及滿洲であつて

出品人員三五名、出品點數一二七點、

之を府縣別にすれば

東京二〇、青森六、滋賀二、長野、沖繩、埼玉、香川、鹿兒島、新潟、滿洲の各一名、

籐製品は家庭用具としての製品が多く、生活様式の發達した東京の作品を以て第一とする。

併し其の原料は多く南洋地方の輸入品を用いるに過ぎないが、近來臺灣産の原料に留意し、之を使用するの傾向の生じて來たことは喜ぶべき現象である。

青森縣は從來あけび細工最も發達し、其の意匠技巧等も海外輸向に留意され、外國博覽會に於て授賞されたのも多數ある。尙意匠技巧の進歩と共に將來有望なるものあることを認める。

杞柳製品に於ては兵庫縣を以て第一とするが、九〇類の旅行用具品に屬する出品が多く、本類としては却つて長野、

埼玉の製品中に見るべきものがある。杞柳は全國到る所に栽培され農村の副業として將來有望なものであつて、之が發達は獨逸の當該製品を防遏する可能性がある。指導の宜しきを得て、將來益々斯業の發展を切望する。

九、建築材料（竹、木、凝石類）

本類に屬する出品は東京、北海道、静岡、秋田、廣島、岩手、和歌山、鹿兒島、兵庫、島根、群馬、臺灣。

出品人員五一名、出品點數五〇二點、

東京二九〇、北海道四、秋田三、廣島三、和歌山三、静岡二、兵庫二、鹿兒島、岩手、島根、臺灣、群馬各一名、右の内東京に於ては木材商の出品として床板、床柱類の出品が多く、自然木の利用に巧なものがある、此等の中には單なる粗材に過ぎないもので、工作品として見るべきでないものも多いが、近時、外國にさへ數奇屋風の建築流行の兆があるから、床柱の技巧も萬更國產獎勵の意味に縁遠い、ものとする必要もなからう。

尙右出品中には木竹を巧に組合せ木材の狂ひを防ぎたるが如き斬新なものもある。北海道は木材の最も豊富な地であつて、其の利用法も顯著なものがある。新田ベニヤ株式會社の如きは木材の節材法を巧みに利用し英國方面へ輸出しつゝある。又接合劑を以て積木して製作する飛行機の材料の如きは輸入防遏の意味と國防上の意味とに於て缺くべからざるものとなすべきであり、將來の發展を希ふものである。尙静岡縣の日本樂器株式會社製品中にも成績顯著なものがある。秋田の杉材等は輸入防遏の意味に於て特記すべきであらう。

一〇、木製品及彫刻

本類に屬する出品は東京、滋賀、廣島、長野、神奈川、山形、新潟、石川、富山、栃木、岩手の一府一〇縣であつて、

出品人員三一名、出品點數一五六點、

之を府縣別にすれば、

東京三、富山七、長野六、神奈川六、滋賀三、廣島、山形、新潟、石川、栃木、岩手の各一名。

右の内長野縣は農民美術の運動を中心とした手工品が比較的多數出品されてゐるが、生産額は極めて微々たるものである。斯様な藝術的な香と土の香の高い作品が飛躍的な發展を爲し得ることを残念に思はざるを得ない。神奈川縣には横濱、箱根を主産地とした輸向木工品の製作がある。尙意匠と技巧との改良に待つべきものが多い。其の他特記すべき程のものはないが、滋賀縣の檜細工は輸出品として年額三百五十萬圓の産出があり、廣島縣の瓶冠は金屬製瓶冠を壓して南洋、支那方面に輸出の望がある。

一一、刷毛刷子類

刷毛刷子類の出品は總數一五一點であつて、出品人員二八名、之を府縣別にすれば東京五、大阪二、神奈川一名である。

品質は概して東京のものが優位を占め、大阪のものは廉價品が多く、神奈川縣のものは多少粗惡の嫌がある。出品中の主なものは頭髮刷子及齒刷子であるが、東京の澤京次郎、徳永保之助出品の頭髮刷毛は何れも上等の支那毛を用ひ意匠加工共申分なく、歐米の此の種製品に比して遜色を見ない。歐米に販路を開拓して年々多額の輸出を爲しつゝ

あるは慶ぶべきである。齒刷子は輸出品には比較的優良の品を見るが、内地向のものは概して品位が劣り、セルロイド製板の強さ不十分のもの、植毛の不整のもの等、當業者の注意を喚起すべき點が多い。尤も斯かる内地向の粗悪廉價品の防止は當業者に之を望むよりも寧ろ一般需要家の蒙を啓くことに努力すべきであると考へられる。

輸出品に於て、「セルロイド」柄付齒刷子の如きは「セルロイド」が本邦の主要製産國たる關係上、其の材料並に加工に深く注意を拂ひ、獨特の長所を作つて其の聲價を擧げられんことを希望する。

一一、金網及雜金屬製品

金網の出品は點數八七、出品人員五名、全部東京の出品である。

龜甲型金網は近年農業用及建築用としての需要に刺戟されて、機械製作が行はれ始めた。網目の整一な金網が多量に廉價に生産されるに到つたことは斯業の一進歩と云はねばならぬ、又製紙用「ブロンズ」金網及精糖用疊織金網の如き特種金網も、當業者の苦心と努力との結果、外國品に代用し得るに至つたことも國產獎勵の意味に於て慶賀すべきである。

其他雜金屬製品は總計一二〇點、出品人員計八名、東京三、山形一、群馬一、大阪二、北海道一名であつて、東京に於ける石鹼容器等の製品が海外販路に相當の成績を示したものがあつた。

其他ハクキン懷爐、手洗器、湯タンポ等雜多の種類を包含してゐるが、別に特に報告すべきものを認めない。

一三、糸瓜及其製品

出品人員四名、點數二五、全部静岡の出品である。産額と云ふ程のものではないが、外人の嗜好に適する素質があるから技巧並に用途を研究して將來の發展を期すべきである。今回の出品の「マット」の如きは斯様な方面の暗示を與へるものである。

一四、石燈籠及盆景

石燈籠の出品は東京二名、島根五名、盆景は愛知一名、計八名、二六點である。島根の石燈籠は灰色の火山岩を彫つたものであるが、其の材質が特異の持ち味を持つと云ふ譯でなく、技巧に於て特に優れてゐると云ふのでもないが、需要地の批評に觸れやうとする意氣込を賞すべきである。盆景も亦國產獎勵の意味には縁遠い感がある。

一五、釣竿

釣竿は出品人員三名、出品點數二二、高知と山形の出品である。高知縣のものは其の技巧に細密な工夫を凝した點があるが、稍拙劣である。山形縣の出品に於ける川漁用のもの、接目に金屬を用ひたのは實用上重さと竿の撓みと味とに支障がある。

一六、印刷工藝、活字、圖書

此の類の出品は、出品人員六名、出品數一八點、東京府獨占の形である。圖書出版物の出品數は少數ではあるが、其の裝釘に優れたものを見る。紙面の印刷物は出品極めて少く、鋳力印刷、並に轉寫印刷等の特殊品に見るべきものがある。小島印刷會社の如きは鋳力印刷の他に、鋳力製罐並に押出チューブ製作の技術を賞すべきであらう。活字の出品に

於ては築地活版會社の母型製作の技術に注目すべきものがある。

一七、セルロイド加工品

出品人員二名、出品點數二七、兩者とも東京の出品である。本九二類に於けるセルロイド製品はセルロイド材料並にセルロイド玩具を除いた少數の雜種加工品が含まれてゐるに過ぎない。セルロイド製品の最近の進歩には見るべきものがあるが、玩具に於ける審査報告との重複を避ける爲め之を省略する。

一八、雜品

出品人員一名、出品點數一四八點、何れの分類にも屬しない雜多の出品の拾集である。大阪の梅本裝飾會社の經木の萬歳幡等は考案としては見るべきものがあるが價格が比較的不廉である。神奈川縣の永井己之介の出品壁製品は外人の低い趣味に媚びないことが必要である。其の他特に記すべき程のものはない。

第六部 參考品に關する調査

調査委員	津	澤	清
同	大	宮	秀次
同	芦	氣	清三郎
同	松	川	久衛

◆第七六類の一

東京市京橋區本湊町七 津田源右衛門

○最上ニツケル蓋附泉竈四升器○光輝磨釜蓋附三升器○ロー形上五徳大々○同大○ロー形上鐵瓶六寸○同五寸五分
本參考品は何れも材質良好で家庭用品として其の實用上の價値大なるものと認める。

東京市日本橋區室町三丁目五、中川金庫株式會社取締役 中川七太郎

○トリプル式金庫

本參考品は同社製造の金庫を斜面で切斷し内部の構造を示したもので絶縁の状態を明瞭ならしめる表示方法を以て金庫の特徴を示した有益な參考品である。

◆第七六類の二

東京市日本橋區小網町仲町 吉川百太夫商店

○變り茶筒

本參考品は茶筒の表面に美麗な浮模様を現した製品である。

東京府北豊島郡日暮里町金杉六八二東京アルミニウム製作所取締役 森田利一郎

○ミルクパン(磨)(二)○釣付飯蒸(磨)(三)○皿(磨)○學生コップ(二)○特許合金スプーン、フォーク(六打)

本參考品は庖厨用具又は飯食器として需要の多い製品であつて其の製作も亦良好である。

○ポピン製作工程表示

本参考品は斯業に従事するものゝ参考となるべき好適の研究資料である。

東京市本所區千歳町六五

橋本太吉

○實用竈(三)○特製アルミニウム釜(三)○木製釜蓋(三)○和鏡炭吹釜八寸○特製ロー形銅子五(三)

本参考品は庖厨用具として需要の多い製品で其の材質製作共に良好である。

東京市神田區元岩井町一六

倉田國吉

○足附ニーム釜(二)○檜釜蓋(一)

本参考品は單に釜と其の蓋とを示したのだが、釜は足を付けた點に於て特徴を有する。

東京市赤坂區新町五の三一

田中和三郎

○蕎麥盛蒸籠一五

本参考品は「アルミニウム」製品であるから輕量で耐久力があり、舊套を脱して新規な着想を爲したのは賞すべきである。

東京市赤坂區青山高樹町一

岩本元次郎

◆第七六類の四

大阪市東區淡路町一丁目

小山彌一郎

○料理庖丁陳列函

本参考品は出刃庖丁、刺身庖丁、菜切庖丁等大小各種二二品を裝飾函内に陳列したものであつて陳列函として體裁佳良である。

山形縣西置賜郡荒砥町

戸村柳太郎

○草刈鎌

本参考品は材質製作共に良好である。

東京市外濠谷町山下六〇、池田剃刀製作所

内野隆介

- 二〇〇番ピース、レーザー黒柄(二)一八〇番同上白柄(二)一五〇番同上〇八〇番同上(二)二〇番同上黒柄(二)一〇一
- 番同上(二)〇豆形ジャイアント、レーザー白柄(二)〇文化剃刀(二)〇1B番薄刃庖丁厚口小(二)〇1C番同上薄口大〇1E
- 番同上小(二)〇1F番皮ムキ庖丁(二)〇二番相出刃庖丁(二)〇柳刃庖丁(二)〇四番テールナイフ(二)〇五番同上洋白柄
- (二)〇二四番デザートナイフセルロイド合柄(二)〇一〇番果實ナイフ(二)〇一〇番同上共柄(二)〇一二番同上セルロイド
- 柄(二)〇一三番同上(二)〇一四番同上(二)〇一五番同上木柄(二)〇二六番同上(二)〇二七番同上(二)〇二八番同上セルロイ
- ド柄(二)〇二九番同上(二)〇三〇番同上(二)〇三三番同上(二)〇三四番果實ナイフセルロイド柄(二)〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- ツトナイフ共鞘中(二)〇同上かんつき大(二)〇同上小(二)

本参考品は剃刀其他各種庖厨用利器を秩序正しく陳列したもので其の製作並に品質は賞讃に値する。

東京市京橋區南紺屋町一二 合資會社 榮進社

○ドア○捲上防火戸

防火戸は開閉共に簡易に行はれ、戸を開くには極めて軽く捲き上げ得べく、戸を閉すには把手を要せずして靜穩に自動降下するものであつて、特に其の考案の良好なるを認める。ドアは其の堅牢な構造に依つて狂ひを生せず、實用上の價値大なりと謂ふべきである。

東京府豊多摩郡下戸塚町二七七 加藤鐵次郎

○骨材切斷面額○扉用框曲げ物見本(一〇)

本参考品は「スチール、ドア」及「スチール、サツシュ」用骨材であつて材質頗る堅實なるを認める。

東京市日本橋區馬喰町四丁目 小黒菊太郎

○江戸奴匏五寸(一)

本参考品は大形の匏であつて其の出來榮へは見事である。

◆第七六類の六

高知縣高知市浦戸町五六 山本嘉太

○擬餌釣額面(一)小鱈釣業狀態繪圖額面(一)

擬餌釣額面は海漁用の各種釣針を配列したもので技工精緻である。

三重縣松坂町本町二一四 長谷川齋一

○説明書の額面(一)

本参考品は兩開戸、片開戸、引違ひ戸、笹込戸、一本引き戸、回轉戸、突出戸等に應用すべき暴風、盜難豫防用金具を配列した額面であつて此等の金具の用途を巧に表示してある。

◆第七七類

東京市赤坂區青山北町一の四 宮島康夫

○宮島式排氣頭

本参考品は汽車、電車、建築物に取付け使用すべき換氣頭であつて、從來のものとは異つて斬新な考案に成つたものである。

東京市京橋區八官町五 淺野金太郎

○純金箔尺五寸角(一)同七寸角(一)同四寸二分角(一)○山吹金箔五寸二分(一)○繪畫用金泥(一)

金箔は何れも特殊の光輝を放ち、殊に古代金箔山吹は貴重なるものと認める。金泥は純金消粉、山吹金泥、青燒金消粉、水色金泥、上色金消粉、常色消粉の六種を包含して品質悉く精良である。

東京市下谷區山伏町五九 鈴木重久

○襖模型(一)

本参考品は襖を小型に示した模型である。

東京市下谷區入谷町三二七

金井勝之助

○夏帽子天井(一)襖地見本帖○壁紙見本帖

帽子天井は縞柄が面白く、利用の一端を示した参考品で、見本帖は各種類を集めた重寶な参考品である。

東京市小石川區諏訪町五九

林慶次郎

○封緘紙(一一)工場寫眞額入(一一)

封緘紙は印刷鮮明で使用者の嗜好に適する

東京市下谷區西町三番地への三三

佐藤宗次郎

○人絹更紗表紙四つ切判外七點

本参考品は何れも「アルバム」であつて、優美な圖案を施し人絹の利用を適切ならしめてある。

東京市日本橋區横山町一丁目

田中龍文堂

○事務用印刷物○熨斗紙

本参考品は熨斗紙、原稿紙、證書用紙等で特筆すべき點はない。

東京市淺草區新旅籠町一八

中田秀朝

○印刷物に添付せる参考品

本参考品は印刷「シール」額面で各種の見本を示したものである。

東京市日本橋區本石町一の一六

帝國堅紙株式會社

○軌條絶縁装置部分品(五)ファイバー、カードケンス、(二)ファイバー製箱(三)同壓搾製品(三)、同打抜製品(一〇)、同曲管(三)

「ファイバー」の各種利用方面を示した好参考品で、製品も亦良好である。

東京府南葛飾郡寺島町字須崎三二二

西羅光造

○半製品○参考品

艶紙の半製品及完成品を示したものである。

◆第八一類

東京市外池袋三九七

日本鉛筆製造株式會社

○地球鉛筆(三打)同ボーイスカウト(三打)グロブ鉛筆黄六角金ゴム附(六打)○同ヒマ塗六角兩切(六打)同六角兩切バ
ランス(三打)同中細金頭(六打)○グロブ鉛筆中細金頭(六打)同打函入(六打)○同生地塗(三打)○赤コッビー丸臺紙付
(二打)○マーカントイル金ゴム付(三打)○正直クレオン十六色函入(三函)○同八色入(三函)○日本一クレオン十三函入
(四函)○地球クレオンパステル八色(四函)○飛行船水彩繪具罐入六色(三函)○同パレット入十二色(三函)○御大典記念
鉛筆○グロブ鉛筆マース塗六角兩切(六打)○同三色兩切(三打)

本参考品は鉛筆、クレオン等に各種の圖形を表はしたもので其の圖案は何れも良好である。

東京市淺草區今戸町七 伊藤 農夫 雄

○スワン萬年筆A號外二十四種(各六本)○奉仕ペンシルケース1號外十一種(各四本)○クリップ1號外六種(各一打)○奉仕インキ(六打)

何れも製作良好で陳列も亦良く整頓してゐる。

◆第八二類

東京市日本橋區小舟町一丁目 南川 章次

○テープ畫(五)○手工作品(五)○指導書○指導書及テープ畫集

色テープを以て風景、靜物其の他を表はしたもので小學校に於ける手工圖畫教育の好参考品である。

奈良市淨吉寺町 河田 久太郎

○洋烟製六角龍墨、同昭和墨(一對)○同翁婆(一對)○同甲冑立離(一對)○鶴龜墨(二對)

意匠何れも高雅で品質も亦優良である。

◆第八三類

東京市下谷區元黒門町一三、大日本木櫛協會 白賀 磯

○櫛木地製御大禮御用櫛(一揃)同(一揃十一點)

色彩光澤共に雅致に富み品質優良である。

東京市淺草區諏訪町六 内田 末吉

「金芝」櫛笄揃物特大(一組)○「金芝」櫛製作順序(一揃)

鼈甲櫛の内部に各種模様金の線を入れて製作したもので其の技工精巧である。

◆第八四類

東京市日本橋區馬喰町一丁目一 依田 忠治郎

○古渡珊瑚樹(一)

珊瑚樹に磨きを掛けて仕上げたもので枝振り宜しく色彩も亦優美である。

◆第八五類

東京市淺草區元鳥越町八 中尾 佐吉

○オイル、シルク製海水帽(一)同上(一)

意匠、外形に意を用ひた良品で使用者の嗜好に適するものと認める。

神奈川縣横濱市中込中里字沼尾二〇 横濱アイボリナット組

○釦原料(一塚)外九種(各一塚)

釦原料たる「アイボリナット」を切斷、丸抜、半製と爲して塚に收容したもので、釦を完成するに至るまでの工程順

序を親切に表示した好参考品である。

◇第八六類

○金唐皮囊(一)

金唐皮を囊物に使用したもので古代風の滋味を有する。

◇第八七類

○鼻緒(一七足) ○爪掛(五足)

「レザー」を鼻緒、爪掛に應用したもので利用の範圍の廣い方面に留意して陳列したものであらう。

東京市丸の内東京海上ビルヂング四階 大日本レザー株式会社
東京市日本橋區本町四の八 新聞 五兵衛商店

○白牡丹印ゴム底

履物の裏に特殊の隆條を有する「ゴム」底を附したもので、一見して履心地の輕快なのを想はしめる。

○關取用南部表コロム裏黒天二石付(一足)

出羽ヶ嶽及男女川關の履物であつて大形の南部表クロム皮を使用した草履である。耐久力の大なことを表示する好

参考品であらう。

◇第八九類

○竹中式印寫器フールスカップ版(二個)外五種(各一個)

印寫版上に藥液を塗布して之に原稿紙を當て文字を印寫したものを原版として謄寫するものであつて、連續謄寫するも尙鮮明の度に變化を生ぜざるを得たなら斬新な印寫器と稱すべきである。

◇第九〇類

○騎射弓(一張)

材質製作共に良好な好参考品。

○ラクビー、ユニフォーム(一)フットボール、ストッキング(一)競泳着(一)

何れも競技者の嗜好に適應せしめた運動服である。

◇第九一類

第六部 一般製作工業

山形縣東置賜郡宮内町 菊地熊吉

東京市麴町區永樂町一の一、郵船ビルディング 日本國產株式會社

東京市神田區松住町一〇 眞家宗吉

東京市神田區表猿樂町二四 狩野榮一

○木彫獅子

本参考品は獅子の顔面を輕妙な木彫で表現したもので賞翫用工藝品として好個の参考品である。

◆第九二類

○角付茶剣二重兩角筆軸(二三)外五種 ○籠甲尺三煙管竹(一九)外三種
筆軸、煙管竹に特異の塗漆を施したもので品位、品質共に見るべきものがある。

静岡縣沼津市廓町八二 佐藤市兵衛

○一寸目ライオン印籠甲機械金網(一本)外數種

東京市下谷區御徒町一の一 山田恒之丞

各種の用途に製作した金網であつて、網目に不同なく製作優良である。

○銅五厘目三尺幅(百尺)外一三種

久保藤太

精米用、萬石用、製糖用、製粉用、養鶏用其他の用途に製作した金網であつて、用途に應じて網目を種々に變更し努力の跡大に見るべきものがある。

東京市日本橋區鐵砲町 丹羽久次郎

○純ニツゲル製金網(一卷)

高級な材質を以て精密に作られた金網である

東京市神田區臺所町八 保坂藤吉

○矢筈入足付花籠(一) ○細網花籠(一)

何れも意匠製作共に優良で雅趣に富んだ作品である。

東京府下日暮里町谷中本九六〇 出村宗次郎

○丸籐太民(一束) ○丸籐双棟(一束) ○丸籐三棟(一束) ○丸籐四棟(一束)
何れも長尺の籐原料で品質良好。

奈良縣吉野郡下市町、下市製箸同業組合 丹羽石貞藏

○参考品

消毒割箸を示した参考品。

兵庫縣神戸市八幡通五の九五 南信吉

○市松見本帖(二) ○モール見本帖

經木を市松模様と爲したもの及モール状と爲したものを見本帖に配列して示したもので需要者の便益に資すること少くあるまじ。

◆第八七類(追加)

第六部 一般製作工業

東京市下谷區上野北大門町四 栗田三藏

○黒キツト編上靴(一)○黒キツト短靴(一)○ウイロ短靴(一)外五種

本参考品は何れも優良な皮革を以て作られた靴であつて其の形態、製作共に賞揚すべきものがある。

◆第九二類(追加)

東京市丸の内仲通一一號 樺太特設館

○臘納獸(一)麝香鹿(一)

臘納獸及麝香鹿を剝製と爲したもので其の姿勢眞に迫るの感を懐かしめる好参考品である。

東京市本所區向島請地町一六六、合資會社大和組金屬器製作所代表社員

伊藤政次郎

○蓑入皿付三七大黒(一組)○灰落丸型(一個)外一五種

本参考品は何れも輸南向金屬器で、あつて精巧な細工と斬新な意匠とを施した點に於て特色を有し大に獎勵すべき作品である。

◆分類外の追加

東京市麹町區有樂町一の一、東京瓦斯株式會社

岩崎清七

○パン焼(一)ヴァイランド二五〇號湯沸外五種

何れも輸入品であつて瓦斯使用者の便益に資することが少くならう。

受賞人名録

二	素麵譽乃絲	兵庫縣	倉橋	宗太郎
二	同 揖保乃絲	同	兒林	元治
二	同 龍乃絲	同	前野	四郎
二	同 八尋乃絲	同	小野	吉松
三	砂糖	臺灣	臺灣製糖株式會社	
三	同	臺中市	大日本製糖株式會社	
三	同	臺中市	鹽水港製糖株式會社	
三	同	臺中市	帝國製糖株式會社	
三	同	臺中市	臺南製糖株式會社	
三	同	臺中市	新興製糖株式會社	
三	同	臺中市	昭和製糖株式會社	
三	同	臺中市	南洋興發株式會社	
三	水糖	濱松市	旭日水糖株式會社	
三	蜂蜜	長野市	城山養蜂園古池小一郎	
四	チョコレート菓子	東京市	森永製菓株式會社	
四	ビスケット	東京市	東洋製菓株式會社	
四	洋菓子	東京市	明治製菓株式會社	
四	ビスケット	東京市	木村屋製菓株式會社	
四	サクマ式メキス、ドロップス	東京市	佐久間製菓株式會社	
四	水無餡	東京市	今村製菓株式會社	
四	おこし各種	大阪府	小林之助	
四	萩の友	山口縣	中村兵衛	
六	醬油龜甲西印	茨城縣	西野仁兵衛	
六	同 醬油フジセイ	栃木縣	岩崎醬油株式會社	
六	同 龜甲山印	鳥取縣	株式會社坂口商店	
六	同 旭	兵庫縣	泉山醬油合名會社	
六	同	兵庫縣	淺井醬油合名會社	

六	醬油印	兵庫縣	圓尾醬油合名會社	
六	同	靜岡市	靜岡縣醬油同業組合	
六	味素	東京市	株式會社鈴木商店	
六	ホシ、エスコフイア、ソリス	東京市	合名會社三澤屋商店	
六	寶ソリス	東京府	星製藥株式會社	
六	野菜ヤタラ漬罐詰、トマト	鹿兒島市	山下食品合名會社	
七	アンカ1罐詰、櫻桃アン	山形市	山下食品合名會社	
七	カン1罐詰、梨アンカ1罐詰	同	同	
七	及罐詰	同	同	
七	アインアップル罐詰	臺南	振南鳳梨罐詰株式會社	
七	アスパラガス罐詰	北海道	日本アスパラガス株式會社	
七	苺ジャム罐詰、水蜜桃罐詰	大阪府	小澤彦一郎	
七	アインアップル罐詰、グリ	同	同	
七	インビース罐詰、苺ボイル	同	同	
七	庄内漬罐詰	山形縣	本間長右衛門	
七	苺水漬罐詰、松茸水漬罐詰	長野縣	合資會社岩間商店	
七	苺ジャム罐詰	長野市	鹽川伊一郎	
七	杏(黄金玉)罐詰	同	池田元吉	
七	松茸水漬罐詰	同	山崎萬吉	
七	同	同	三島由太郎	
七	公魚味付罐詰、白魚水漬罐詰	同	平野罐詰製造所	
七	苺ジャム罐詰	東京市	小牧榮助	
七	双龜印アインアップル罐詰	臺南	李關郡	
七	やたら漬	山形市	新關平七	
七	トマトケチャップ	愛知縣	中村鎌吉	
七	櫻桃罐詰、洋桃罐詰	山形市	斯波平三郎	

七	鮑水漬罐詰	函館市	佐久間要一	
七	鮭罐詰	青森市	根市兼次郎	
七	鮑水漬罐詰	岩手縣	吉田友平	
七	鮑トマト漬罐詰	同	岩手縣立水産學校	
七	鮑ゼリーソース罐詰	長崎市	長崎縣水産試驗場	
七	鮑水漬罐詰	神戸市	西村一藏	
七	鮭罐詰	青森市	坂上辰藏	
七	同	同	同	
七	帆立貝柱罐詰	北海道	碓氷合名會社	
七	鯉こく	長野縣	信濃養鯉加工株式會社	
七	時雨蛤罐詰	千葉縣	村上太教	
七	鮑大和煮罐詰	三重縣	井上太郎	
七	時雨蛤罐詰	同	猪野久二	
七	鮑大和煮罐詰	同	水谷又七	
七	鮭大和煮罐詰	長崎縣	平戸水産相互株式會社	
七	鮭大和煮罐詰	山形縣	池田耕三郎	
七	鮭大和煮罐詰	青森縣	菊池米次郎	
七	鮭大和煮罐詰	大津市	近江水産組合	
七	鮭大和煮罐詰	朝鮮	朝鮮水産輸出株式會社	
七	鮭大和煮罐詰	東京市	内田勇太郎	
七	鮭大和煮罐詰	同	川島政兵衛	
七	鮭大和煮罐詰	同	島根縣	
七	鮭大和煮罐詰	岩手縣	瀧田喜右衛門	
七	鮭大和煮罐詰	三重縣	大矢萬助	
七	牛肉マルヤス煮罐詰	廣島市	濱口合名會社廣島工場	
七	ポイルドコーンビーフ、ポ	同	同	
七	ポイルドコーンポーク、ポイ	東京府	高木信	
七	ポイルドコーンターン	同	同	

七	諸種罐詰及塩詰類	東京市	社団法人日本罐詰協會	
七	天長漬罐詰	同	食品工業株式會社	
七	日日出漬罐詰、白魚水漬罐詰	同	同	
七	日の出印日の出牛肉罐詰、櫻桃	大阪府	祭原商店	
七	アインアップル罐詰、櫻桃	同	同	
七	日本橋漬罐詰、アインアップ	東京市	合名會社國分商店	
七	アル罐詰、K&Y印スライ	同	同	
七	スドハム罐詰、鯉角煮罐詰	同	同	
七	保萬齡漬罐詰、野菜保萬齡	同	同	
七	漬罐詰、海苔佃煮罐詰	東京府	川村與兵衛	
七	ヤマサ漬罐詰	同	同	
七	海苔佃煮罐詰	東京市	福神食品株式會社	
七	福神漬罐詰、苺ボイルド罐	同	同	
七	福神漬罐詰、海苔佃煮罐詰	同	同	
七	福神漬罐詰	同	同	
七	トマトクリーム罐詰	同	同	
七	グリーンピース罐詰、松茸ボ	同	同	
七	イルド罐詰、苺ボイルド罐詰	同	同	
七	敦島漬罐詰、グリーンピース	同	同	
七	罐詰、アインアップル罐詰、	同	同	
七	白魚紅梅煮罐詰、白魚水漬	東京市	逸見山陽堂	
七	罐詰	同	同	
七	福神漬罐詰	名古屋	名古屋漬物製造	
七	福神漬罐詰、海苔佃煮塩詰	東京市	桃屋商店	
七	鯛味噌罐詰	同	同	

白玉粉、黍團子粉	新潟縣	株式會社山世商會
小麥澱粉(浮粉)	前橋市	籠島燒酎澱粉工場
馬鈴薯澱粉	千葉縣	高橋
甘藷澱粉(浮粉流シ粉)	同	高橋
同(浮粉)	同	高橋
同(同)	同	高橋
同(浮粉)	同	高橋
同(同)	同	高橋
葛粉	同	高橋
機械冷麥、機械素麵	高岡市	宇島新重
冷麥、餛飩、素麵	佐賀縣	宮原陸
越ノ糸素麵、日東蕎麥	新潟縣	桑山拾五
乾蕎麥	長野市	鹽入三郎
機械平麵	長野市	佐賀市
乾餛飩	弘前市	成田兵衛
板麩	山形縣	松嶺板麩生産販賣組合
敷島麩、磯部鐵臭麩	前橋市	籠島燒酎澱粉工場
豆麵	朝鮮	大津勇次
糸錦	同	同
米粉	臺灣	謝下舜
食麵粉	八王子市	木下俊
味付ボンテル、葡萄ボンテル、食用ボンテル、フラン	東京府	早矢仕てる
スボンテル、小供ボンテル、	同	同

甘納豆ボンテル	奈良縣	山本太三
袋把素麵、白素麵、玉子素麵	佐賀縣	飯田七太郎
素麵	前橋市	合資會社新津製麵所
冷麥	長野市	依田壽三
乾蕎麥	松山市	森川忠
五色素麵	東京府	柏井靜
精練麵	東京市	金井清
乾角素麵、乾そば	岩手縣	金澤源
片栗素麵、白髮麵、	東京市	池田利三
雪乃絲乾蕎麥	奈良縣	今泉正次
玉子素麵、白素麵、袋把素麵	水戸市	金子兵衛
素麵、乾餛飩、冷麥、乾蕎麥	千葉縣	金子兵衛
製用オブライト、	東京府	硫黃島拓殖製糖株式會社
藥用オブライト	同	小笠原島製糖株式會社
砂糖	同	同
同	同	同
澱粉製グルコース	同	同
蜂蜜	同	同
同	同	同
同	同	同
同	同	同
瓜木糖	北海道	日本アルプス養蜂協會
手燒かき餅	臺灣	吳張生
旭豆	大連市	吉岡信三
あらゆる各種	札幌市	片山久
バナ、ケーキ、マシマロー	東京市	石橋惠助
フロレツド	同	同

乳葉ランケット	東京市	片岡喜久一
エンゼルウエハー	同	井上幸
日英ドロップス	同	武田製菓合名會社
ビスケット	東京府	水見谷製菓株式會社
御日出糖、杏玉	東京市	安本東京製菓工場
糖菓	同	小林誠一
國産オブライト	同	板橋清三
水飴(極吟製、富士印、晒)	同	鈴木彌吉
さゞ梅、菓子蒲鉾	同	神奈川縣
カステラー	長崎市	山口貞次
同	同	同
文旦砂糖漬	長崎縣	森川三夫
あら波	新潟縣	直江津製菓株式會社
越乃雪	新潟市	岸庄七
五穀糖	新潟縣	伊藤貞次
煉羊羹	高岡市	高橋孫左衛門
栗飴	川越市	宮崎豐次
甘藷煎餅	同	同
初雁の里	同	同
里自慢	同	同
落花煎餅	同	同
澱粉製晒水飴	千葉縣	幸島良輔
梅羊羹	千葉市	幸島政吉
菓子城乃譽	水戸市	井熊製菓株式會社
桃羊羹	沼津市	佐野千代吉
鶴飼しるこ	岐阜市	山田留次
不老門	大垣市	榎根祐吉
國産柿羊羹	同	同

鈴木のゼリー	大垣市	鈴木傳平
水飴	岐阜市	川原徳
飛騨名産三島豆	岐阜縣	三島治兵衛
杏羊羹	長野市	飯田新三
みずい飴	上田市	山田昇
菓子深山の富貴	松本市	横田熊造
菓子姥が餅	同	渡邊重隆
菓子ビーナケーキ	同	眞布實加
栗かの子	長野縣	小布施實加
九重、森の都	同	近江嘉常
家福餅	盛岡市	村田常
豆銀糖	同	小枝指仙
昆布羊羹	弘前市	田邊富次
林檎羊羹	同	見與次
林檎ゼリー、林檎製園乃月	同	同
松風	同	同
のし梅	同	同
同	同	同
甘露梅	山形縣	高橋長吉
梅羊羹	米澤市	小林榮一
栗羊羹	同	林儀兵衛
胡桃羹	同	金子勝
くるみ羊羹	山形縣	菊地原幸
ビール豆鹽掛	同	阿部金太
時雨乃松	同	鈴木慶三
小豆落雁	秋田市	塚本幸三
國産蔘漬特製秋田諸越	同	田中喜代治
羽後の花	同	同

